

## 社会福祉法人三宝会令和4年度事業報告

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症があらゆる社会活動に大きな影響を及ぼすようになって3年目となりました。年初から変異株により感染が急拡大しており、感染が身近に迫ってきたという警戒感が高まりました。7月から9月にかけて感染流行の第7波が、さらに冬場には第8波が襲い、法人の施設でも感染者が散発しました。通いの施設では一時休園・休業とすることで園児・利用者への感染拡大を防ぐ対応をとりましたが、安全安心のためとはいえ園児、利用者、家族にとってご不便とストレスをかける場面があり、対策の指揮を執る施設長を悩ませました。入所の施設では最初の感染者が判明した時点ですでに施設内感染が進んでいるという状況でクラスターの発生に至りました。クラスター発生時に施設内療養を行った特養とグループホームでは、職員が欠員する中で感染リスクにさらされながらケアに当たる職員の身体的・心理的負担は大変なものがありました。ようやく年度末近くになって、ワクチン接種と既感染による免疫の向上や感染対策の定着によるものなのか流行が落ち着きをみせました。翌年度のゴールデンウィーク明けに感染症予防法上の位置付けを5類へ引き下げる方針が政府によって示され、感染対策が緩和される見込みとなりました。法人としてはこれまでの経験を活かし、平時から感染予防の意識を定着させて、新たな疾病に備えていきます。

令和4年9月下旬に東海地方に接近した台風15号のもたらした豪雨によって、袋井市が初の緊急安全確保を発令する事態になり、死亡者1名を出し、市内の広範囲で大規模な被害が生じました。幸いなことに法人の施設に被害はありませんでしたが、被災した地区における災害復旧にあたっては地域住民同士の協力によるところが大きかったということです。地域と信頼関係を築いていくことがBCPにおいて重要であるという認識のもと、法人が地域住民と顔を合わせる機会をもつよう積極的に取り組んでいきます。

コロナ禍からの経済の急回復による需要増と人手不足、さらに東欧でのウクライナを舞台にした争いによって物価、とくに燃料費が高騰し、法人においても単年での光熱費の伸びはかつて例がないほどでした。米国ではインフレを抑えるための利上げが金融不安を招いて預金流出により一部金融機関が破綻するなど、これまでの枠組みが揺らぎつつあるようです。前例にとらわれない発想で業務を見直し、新しい課題に取り組んでいきます。

### <職員>

職員数 224名（月平均） 新入職員 19名 退職者 24名

資格取得者 介護福祉士 3名、介護支援専門員 1名、社会福祉主事 1名

幼稚園教諭二種 2名

育児休業取得者 6名

### <施設整備>

紫雲の園 和室改修工事

浅羽デイサービスセンター 電話設備更新

浅羽ケアマネジメントセンター 事務室LED化

ルンビニこども園

ウッドデッキ塗装工事、ランドセル収納棚

ルンビニ第二保育園

全館 LED 化、電話設備更新

#### <経営状況>

介護部門、保育部門の各拠点とも事業活動収入は前年度並みまたは増収となりました。

年度途中で給与の締め日を月末締め翌月払いに変更し、会計処理上、未払い給与を計上するようになったことに伴い、今年度に限って切り替え月の賃金額が通常の12か月分の人件費に加算（12か月分+0.75か月）されているため、決算書における収支差額は大きく減じています。ただし貸借対照表の現金預金では、花びらを除いてどの拠点も軒並み残高を増やしていますので、経営状況が悪化しているわけではありません。紫雲の園拠点の期末預金残高が1億円を超えたことにより十分な運転資金の確保ができましたので、今年度から中長期計画に沿って施設整備費の積み立てを始めています。

年度の中盤から燃料費が暴騰したため、水道光熱費だけで前年度から法人全体で800万円（126%）の増額になりました。これにたいして市と県から物価高騰対策支援金の支給があり、400万円弱の補助金の交付を受けています。

コロナ禍で働いている福祉関係の職員にたいして国から処遇改善特例交付金が支給されたことで、職員の賃金を改善することができました。

介護部門のうちショートステイ、デイサービスでは感染拡大防止のため一時休業した期間があるため稼働率が下がりました。クラスターが発生した特養とグループホームでは、感染リスクのある区域内で勤務した職員に特殊勤務手当（危険手当）を支給したり、感染防護具や消毒・衛生用品を大量に消費したりと施設内療養を行うにあたって臨時の出費が必要となりましたが、県からサービス提供体制確保事業補助金の支給を受けることで、それらのかかり増し経費を補填することができました。

保育部門では、認定こども園に移行した2ヶ園は収入が大きく伸びました。袋井市が市内の利用定員枠を上げたことで待機児童数を0にしたことを行政側はアピールしていますが、花びらのような小規模保育所では園児数の確保が難しくなっています。職員確保は各園共通の課題として、保育園長会で対策を協議し、職員採用への積極的な投資や採用担当者を決めるなど本腰を入れて取り組みを始めています。

以下、実施した事業について個別に報告します。

なお、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の付属明細書は作成していません。

#### 法人本部

##### 1 理事会の開催

開催年月日	出席者数	決議事項
令和4年5月30日	6/6名	令和3年度事業報告について 令和3年度決算報告について 補欠理事候補者について

令和4年11月28日	5/6名	<p>定時評議員会決議の省略について</p> <p>介護保険事業に属する職員への令和4年6月支給の賞与の額について</p> <p>ひなた管理者の交代について</p> <p>ルンビニ第二保育園の幼保連携型認定こども園への移行について</p> <p>賃金規程の一部改正について</p> <p>利用者預り金等管理規程の一部改正について</p> <p>介護保険事業に属する職員への令和4年12月支給の賞与の額について</p> <p>資金収支補正予算の承認について</p> <p>ルンビニ第二保育園から移行する幼保連携型認定こども園の名称選定について</p> <p>賃金規程（保育）の一部改正について</p> <p>賃金規程（介護）の一部改正について</p> <p>改善手当支給細則の一部改正について</p>
令和5年3月28日	6/6名	<p>苦情解決第三者委員の選任について</p> <p>令和4年度資金収支補正予算の承認について</p> <p>令和5年度事業計画の承認について</p> <p>令和5年度資金収支予算の承認について</p> <p>定款施行細則の一部改正について</p> <p>ルンビニひかり園園長の選任について</p> <p>ルンビニひかり園副園長の選任について</p> <p>経理規程の一部改正について</p> <p>正規職員就業規則の一部改正について</p> <p>育児・介護休業等に関する規則の一部改正について</p> <p>ルンビニひかり園運営規程の制定について</p> <p>文書取扱規程の一部改正について</p> <p>公印管理規程の一部改正について</p> <p>個人情報にかかる開示申請等に関する規則の一部改正について</p> <p>小多機ひなたの土地賃貸借契約の変更について</p> <p>グループホームひなたの土地賃貸借契約の変更について</p> <p>正規職員賃金規程（保育）の一部改正について</p> <p>非正規職員賃金規程（保育）の一部改正について</p> <p>賃金規程（本部及び介護）の一部改正について</p> <p>改善手当支給細則の一部改正について</p>

		役員等賠償責任保険契約の締結について
--	--	--------------------

## 2 評議員会の開催

開催年月日	出席者数	決議事項
令和4年6月22日	みなし	令和3年度決算報告について 補欠理事の選任について

## 3 監査・実地指導の実施

### (1) 法人監事による監査

令和4年5月26日 事業運営、決算

### (2) 静岡県、袋井市他

令和4年11月8、9日 社会福祉法人指導監査（三宝会） 袋井市

令和4年11月10日 幼保連携型認定こども園指導監査（ルンビニこども園） 静岡県

令和5年2月2日 地域型保育事業所指導監査（花びら） 袋井市

令和5年2月22日 労働条件管理等状況調査（小多機ひなた） 磐田労基署

令和5年3月2日 教育・保育施設等の確認監査（ルンビニ第二保育園） 袋井市

## 5 登記事項等

資産の総額の変更（令和4年3月31日現在）

令和4年6月28日登記

## 6 寄付金品の受領

寄付件数8件 寄付金額245,944円（物品で頂いたものについての相当額を含む）

## 7 その他

### (1) 令和4年度事業計画の重点目標の達成状況

地域の抱えている課題を探る（地域包括支援センターに寄せられる相談事例から地域の今の状況を知る）	△	分析まで至らないため継続して浅羽地域包括支援センターのミーティングに同席する
中長期事業計画の策定	△	介護部門は策定済み 保育部門は次年度に持ち越し
ルンビニ第二保育園の認定こども園への移行	○	令和5年4月から移行
法人内での情報共有の電子化	○	事業所間で共有するファイルのクラウド化を実施済み
給与計算期間の締め日の変更	○	令和4年5月から変更済み
タイムカードの電子化	○	介護部門は令和5年4月からクラウドに全面移行 保育部門で電子化を希望する

		園は次年度以降に電子化
--	--	-------------

(2) 地域における公益的な取り組み

ア 社会福祉法人等による利用者負担軽減事業の実施

軽減対象者	18名(月平均)
利用者負担軽減額	3,358,605円
市町補助金	1,264,036円
法人負担額	2,094,569円

《紫雲の園利用状況について》

令和4年度の紫雲の園入退所状況は、入所者16名、退所者17名であり、退所者の内14名(前年度11人)は施設での看取りであった。年間延べ利用者数は32,412人(前年度32,364人)で稼働率は98.67%(前年度98.5%)であり、目標としていた98%を達成した。

入所者の平均要介護度は4.30で、前年度の4.17から更に重度化が進んでいる。

体調変化や検査による入院は、上半期は延べ56日と例年に比べて大変少なく、下半期には延べ121日と倍増したが、年間では延べ177日(前年度291日)で、比較的入院による空床が少ない年度であった。

年間定員32,850人から延べ利用者、入院者及び外泊を差し引いた261人(床)が空床であり(前年度195床)、利用者が退所をしてから次の利用者が入所するまでに要した期間は平均15.9日であった。(前年度12.1日)

令和4年度は、平成27年の制度改正により特養への入所要件が原則要介護3以上となつてより8年目にして遂に、要介護1、2のご利用者が0名となり、更に重度化が進んだ1年となった。

また、施設内におけるコロナウイルス感染が3度にわたり発生したにもかかわらず、職員の奮起により施設内療養を維持することが出来たことから、最終的に年間稼働率目標を達成することが出来た。

(参考資料：別表1)

資料1：保険者別入所者数

保険者	男	女	計
袋井市	17	69	86
磐田市	0	1	1
掛川市	0	1	1
大垣市	0	1	1
計	17	72	89

資料2：年齢別入所者数

才	男	女	計
～65	0	0	0
～70	1	0	1
～75	5	2	7
～80	3	6	9
～85	2	12	14
～90	5	16	21
～95	0	21	21
～99	1	10	11
100～	0	5	5
計	17	72	89
平均年齢			
男性 80.8歳			
女性 89.7歳			
全体 88.0歳			

資料3：身元引受人の状況

続柄	人数
配偶者	9
子供(子の配偶者)	69
孫	0
(義)兄弟姉妹	5
親戚	1
後見人	4
その他	1
計	89

令和5年3月31日現在

資料4：在所期間別入所者数

年	男	女	計
1年未満	4	10	14
～2	3	9	12
～3	4	9	13
～4	1	12	13
～5	2	7	9
～6	0	4	4
～7	0	5	5
～8	1	5	6
～9	0	2	2
～10	0	2	2
～11	2	6	8
～12	0	0	0
～13	0	0	0
～14	0	0	0
～15	0	0	0
15年以上	0	1	1
計	17	72	89
平均入所期間		4年2カ月	

資料5：退所者の状況

年齢	性別	退所理由	在籍日数
93	女	看取り	73
78	男	入院	1364
94	女	看取り	4945
96	女	看取り	2706
96	女	看取り	20
82	男	看取り	5433
88	女	入院	288
89	男	看取り	1006
98	女	看取り	1271
86	女	他介護施設	608
91	女	看取り	1113
91	女	看取り	808
91	女	看取り	4232
95	女	看取り	1559
92	女	看取り	160
78	男	看取り	1299
100	女	看取り	1103
退所者17名の内 施設での看取りは14名 (令和3年度は11名)			

令和5年3月31日現在

#### 《紫雲の園短期入所利用状況について》

短期入所の稼働率については、特養の入所待機者のうち上位の方が長期利用されるケースがさらに増え、1名が特養への入所に切り替わった時点で11%の空床ができてしまうため、高稼働率を維持することが難しいことに加え、8月および11月には短期入所を併設する部署において新型コロナウイルス感染症の感染者が発生し、短期入所受け入れを停止した期間があったことから、年間の利用率は61.4%(前年度66.3%)と低迷し、目標としていた72%を達成できなかった。

しかし、特養の高稼働率維持についての貢献度は高いことから、感染対策を徹底したうえで、現在のシステムを継続していく方針である。

〈参考資料：別表2〉

《事業計画の進捗状況》

〈ご利用者の視点〉医療依存度、介護依存度の高いご利用者や、周辺環境が不安定なご利用者に安心してサービスを利用していただくために、施設内の各担当職が自身の専門性を高める取り組みを実行する。

担 当	取 り 組 み	結 果 (評 価)	
全 体	令和3年度内に各部署において専門性を高める取り組みを立案し、毎月の企画会議において進捗確認をしていく	各部署で立案された専門性を高めるための取り組みは、花南棟のチェックシート運用以外は全て達成できていることから、高く評価できる結果となった。今後は更に専門性を高めるとともに、それを生かせるチーム作りが重要である。	
相 談	身体面、周辺環境においてカンファレンスを行い、課題を見つける	毎月1回、年間12回(各棟3回)開催を計画し、予定通り実行できた。見つかった課題について関係職と協議して対応策を実行に移すこともできた。	
機 能 医 訓 務 練	医療ニーズに対応するため、業務に必要な知識を習得する	期末までに1つ以上、新たな知識を習得することを目標として、職員1人1人が研修等に参加できた。また、そこで得た知識を共有して業務に生かすことができた。	
介 護	花 北	棟内で統一されたサービスが提供されるよう、他職種との情報共有が徹底されている	3ヶ月に1回、ご利用者の状態を書式に記入し、状態に変化がみられるご利用者に関して、棟会議内で相談、共有した。目標としていた情報共有は期待値以上の成果が出ている。
	花 南	ご利用者の周辺環境を整備するために、居室担当者が定期的な整理整頓と写真などの飾付を行う	2週間に1回、居室内の整理整頓を行い、毎月チェックシートで管理していく予定であったが、チェックシート作成はできたものの、運用まで到達することができなかったため、目標は未達成となった。
	森 北	大きなイベントを計画・実行し、レクリエーションでご利用者に喜んでいただく	森北棟、森南棟の合同イベントとして、9月のお化け屋敷、2月の豆まき大会を開催することができた。隣接する棟ではあるが、担当者同士の話し合いが不足していた点も見られたため、今後の合同イベント企画には十分な話し合いが必要であると感じた。
	森 南		
給 食	介護食、褥瘡ケア、栄養補助食品など、食事に関する外部研修に参加し、専門知識の習得に努める	半期に1回以上外部研修に参加するとともに内部研修にも参加し、そこで得た専門知識をもとに栄養計算された献立を作成し、提供することができた。	
事 務	ご家族にご利用者の様子を伝えられるよう、各棟や相談員との連絡調整、状態確認を行い、要望には随時対応する	ご家族からの電話や、来園されたご家族から情報提供の依頼があった際には随時的確に対応できた。さまざまなデータが電子化されているが、そのデータを確実に把握することもできている。	



〈財務の視点〉地域やご家族から信頼していただける施設となるために、外部への情報発信の強化や、ご家族との情報共有システムの構築に取り組む。

担 当	取 り 組 み	結 果(評 価)
全 体	令和3年度内に各部署において情報発信・情報共有に関する取り組みを立案し、毎月の企画会議において進捗確認をしていく	ご家族との情報共有をICT化する取り組みは、システム選定に難航し頓挫しているが、外部への情報発信については積極的に実行することができた。未だ外部との直接交流が難しい状況が続いていることから、引き続きSNSなどを活用して、積極的に情報発信を続けていく。
相 談	ご家族との情報共有システムの構築	ラインワークス等の外部サービスを導入し、ご家族との連絡ツールとすることを目標に、システム選定を開始したが、機能や費用の面から導入決定に至らなかった。今後は引き続き施設の意図に適合したシステムを模索し、有用性が高いシステムが見つかり次第、導入していきたい。
機 能 医 訓 務 練	委員会やイベントに参加して、施設内外の情報を共有する	委員会やイベントに看護職員が多く参加するとともに、参加した職員が、医務会議などで情報共有することができた。
花 北	ご利用者の生活の様子をご家族に発信し、安心を得ていただく	居室担当者が2か月に1回のペースで、ご利用者の生活の様子をまとめた手紙をご家族に発送した。コロナ禍においてご家族との交流が少ないなか、施設内の様子をお伝えする貴重な手段となった。
花 南	外部への情報発信を目的として、Instagramを毎日更新するとともに、ご家族面会時に閲覧方法を説明していく	毎日更新は投稿する職員の出勤状況により難しいことから、下半期には毎月15回以上の投稿を目標として達成することができた。ご家族への情報発信手段としても有効であることから、今後も継続していきたい。
森 北	毎月の行事・イベントの写真をSNSを通じて発信する	毎月実施しているイベントについて、全てをInstagramに投稿することができた。ご家族への情報発信とともに、就職を考える学生向けのアピールとなっていることから、今後も積極的に投稿を続けていく。
森 南	ご家族に森南棟からのお便りを発送し、ご利用者の施設での生活の様子を知っていただく	花南棟と同様に、ご家族へお手紙を発送する取り組みを実施した。ご家族との繋がりを絶やさないために、今後も定期的に発送していきたい。
給 食	新しいイベントやメニューを提案し、写真をSNSに掲載する	新しいイベント食や、定番メニューの見直しを実施し、ご利用者からは好評であった。SNS発信について、食についての掲載はページ全体を華やかにするため、今後も継続していく。
事 務	共有システムで各部署が入力した情報の活用と共有をする	新しく導入された介護記録システムに搭載された機能を最大限に活用するため、習得表を作成し、進捗管理した。情報入力、データ活用ともに満足できるレベルまでスキルアップすることができた。

〈業務の視点〉事例や事故を未然に防ぐため、また発生してしまった事例や事故の再発を防止するために、リスク事例検討のシステムを再構築し、確実に機能するものとする。

担 当	取 り 組 み	結 果 (評 価)	
全 体	令和3年度内に各部署において、リスク事例検討に関する取り組みを立案し、毎月の企画会議において進捗確認をしていく	各棟で個別に事例報告やヒヤリハットの分析を実施することができたが、委員会活動として行う施設全体の取りまとめは不十分であった。リスク事例検討のシステムを再構築するためには、活発な委員会活動が不可欠であることから、次年度以降も継続課題として取り組んでいく。	
相 談	相談員会議の中で、ヒヤリハット・事例報告の振り返りを行う	2か月に1回開催している相談員会議において、ヒヤリハットや事例の分析を行い、改善策や再発防止策を検討し、結果を周知することができた。	
機 能 医 務 訓 練	事故報告の分析結果を共有し、5S活動を含めて業務を安全に行うことで事故防止に努める	提出された事例報告に対して、早期にリスクアセスメントを行い、医務会議内で周知する取り組みをルール化し、年間通じて実施することができた。	
介 護	花 北	ヒヤリハットや事例報告の内容を活用し、事故予防、再発防止に努める	全職員が、1か月に2件以上のヒヤリハット報告書を提出し、棟の会議において改善策を検討する取り組みを計画し、年間通じて実施することができた。
	花 南	ショートステイご利用者の荷物に関わる事例を減らすため、新たな手法を取り入れていく	4～5月に荷物管理の様式を刷新し、6月以降運用を開始した。年間通じてショートステイご利用者の荷物に関する事例は4件提出されているが、前年に比べて大幅に減少していることから、新様式が有効に機能していると考えられる。
	森 北	リスク事例検討委員を中心に、事例報告やヒヤリハットについての相談する場を設ける	毎月開催される棟会議において1か月間に起こった事例や、提出されたヒヤリハットの事例検討を実施し、対応策を検討することとしたが、上半期は新型コロナウイルス施設内療養もあり、会議自体が開催できない月もあった。下半期は感染症も落ち着いたため、計画通り実行することができた。
	森 南	事故・事例を未然に防ぐためにヒヤリハットの提出を増やし、「気付き力」を向上させる	職員全員が毎週1枚以上のヒヤリハットを提出し、気付き力を向上させることを目標としたが、全員提出できた月は2分の1程度であった。目標の数値には届かなかったが、目配り気配りを絶やさず行う癖をつけるために、有効な目標設定であった。
給 食	嘔吐下痢発生時の食事対応について、フローチャートを作成し明確にする	新入職員も含めたすべての職員が理解しやすいフローチャートを完成させ、各棟に配布することができた。	
事 務	外部(ご家族)に渡る預かり郵便物を事務員同士で確認する	毎週2回、2名の事務職員によって、個人情報の流失にあたらぬよう、細心の注意を払って実施することができた。	

〈人材の視点〉 ご利用者やご家族、職員など施設を訪れる全ての人が気持ち良く過ごすことが

出来る場所であるために、施設全体で接遇力向上、ハラスメント防止に取り組む。

担 当	取 り 組 み	結 果 (評 価)	
全 体	令和3年度内に各部署において、接遇力向上、ハラスメント防止に関する取り組みを立案し、毎月の企画会議において進捗確認をしていく	施設として動画研修サイトと契約し、視聴を促すなど、ハラスメント防止に関する意識を持ち続けることができたと思われるが、各部署の企画した取り組みの達成率が低かったことから、今後も引き続き啓発活動を行っていく。	
相 談	ハラスメントの基礎を学ぶ	年間2回、ハラスメントに関する資料を作成し、全職員へ配布したが、その資料作成の作業自体が、担当者にとって多くの学びを得る機会となった。	
機 能 医 務 訓 練	接遇とハラスメント防止の意識を高く持ち、常時協力し合える職場環境にする	毎月の医務会議で、その月に取り組んだ項目が実施され、効果が実感できていることを確認した。 また、多職種との連携を強化するために様々なイベントや委員会活動に積極的に参画できた。	
介 護	花 北	全職員が接遇マナーの向上を目指し、ご利用者職員共に気持ちの良い環境を整える	①表情・笑顔②身だしなみ③挨拶④言葉遣い⑤立ち振る舞いの5項目において、職員各自が毎月自己評価を行い、接遇マナーの向上を目指した。1年を通して評価表にチェックを入れることができたので、職員の意識づけとして成果があったと考えられる。
	花 南	ご利用者に対する接遇を適切なものにするため、棟会議以外に接遇に関する会議を行う	6, 9, 12, 3月に接遇に関する会議を開催し、その内容を業務に取り入れる計画であったが、年末に発生した新型コロナウイルスクラスター対応により、会議を開催できない時期があった。年間計画としては未達成であるため、今後は継続課題として随時実施していく。
	森 北	森の家両棟で接遇コンテストを実施して、全体の接遇力向上に繋げる	年間通じて森棟への来訪者に投票をしていただき、その結果を毎月集計し、職員間で共有することにより、接遇に関する自己研鑽を促す取り組みを計画したが、準備の段階で時間を要したことに加えて、コロナ禍であり来訪者が少ないことから企画自体があまり機能しないまま1年が経過してしまった。
	森 南		
給 食	ご利用者やご家族への言葉遣いを意識し、気持ちの良いコミュニケーションがとれるように心掛ける	周りの職員の良い所を取り入れながら、積極的にコミュニケーションをとり、ハラスメント関連のクレームや問題が発生することなく1年間を終えることができた。	
事 務	ハラスメント防止に関する資料を閲覧する	法人内で配布された資料「ハラスメントは許しません」を定期的に黙読することに加えて、ハラスメントに関する動画を視聴し、ハラスメントに関する意識を継続して持ち続けることができた。	

《新型コロナウイルス施設内感染者の発生状況》

期 間	施設内での感染確認
2022年 5月7日～5月19日	職員2名、ご利用者2名陽性(うち1名は入院)
2022年 8月 23日～9月2日	ご利用者1名陽性(感染経路不明)
2022年11月 18日～12月1日	職員6名、ご利用者8名陽性
合 計	職員8名、ご利用者11名 ※その他職員のみでの感染報告11名

《外出・外泊等の状況》

施設イベント外出件数：3件35名      家族外出実施件数:0件      外泊実施件数:0件

《苦情対応・事例報告等の状況》

外部から		内部報告		外部へ	
苦情受付	0	ヒヤリハット	200	(保険者へ)事故報告	8
ご意見・ご提言	0	事例・アクシデント	150		

《防災訓練の実施状況》

実施月	4月・5月・10月・3月	6月・9月・11月・2月	7月・12月	8月・1月
訓練内容	設備、マニュアル等の周知	地震及び地震からの火災	火災	風水害

《食事の提供状況》

(1) 年平均1日あたり摂取栄養量

	熱量	蛋白質	脂肪	カルシウム	鉄分	ビタミンC	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2
	k c a l	g	g	mg	mg	mg	Mg	mg	mg
基準量	1496	56.1	33～50	520	5.2	80	473	0.85	0.97
摂取量	1539	57.4	42.7	448	8.4	62.5	608	1.1	0.83

レチノール当量

(2) 一日あたり1名平均給食材料費      585円

(3) 調理内容（入所利用者の食数）

主食	米飯	軟飯	粥	ミキサー粥	ゼリー	経管栄養	計
	15	22	33	13	6	1	90
副食	常食	一口大	刻み	超刻み	ソフト	ゼリー 経管栄養	計
	11	9	28	21	14	7	90

《内部研修の履修状況》

※本年度は動画研修サイト「サクラボ」を活用した動画研修(修了テスト有り)を主体として実施した。

研修内容	受講者数	受講者割合	修了率
管理職向け研修(リーダーシップ、タイムマネジメント等)	24	42.1%	17.8%
リーダー向け研修(コーチング、ハラスメント防止等)	33	57.9%	33.8%
新入職員向け研修(ビジネスマナー、接遇マナー等)	15	26.3%	16.3%
全職員向け研修(コミュニケーション、クレーム対応等)	27	47.4%	17.1%
【介護技術】①介護現場の基礎知識・移乗移動・入浴	34	59.6%	35.8%
【介護技術】②排泄・食事・整容・環境整備・視覚障害	47	82.5%	35.9%
【介護(法定以外)】①介護過程	21	36.8%	24.4%
【厚生労働省】BCP・感染症対策	28	49.1%	31.1%
【法定研修】①認知症・虐待防止・身体拘束禁止 リスクマネジメント・感染症と食中毒	55	96.5%	52.2%
【法定研修】②介護予防・認知症ケア(応用) 緊急時対応・精神的ケア	33	57.9%	35.5%
【法定研修】③医療・ターミナルケア・非常災害	26	45.6%	29.5%
【法定研修】④プライバシー保護・接遇・倫理	28	49.1%	31.8%
【障害分野】①権利擁護と虐待防止	20	35.1%	20.9%

《外部研修への参加状況》

参加研修名	日程	主催	参加人数
新型コロナウイルス発生施設 応援職員研修会	7月25日	静岡県	1
認知症介護実践者研修	8月3日～6日間	静岡県社会福祉人材センター	1
普通救命講習会	8月19日	袋井保安管理協会	4
介護福祉士実務者研修	9月22日～7日間	日本教育クリエイト	2
中東遠地区職種別研究会(短期入所)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(医務)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(介護)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(給食)	WEBによる会議形式	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(ケアマネ)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(事務)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(相談員)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
		合計	15
		職員1人あたり	0.2

《身体拘束廃止への取り組み状況》

存在拘束数	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
対象人数	2	1	0	0	0	1
拘束件数	2	1	0	0	0	1

《ボランティアの受け入れ状況》

慰問	団体(個人)数	0 団体	実施回数	0 回
作業	団体(個人)数	0 団体	実施回数	0 回

《実習・体験学習等の受け入れ状況》

(1) 実習の受け入れ

1 件	2 名	40 延日	
静岡県立磐田北高等学校			

(2) 体験学習等

2 件	3 名	18 延日	
静岡県立横須賀高等学校インターンシップ			
袋井支援学校見附分校			

令和4年度 紫雲の園利用実績

別表1

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間			
	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数
要介護1 (573)	1	30	1	31	1	30	1	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	122	69906
要介護2 (641)	2	60	1	31	1	30	1	31	1	31	1	30	1	31	1	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	305	195505
要介護3 (712)	8	240	8	248	8	240	8	248	8	248	9	265	8	245	8	210	9	258	8	248	8	224	9	264	2938	2091856		
要介護4 (780)	42	1241	43	1333	43	1290	44	1319	45	1333	43	1276	43	1270	42	1214	41	1217	44	1318	42	1176	42	1291	15278	11916840		
要介護5 (847)	38	1115	37	1128	38	1084	37	1147	37	1105	38	1106	39	1177	41	1185	40	1240	39	1209	39	1075	40	1198	13769	11662343		
計	91	2686	90	2771	91	2674	91	2776	91	2717	91	2677	92	2723	92	2639	91	2746	91	2775	89	2475	91	2753	32412	25936450		
日常生活 (36)	2686	2686	2771	2771	2674	2674	2776	2776	2717	2717	2677	2677	2723	2723	2639	2639	2746	2746	2775	2775	2475	2475	2753	2753	32412	1166832		
看護I (4)	2686	2686	2771	2771	2674	2674	2776	2776	2717	2717	2677	2677	2723	2723	2639	2639	2746	2746	2775	2775	2475	2475	2753	2753	32412	129648		
看護II (8)	2686	2686	2771	2771	2674	2674	2776	2776	2717	2717	2677	2677	2723	2723	2639	2639	2746	2746	2775	2775	2475	2475	2753	2753	32412	259296		
夜勤I (13)	2686	2686	2771	2771	2674	2674	2776	2776	2717	2717	2677	2677	2723	2723	2639	2639	2746	2746	2775	2775	2475	2475	2753	2753	32412	421356		
機能訓練 (12)	2686	2686	2771	2771	2674	2674	2776	2776	2717	2717	2677	2677	2723	2723	2639	2639	2746	2746	2775	2775	2475	2475	2753	2753	32412	388944		
科学的介護 (40)																												
初期 (30)	41	41	12	12	4	4	26	26	16	16	94	94	50	50	27	27	40	40	20	20	0	0	22	22	352	10560		
外泊 (246)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0	0	0	6	6	54	13284		
退所前連携 (72)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
看取り (144)	10	10	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	27	27	0	0	7	7	2	2	21	21	69	32056		
(680)	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	2	2	2	0	0	2	2	2	2	2	2	14	14		
(1280)	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	2	2	9	9		
食費算定日数	2686	2686	2771	2771	2674	2674	2776	2776	2717	2717	2677	2677	2723	2723	2639	2639	2746	2746	2775	2775	2475	2475	2753	2753	32412	32412		
居住算定日数	2686	2686	2771	2771	2674	2674	2776	2776	2717	2717	2677	2677	2723	2723	2639	2639	2746	2746	2775	2775	2475	2475	2759	2759	32466	32466		
日用品算定日数	2686	2686	2771	2771	2674	2674	2776	2776	2717	2717	2677	2677	2723	2723	2639	2639	2746	2746	2775	2775	2475	2475	2753	2753	32412	32412		
預金管理	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
稼働率	99.48%	99.48%	99.32%	99.32%	99.04%	99.04%	99.50%	99.50%	97.38%	97.38%	99.15%	99.15%	97.60%	97.60%	97.74%	97.74%	98.42%	98.42%	99.46%	99.46%	98.21%	98.21%	98.67%	98.67%	98.67%	98.67%	98.67%	98.67%
平均介護度	4.25	4.25	4.26	4.26	4.26	4.26	4.27	4.27	4.29	4.29	4.29	4.29	4.32	4.32	4.35	4.35	4.34	4.34	4.35	4.35	4.34	4.34	4.34	4.34	4.34	4.34	4.34	4.34
新入所数	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	0	0	2	2	1	1	0	0	3	3	16	16		
退所者数	1	1	0	0	1	1	1	1	4	4	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	1	1	2	2	17	17		
入院人数/日数	1	7	1	19	1	15	0	0	1	15	0	0	6	57	2	46	1	6	0	0	0	0	1	12	177	177		
法人減免対象数	17	17	17	17	17	17	17	17	20	20	18	18	19	19	19	19	19	19	19	19	18	18	17	17	17	17	17	

別表2 令和4年度 紫雲の園短期入所 利用実績

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間
	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	1	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
要介護1	6	34	7	20	5	34	6	30	5	26	6	30	5	21	6	36	5	38	4	20	6	26	4	25	340
要介護2	9	55	8	64	7	55	6	45	8	52	7	41	6	60	5	47	5	45	5	32	3	20	6	37	553
要介護3	3	16	4	17	4	30	7	55	8	50	5	47	5	28	2	5	4	10	5	42	6	40	9	37	377
要介護4	5	11	5	44	5	17	6	40	5	44	5	44	4	48	5	63	8	87	6	92	4	67	5	40	597
要介護5	1	7	2	12	2	8	2	11	2	10	2	10	2	15	2	9	2	9	2	18	3	16	3	18	143
計	25	126	27	160	23	144	27	181	28	182	25	172	22	172	20	160	24	189	22	204	22	169	27	157	2016
外提供加算 1(12)		126		160		144		181		182		172		172		160		189		204		169		157	2016
加 夜勤配置 算 (13)		123		157		144		181		182		172		172		160		189		204		169		157	2010
送迎 /(184)		67		79		66		78		69		58		60		29		48		51		44		59	708
稼働率	46.7%		57.3%		53.3%		64.9%		65.2%		63.7%		61.6%		59.3%		67.7%		73.1%		67.1%		56.3%		<b>61.4%</b>
平均介護度	2.15		2.72		2.38		2.76		2.78		2.78		2.86		2.76		2.92		3.27		3.16		2.93		2.82



## 令和4年度 浅羽デイサービスセンター 事業実績報告

### 1. 稼働状況

コロナ禍となり3年が経過し、今年度も感染予防を最優先にその対策にあたった1年であった。日々の消毒、マスク着用、換気と感染症拡大防止に努めたが、8月に職員、ご利用者様併せて18名が新型コロナウイルス感染症を発症し、4日間デイサービスを休館することになってしまった。1月にも新型コロナウイルス感染症に3名が感染したが、感染拡大は回避できた。

稼働については、目標利用延べ人員 900人/月とし、実績は859.5人/月、達成率は95.5%であった。感染症拡大の影響で、8～10月の稼働を大きく下げることになってしまったが、下半期の稼働が安定していたため、目標値に近い数字を収めることができた。また、『規模区分の変更の特例』が適用になり、月次売り上げも落とすことなく維持できた。

#### 【延べ利用者数、実利用者数】

(表-1)

	延べ利用者数 (名)	実利用者数 (名)
平成30年度	12,048	147
令和元年度	11,820	135
令和2年度	12,141	123
令和3年度	11,265	117
令和4年度	10,703	115
前年度比	- 562	- 2

#### 【新規利用者数、終了者数】

(表-2)

	新規利用者数		再利用者数	終了者数
平成30年度	延べ50名	実47名	3名	44名
和元年度	延べ35名	実34名	1名	44名
令和2年度	延べ30名	実29名	1名	29名
令和3年度	延べ22名	実22名	0名	33名
令和4年度	延べ35名	実32名	3名	34名

#### 【終了者の理由】

(表-3)

理由		理由	
入院	11名	小規模多機能型居宅介護	2名
死亡	9名	グループホーム	2名
ロングショートステイ	3名	他デイ	1名
特別養護老人ホーム	2名	その他	4名

実利用者115名の男女比は、男性30名(26%)、女性85名(74%)、圧倒的に女性が多い。令和5年3月時点、在籍ベース(通所介護)での一人当たりの平均利用回数は2.9回と前年度と大きな差はなかった。また、ご利用者様の平均年齢は86.3歳と、昨年と比較し-1.3歳だった。

総合事業(現行相当サービス)のみの利用状況と平成30年度以降の推移は次の通りである。昨年度と比較すると、延べ利用者数は207名減、実利用者数は5名減となる。

【総合事業（現行相当）】

（表-4）

総合事業 （現行相当）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	34	32	33	30	19	31	30	30	29	28	21	24	341名
実利用者数	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5名

（表-5）

	延べ利用者数(名)	実利用者数(名)
平成30年度	1,729	25
令和元年度	1,402	24
令和2年度	1,037	19
令和3年度	548	10
令和4年度	341	5
前年度比	- 207	- 5

延べ利用者数を要介護度別にみると次の通りである。要介護1が44.2%と圧倒的に多いが、要介護3・4・5の中重度は27.1%と昨年度より6.1%上回り、令和4年度における平均要介護度は1.96、昨年より0.14上がり前年度に引き続き重度化傾向である。

（表-6）

介護度別		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
平成30年度	名	258	1,471	5,675	2,142	1,816	581	105
	%	2.1	12.2	47.1	17.8	15.1	4.8	0.9
令和元年度	名	287	1,115	6,111	1,684	1,287	778	558
	%	2.4	9.5	51.7	14.3	10.9	6.5	4.7
令和2年度	名	140	897	6,758	2,492	852	459	542
	%	1.1	7.4	55.7	20.5	7.0	3.8	4.5
令和3年度	名	78	470	5,258	3,087	1,192	872	308
	%	0.7	4.2	46.7	27.4	10.6	7.7	2.7
令和4年度	名	50	291	4,724	2,730	1,309	1,425	174
	%	0.5	2.7	44.2	25.5	12.2	13.3	1.6

加算サービスの延べ利用者数は次の通りである。入浴は通所介護のご利用者様の74.7%が実施している。個別機能訓練加算については、個別機能訓練加算Ⅰ（イ）・（ロ）を合わせて83.3%、個別機能訓練加算Ⅱは94.8%、認知症加算は23.1%、科学的介護推進体制加算は100%算定した。

総合事業（現行相当サービス）については、運動器の機能向上加算は100%算定するが、口腔機能向上加算、生活機能向上グループ活動加算の実績はなかった。

（表-7）

	通所介護				介護予防通所介護			
	入浴	個別機能訓練Ⅰ（イ）	個別機能訓練Ⅰ（ロ）	個別機能訓練Ⅱ	認知症	運動器の機能向上	生活機能向上	アクティビティ
令和3年度	8,112名	130名	8,914名	954名		80名		
令和4年度	7,742名	355名	8,281名	902名	2,393名	51名		

給付以外のサービスの利用状況は、減免対象者は実利用者数0名（延べ0名）、生活保護受給者は実利用者数1名（延べ12名）であった。

利用者の介護度の変動については次の通りである。介護度が軽くなった方は6名、重くなった方は13名と重度化する傾向にある。

(表-8)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
要支援 1							
要支援 2							
要介護 1				4	3	2	
要介護 2			4		2		
要介護 3			1	1		1	
要介護 4							1
要介護 5							

実績内訳の詳細は 表-11 を参照。

通所型サービスA（基準緩和サービス）の実利用者数は31名、延べ利用者数は1,013名と前年度より60人増加した。新規利用者数は11名、除籍者は7名であった。

茶ろんから浅羽デイサービスセンター通所介護へ移行された方は3名であった。

(表-9)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	20	18	18	22	23	24	25	24	22	20	20	23	31
延べ利用者数	73	72	69	82	74	106	104	98	82	76	80	97	1,013

(表-10)

	延べ利用者数 (名)	実利用者数 (名)
平成 29 年度	398	19
平成 30 年度	787	29
令和元年度	998	29
令和 3 年度	1,048	32
令和 2 年度	953	32
令和 3 年度	1,013	31
前年度比	+ 60	- 1

## 2. 計画の実施状況

### (1) ご利用者様の視点

#### ■統一したケアを行う

○バーセルインデックスの研修を行う事により、自立支援に向けた取り組みに繋げる。

・毎月2回、ケース会議の時間を利用し、機能訓練指導員を中心にバーセルインデックスの評価の研修を行ったが、自立支援に繋げる話し合いには発展できなかった。

#### ■認知症のご利用者様の関わりを強化し、その方が安心して過ごしていただけるよう取り組む

・中重度の認知症のご利用者様に対し、午前中に談話や歌、ゲーム等のレクリエーションを行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で職員が充足できず、実施できない日も多かった。

#### ■ご利用者様の活動を報告する

・ご利用者様の活動の様子を写真にとり、2～3ヶ月に1度プリントアウトし、ご利用者様及びケアマネジャーに日々の活動の様子を報告した。「デイでの様子が良く分かる」「色々工夫して楽しませていただきありがとうございます」などのご家族様の声が聞かれた。

### (2) 財務の視点

#### ■加算の取得

・今年度は認知症加算を算定することができた。また、来年度においても加算の要件を満たすことができ、継続して加算の算定が可能である。

#### ■茶ろん（サービスA）の登録者数を増やす

・登録者数30名目標としていたが、平均21.6人/月と前年度と同様の数字であった。地域住民の知名度が低く、広報活動が必要であると感じた。新規利用者数11名、除籍者7名で、実利用者数は31名。除籍者のうち、3名は浅羽デイサービスセンターの通所介護へ繋げる事ができた。

### (3) 業務の視点

#### ■業務分担の整理

○職員の負担が偏らないよう整理する。

・LIFEへのデータ作成やBCPの書類作成の業務分担を見直した。

#### ■リスクマネジメント

○ヒヤリハットと報告啓発活動

・毎月1回、ケース会議の時間を利用し、リスクマネジメントを行い、再発防止に繋げた。

### (4) 人材の視点

#### ■バーセルインデックスの標準化

○介護職員全員がバーセルインデックスの評価ができる。

・機能訓練指導員を中心にバーセルインデックスの評価を行うが、一方的な説明になってしまい、十分な研修にはならなかった。介護職員全員が個々で評価できるように、令和5年度も研修方法を検討しながら業務を標準化する。

#### ■QC活動

○テーマを決めて職員全員が1つの目標に向かって取り組む。

・『朝の一斉挨拶』をテーマに取り組んだ。QC活動期間は出来ていたことも時間の経過と共に職員の意識が薄れ、他の業務に取り掛かっていたり職員同士が会話していたりと習慣化することは難しい。今後も継続した取り組みが必要である。

#### ■外部研修

・eラーニング『サクラボ』の動画研修を各個人で取り組んだ。

### 3. 日 課

浅羽デイサービスセンターの1日の流れは次の通りである。

事業 時間	通所介護	総合事業（現行相当サービス）
	サービス提供時間：9：20～16：30	
8:00	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">送迎</span>	
9:00	手洗い・うがい	
9:20	湯茶サービス バイタルチェック	
10:00	↓ 午前の活動（脳トレーニング、レクリエーション、機能訓練等）	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">送迎</span>
10:30	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">入浴</span> 湯茶サービス ↓	↓ 手洗い・うがい 湯茶サービス バイタルチェック
11:00	手洗い・うがい 嚥下体操	午前の活動（脳トレーニング、レクリエーション、生活機能向上グループ活動等） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">入浴</span> 湯茶サービス
12:15	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">昼食</span> 口腔ケア	手洗い・うがい 嚥下体操
13:30	午後の活動（機能訓練、でん伝体操、趣味活動、季節の行事等）	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">昼食</span> 口腔ケア
14:00	ドリンクサービス	運動器機能向上 ドリンクサービス
14:30	機能訓練、集団体操、レクリエーション等	午後の活動(レクリエーション、季節の行事等)
15:00		手洗い・うがい おやつ
15:15		<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">送迎</span> ↓
15:30	手洗い・うがい	
16:00	おやつ カラオケ	
16:30	帰りの挨拶 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">送迎</span> ↓	
18:00		

#### (1)送 迎

リフト付車両(ハイエース)3台、普通自動車(シエンタ)1台、スロープ付自動車(ノア)1台、スロープ付軽自動車(タント)1台、計6台の車両使用。

朝は8時00分、帰りは16時30分に出発した。可能な限りご利用者様ならびにご家族様の状態やご要望に応じて送迎車両や送迎時間を融通した。また、7時間未満でのご利用者様にも対応した。ご利用者様のその時々体調や身体状況に配慮して、個別送迎やベッドからベッドまでの送迎、職員2人体制での送迎、利用拒否の場合の対応等、必要に応じて随時変更し、柔軟に対応した。

大きな事故もなく、安全に送迎を行うことができた。

#### (2)入 浴

ご利用者様の身体の状況に応じて、適した入浴方法(一般浴・中間浴・特殊浴・個浴)を選択し、安全に配慮して実施した。入浴ができない場合には、ご要望や必要に応じて足浴・陰部洗浄や清拭等を行なった。

洗身及び洗髪の際には、皮膚の観察を充分に行い、皮膚炎や褥瘡等のトラブルの予防に努めるとともに、異常や変化を発見した場合はご家族様に速やかにお伝えし、必要に応じて受診をお勧めした。

ご利用者様のペースでゆっくりと入浴していただくと同時に、自立支援の見地からご自分でできることはできるだけ行っていただくよう援助した。

また、毎月 26 日は入浴の日とし、季節に合わせた入浴剤を使用し、季節の香りを楽しんでいただいた。5 月の端午の節句には菖蒲湯、12 月の冬至には柚子湯を実施した。

### (3)食 事

栄養バランスのとれた食事をご利用者様の希望や身体的状況に合わせた形態で提供した。嗜好についても調査し、召し上がれない食材や献立の際には代替食をご用意した。

流し素麺やバイキングはコロナ禍のため中止した。お鍋は方法を変えて実施した。

食事前には嚥下体操を行い、摂食時には常に見守り、必要があれば声かけや介助をし、誤嚥による事故の防止に努め安全に召し上がっていただけるように援助した。摂取量の少ないご利用者様には、補助食品の使用等の働きかけも行った。

### (4)口腔ケア

ほぼ全員のご利用者様に食後の歯磨きを行っていただいている。ご自分で磨いていただいているから職員が確認し、汚れが落ちていない部分は綺麗に洗っていただくよう助言をしたり、仕上げ磨きをさせていただいた。必要に応じて歯間ブラシや舌ブラシ、スポンジブラシを使用し、口腔内の清潔に努めた。

歯科受診が必要なご利用者様にはご家族様やケアマネジャーに働きかけ、受診に繋げることができた。

### (5)ドリンクサービス

到着時、入浴後、昼食時、おやつ時の水分補給以外に、食後の 14 時以降に、ドリンクサービスを実施し、水分補給を兼ねながらお茶のひと時を楽しんでいただくようにしている。

水分摂取量が少ないご利用者様には、脱水等に留意し、水分補給時にお好きな飲み物を提供し、摂取量を多くするよう努めた。また、誤嚥等で水分が摂取できにくい方にはとろみ剤を使用して補給していただいた。

### (6)おやつ

季節や行事に合わせたおやつ、誕生会にはお祝いのケーキを提供した。おやつ作りは感染症の状況を見ながら実施した。

※手作りおやつについては 4. (2) に記載。

### (7)排 泄

ご利用者様の排尿・排便の時間的パターンを探り、必要な方にのみ、必要なタイミングで、声かけや誘導、身体状況や生活状況に合わせた介助を行うよう努めた。個々のご利用者様の可能性を職員が検証し、能力を最大限活かせるよう、可能な限り排泄動作の自立を促す支援をした。

ご家庭での排泄状況をできるだけ把握し、排便コントロールが必要なご利用者様には介護連絡ノートに『排便チェック表』を貼付しご家族様に助言した。

### (8)健康管理

ご利用の際は、予めご自宅で体温を測定していただき、異常がないことを確認してからご利用いただいた。また、乗車前にはアルコール消毒をし、マスク着用を徹底、走行中は窓を開け、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。

看護職員が中心となってバイタルチェックを行い、ご利用者様のその日の体調を確認させていただいてから、入浴実施の可否の決定、活動内容や静養の必要等、過ごし方を調整した。熱発等の異常があればご家族様に連絡し、早期受診をお勧めし早期治療に努めた。

また、感染症予防の為、センター到着時、昼食前、おやつ前に手洗いとうがいを行っていた。毎日、フロア内の温度や湿度を定時にチェック、常時換気し、手すり等の消毒も実施した

### (9)レクリエーション

※季節の行事、慰問、趣味教室の内容については 4. に記載。

### (10) 機能訓練の取り組み

機能訓練指導員または相談員が居宅を訪問し、生活状況（起居動作、ADL、IADL 等の状況）を確認し生活機能チェックシートを作成。興味・関心チェックシートで意向確認し、身体機能及び生活機能の向上

を目的とする機能訓練項目を設定し、個別機能訓練計画を作成した。5人程度以下の小集団または個別で機能訓練を実施した。3月毎に機能訓練指導員または相談員、介護職等がご利用者の居宅を訪問し、ご自宅での状況をご家族様に聞き取り、評価し、個別機能訓練計画書の見直しを行った。

#### 4. 行事

年間計画にもとづいて、以下の行事を行った。

##### <通所介護・現行相当サービス>

	内 容			
	季節の行事	慰問・訪問・交流会	趣味教室	その他
4月	花まつり、誕生会	中止	フラワーボックス制作、壁画、フラワーアレンジメント、書道、ゴーヤ苗植え付け、朝顔種まき	通信紙 防災訓練（火災） 訪問美容
5月	端午の節句、新茶サービス、誕生会、菖蒲湯	中止	ゴーヤ・朝顔の棚づくり、スイカ苗植え付け、ひまわり種まき、玉葱収穫、椅子の組み立て・分解、壁画、フラワーアレンジメント、書道	通信紙 防災訓練（火災） 訪問美容
6月	誕生会	中止	傘のモビール制作、壁画、書道、マリーゴールド、ケイトウ植え付け、ゴーヤ収穫	通信紙 防災訓練（風水害） 訪問美容
7月	七夕、誕生会	中止	壁画、スイカ収穫、書道	通信紙 防災訓練（風水害） 訪問美容
8月	お施餓鬼、お楽しみ会、誕生会	中止	敬老会用プレゼント制作、風鈴、壁画、書道	通信紙
9月	敬老会（イントロクイズ）、誕生会 お彼岸	中止	敬老会写真コーナー、壁画、書道	通信紙 防災訓練（地震・火災） 訪問美容
10月	お楽しみ会（しり拾いゲーム）、バーベキュー、誕生会	中止	壁画、書道、大根種まき、バーベキュー、フラワーアレンジメント	通信紙 防災訓練（地震・火災）、訪問美容
11月	誕生会	茶道	干支うさぎ制作、リリアンマフラー制作、壁画、フラワーアレンジメント、書道	通信紙、 防災訓練（地震） 訪問美容
12月	お楽しみ昼食（温めて提供）、クリスマス会、焼き芋、誕生会、柚子湯	中止	干支うさぎ制作、正月飾り制作、焼き芋、花苗植え付け、門松作り、フラワーアレンジメント、壁画、書道	通信紙 防災訓練（送迎中の地震） 訪問美容
1月	新年会（絵馬作り・くじ引き）誕生会	中止	壁画、絵馬作り、フラワーアレンジメント、書道	通信紙 防災訓練（送迎中の地震） 訪問美容
2月	節分、鍋昼食 誕生会	絵手紙、茶道	壁画、白菜・大根・ブロッコリーの収穫、フラワーアレンジメント、書道	通信紙 防災訓練（入浴中地震）、訪問美容
3月	雛祭り、お彼岸、誕生会	絵手紙	壁画、フラワーアレンジメント	通信紙 防災訓練（入浴中地震）、訪問美容

<通所型サービスA(基準緩和サービス) 通称：茶ろん>

	活 動 内 容	
	内 容 (行事、趣味活動等)	外 出
4月	制作(チューリップリース・ピーナッツバード・ローズボックス)	ドライブ(諸井地区：梅、富里地区：チューリップ)
5月	おやつ作り(柏餅)、オンラインレク	ドライブ(笠原地区：菖蒲、里山公園)、買い物(遠鉄ストア)
6月	おやつ作り(抹茶とあんこの羊羹)、制作(傘のモビール、七夕飾り)、オンラインレク	買い物(しまむら)
7月	おやつ作り(白玉ぜんざい)、脳トレ体操・脳トレゲーム、オンラインレク	
8月	制作(風鈴、ブドウの壁画、くるくる棒の籠)、オンラインレク	
9月	制作(パステル絵画、くるくる棒の籠)	
10月	制作(くるくる棒のペン立て・籠)、オンラインレク、おやつ作り(あんみつ)、バーベキュー、誕生会	ドライブ(コスモス畑)
11月	制作(くるくる棒のペン立て、ポインセチア、干支飾り)、オンラインレク、誕生会、おやつ作り(リンゴのコンポート)、お茶会、絵手紙教室	買い物(制作材料)
12月	制作(マフラー、干支飾り、干支ちぎり絵、門松)、おやつ作り(クリスマスケーキ)	
1月	制作(招福鬼・梅の花)、誕生会、おやつ作り(スイートポテト)、絵手紙教室、フラワーアレンジメント、書道	初詣(三熊野神社)
2月	制作(招福鬼・梅の花、お雛様)、オンラインレク、誕生会、おやつ作り(小麦まんじゅう)、茶道、絵手紙教室、フラワーアレンジメント	いちご農園
3月	制作(お雛様)、おやつ作り(いちご大福)、絵手紙教室、オンラインレク、誕生会	ドライブ(梅)、散歩(いちご農園)

(1) イベント昼食、調理

感染対策をしながら、日々の食事に変化をもたせ食事の時間を楽しんでいただけるようにした。

- ・ 8月 … ゴーヤの佃煮
- ・ 9月 … お祝い膳(敬老の日)
- ・ 10月 … バーベキュー
- ・ 12月 … お楽しみ昼食(ホットプレートで温めて提供)
- ・ 2月 … 鍋(鶏団子)
- ・ 3月 … ちらし寿司

(2) 特別・手作りおやつ

誕生会にはグリーンハウスのケーキ、季節感のあるおやつ、行事に関連したおやつを提供した。おやつ作りは、感染状況を見ながら、また対策をしっかりとりながら、作る楽しみ、また、自信に繋がるように実施した。

- ◆特別おやつ：
- 5月 … 新茶、柏餅、誕生日ケーキ
  - 6月 … 誕生日ケーキ
  - 7月 … 水まんじゅう(七夕)、誕生日ケーキ
  - 8月 … カップケーキ、誕生日ケーキ
  - 9月 … 練り切り(まんじゅう)、おはぎ、誕生日ケーキ
  - 10月… 誕生日ケーキ
  - 11月… 誕生日ケーキ
  - 12月 … クリスマスケーキ、焼き芋、誕生日ケーキ
  - 1月 … お祝い饅頭(新年会)、誕生日ケーキ
  - 2月 … ロールケーキ、誕生日ケーキ
  - 3月 … 三色ゼリー(桃の節句)、牡丹餅、誕生日ケーキ



- ◆手作りおやつ：5月 … 柏餅
- 6月 … 抹茶ようかん
- 7月 … 白玉ぜんざい
- 10月 … クリームあんみつ
- 11月 … リンゴのコンポート
- 12月 … クリスマスケーキ、焼き芋
- 1月 … うさぎのスイートポテト
- 2月 … 小麦饅頭
- 3月 … いちご大福

### (3) 慰 問

コロナウイルス感染症拡大防止のため受け入れなし。

### (4) 趣味の教室

新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、11月から茶道や絵手紙のボランティアを受け入れ、活動を再開した。

計： 2 団体 4 回 延べ 15 名

## 5. 介護相談・介護支援

### (1) 介護者ふれあい広場

中止とした。

### (2) 通信紙『ぽっかぽか通信』発行

通信紙を毎月 1 日付で発行、ご利用者様ならびにご家族様、ケアマネジャーに送付し、センターでの活動の様子をお伝えした。文字よりも写真を多くし、より見やすく、わかりやすい紙面にし、皆様に見て読んで楽しんでいただきデイサービスの様子をご理解いただけるよう工夫した。

計： 12 回発行

### (3) 『デイサービスご利用アンケート』調査

新規利用の方を対象に、サービス利用から 3 ヶ月経過した時点でアンケート調査を実施した。ご記入いただいた皆様からは概ね良好との回答をいただいた。ご利用者様の個々の状況に応じた意見・感想・相談については、検討し、即座に実施できることは対応し、『介護計画書』及び日々の援助に反映させた。

- ・対象者：26名（令和4年1月から令和4年12月までの新規利用のご利用者様ならびにご家族様）
- ・回収率：92.9%

#### 【回答結果】

- ・設問1『選んだ理由』：
 

家から近いから	17名
※複数回答可 ケアマネジャーに紹介されて	13名
浅羽の施設だから	11名
見学やお試し利用をしてみて良さそうだったから	8名
近所の人や知り合いが利用しているから	5名
利用時間や料金、サービス内容等が希望に合っているから	4名
知り合いからきいて良さそうだったから	3名
インターネットで当センターのホームページを見て	1名
- ・設問2『利用の感想』：「良かった」「大変良かった」 …… 19名(79%)

- ・設問3『職員の対応』:「良い」「大変良い」 ..... 20名(83%)
- ・設問4『入浴』 :「良い」「大変良い」 ..... 17名(71%)
- ・設問5『食事』 :「おいしい」「大変おいしい」 ..... 15名(63%)

※量については… 主食は適当が18名(75%)、多いが2名、少ないが0名。  
副食は適当が16名(67%)、多いが3名、少ないが0名。

- ・設問6『おやつ』 :「おいしい」「大変おいしい」 ..... 15名(63%)
- ・設問7『送迎時間』 :お迎え時間「適当」 ..... 21名(88%)  
お送り時間「適当」 ..... 21名(88%)  
利用時間の長さ「適当」 ..... 18名(75%)  
※変更の要望には、即対応。

- ・設問8『レクリエーション』:「楽しい」「大変楽しい」 ..... 10名(42%)  
※午前の脳トレで人気の高かった順に①ぬりえ7名、②パズル6名、③計算問題4名、④漢字・言葉の問題1名であった。内容はどれも評価が低いため活動内容の検討が必要だと思われる。  
※午後の活動では①体操7名、②散歩3名、③制作、園芸、調理2名、④パワーリハビリ、フラワーアレンジメント、手芸、カラオケ・楽器演奏、慰問見学1名。コロナ禍で活動内容が限定されてため、回答率も低かった。

## 6. 地域交流

コロナ禍のため、慰問や講師のボランティアの受け入れは中止した。災害時の地域と連携した対応の強化が求められ、岡山地区の側溝清掃と草刈りに参加した。

### (1) さわやかスタッフ(有償)

年間を通じて営業日の9時30分から11時30分の2時間、1日1名、入浴の着脱衣介助や整髪等の作業を行っていただいた。また、茶ろん補助職員として9時30分から16時00分の5.5時間、1日1名、活動していただいた。他に、事務作業軽減のため1回3時間、1ヶ月に3日程度、お越しいただいている。

令和4年3月末現在 計: 登録及び活動者 8名

### (2) ボランティア

実績なし

## 7. 人材育成

福祉を学ぶ者にとって現場を知る事は大きな収穫である。要請に応じて状況の許す限り実習生の受け入れを行い、勉強の機会を提供したいとの姿勢は変わらないが、その時の状況により、ご利用者様の安全を第一に考え判断した。

### (1) サマーショートボランティア

令和4年8月9日～12日 天竜高校春野校舎 … 2名

計: 2名 受入

### (2) 職場体験学習

令和3年度に引き続き、受け入れしなかった。

### (3) 介護等体験(小・中学校教諭の普通免許状授与に関わる)

実績なし

#### (4) 実習

実績なし

#### (5) 職員研修

外部研修は、介護職員 1 名につき 1 講座参加することを目標に掲げたが、法人でeラーニング『サクララボ』の研修があり、その研修に充てた。

内部研修は、年度計画・反省、感染症、防災動等の実施。ケースカンファレンスは毎月 2 回実施した。

- ・ 外部研修 …… 計： 10 講座 延べ 9 名参加  
※介護職員、看護職員、機能訓練指導員 eラーニング『サクララボ』
- ・ 内部研修 …… 計： 8 回 実施
- ・ ケースカンファレンス …… 計： 16 回 実施

#### 8. 防災管理

防災訓練は毎月実施し、火災や地震等の災害時に備えた。

訓練については、日課や業務の進行上、実施時間が午後の決まった時間にならざるを得なかった。事前に職員に計画を通知しているため、各職員が自ら判断して行動する場面が少なかったように思われる。引渡訓練は、感染症拡大防止のため中止した。

- ・ 防災訓練 ご利用者様避難訓練 …… 毎月 1 回実施  
計： 11 回実施 (火災 4 回、地震 7 回、風水害 2 回 ) 延べ 412 名参加

#### 9. 衛生管理

職員の就業前の検温及び体調の申告、ご利用者様の利用当日の検温及び体調の申告依頼、感染症等発生状況の報告、館内ならびに車両内の換気・消毒・清掃、手洗いとうがいの励行等を実施し、日々通常業務として、感染源が持ち込まれないよう努めるとともに、疑われる症状の早期発見、蔓延予防に努めた。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一層取り組みを強化し、マスク着用、手指アルコール消毒、換気、本人または家族が体調不良の時は出勤しない事を徹底した。

しかし、8 月にご利用者 12 名、職員 6 名、合計 18 名が新型コロナウイルス感染症を発症した。また、1 月にも、ご利用者様 1 名、職員 2 名、合計 3 名感染した。

#### 11. 事故防止活動

ヒヤリ・ハット報告書については、小さな気付きでも危険だと思ったことは報告書に記入し、他の職員に注意喚起することにより事故に繋がないように啓発活動に取り組んだ。その結果、165 件の報告があった。内容については、確認不足や目配り不足が多いが、事前に気づき、大きな事故を防ぐことができた。

- ・ ヒヤリ・ハット報告 …… 165 件
- ・ 事例報告 …… 61 件
- ・ 救急車要請報告 …… 1 件
- ・ 業務改善書 …… 0 件
- ・ 事故報告(行政提出) …… 2 件

以上

利用状況

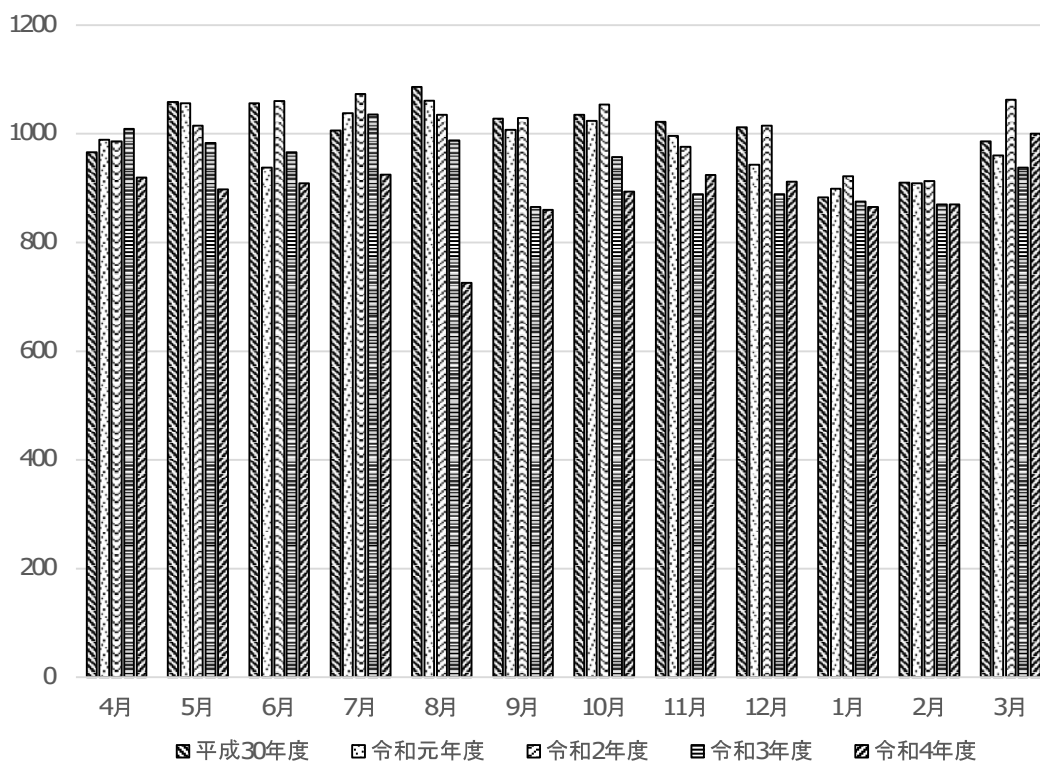
(表-11)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開所日数		26	26	26	26	23	26	26	26	25	24	24	27	305	
実利用者数		85	85	86	82	83	82	79	84	84	84	84	85	1,003	
延利用者数		920	898	909	925	726	860	894	924	912	865	870	1,000	10,703	
1日平均利用者数		35.4	34.5	35.0	35.6	31.6	33.1	34.4	35.5	36.5	36.0	36.3	37.0	35.1	
定員達成率		78.6%	76.8%	77.7%	79.1%	70.1%	73.5%	76.4%	79.0%	81.1%	80.1%	80.6%	82.3%	77.9%	
利用者	延べ 総合事業 (現行相当)	事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	要支援1	4	4	5	4	3	5	4	4	5	4	3	5	50	
	要支援2	30	28	28	26	16	26	26	26	24	24	18	19	291	
	2～3時間	要介護1					1			1	1				3
		要介護2													0
		要介護3													0
		要介護4													0
		要介護5								1					1
	3～4時間	要介護1				1								1	2
		要介護2													0
		要介護3													0
		要介護4									1				1
		要介護5												1	1
	4～5時間	要介護1	1		1	2	2		1	1	1				9
		要介護2							1	2					3
		要介護3		1						1		1	1		4
		要介護4		1		1		1	1	1			1	1	7
		要介護5													0
	5～6時間	要介護1	13	16	12	7	13	13	11	14	5	14	14	11	143
		要介護2	2			2	2	2	2	5	14	12	12	15	68
		要介護3				4	3	1	2	5	8	7	7	10	47
		要介護4	16	14	16	13	4	5	4	5	6	6	5	18	112
		要介護5						0	0		0	0	0	0	0
	6～7時間	要介護1	3	1	2	3	1	3	0	2	6	12	14	10	57
		要介護2	11	13	10	11	9	11	11	12	11	1	5	5	110
		要介護3	2	1	2	1		1	0	2	1		2	0	12
		要介護4	21	21	24	22	14	20	22	24	21	25	20	26	260
		要介護5						0	1				0	1	2
	7～8時間	要介護1	364	358	361	388	310	373	406	413	400	377	351	409	4,510
要介護2		250	249	249	229	186	232	213	195	193	178	181	194	2,549	
要介護3		112	110	98	103	81	94	95	101	96	92	120	144	1,246	
要介護4		78	48	76	87	67	70	83	101	113	106	106	110	1,045	
要介護5		13	33	25	21	14	3	11	8	6	6	10	20	170	
加算	介護予防 通所介護	生活機能向上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	運動器機能向上	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	51	
	科学的介護推進	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	51	
	要支援1体制 I	1	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	
	要支援2体制 I	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	39	
	処遇改善 I	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	51	
通所介護	入浴	659	650	653	690	535	617	647	665	668	626	620	712	7,742	
	個別機能訓練 I(イ)	24	0	0	5	9	40	14	22	30	174	31	6	355	
	個別機能訓練 I(ロ)	761	778	785	774	583	652	753	717	603	492	526	857	8,281	
	個別機能訓練 II	75	75	75	73	73	75	73	75	77	76	77	78	902	
	科学的介護推進	80	79	81	78	79	78	75	80	80	80	80	81	951	
	認知症	218	212	217	202	139	173	183	189	185	183	225	267	2,393	
	体制 I	886	866	876	895	707	829	864	894	883	837	849	976	10,362	
処遇改善 I	80	79	81	78	79	78	75	80	80	80	80	81	951		
減算	通所介護	送迎	42	40	38	42	30	41	24	27	31	31	32	410	
給付外	食事	920	898	906	925	728	860	896	922	912	864	871	1,000	10,702	
	おやつ	881	875	888	899	703	858	891	907	896	850	858	980	10,486	
	日用品	43	19	22	16	12	14	18	17	16	14	14	18	223	
	区外送迎	人数	0	0	0	0	0	0						0	
	回数	0	0	0	0	0	0						0		

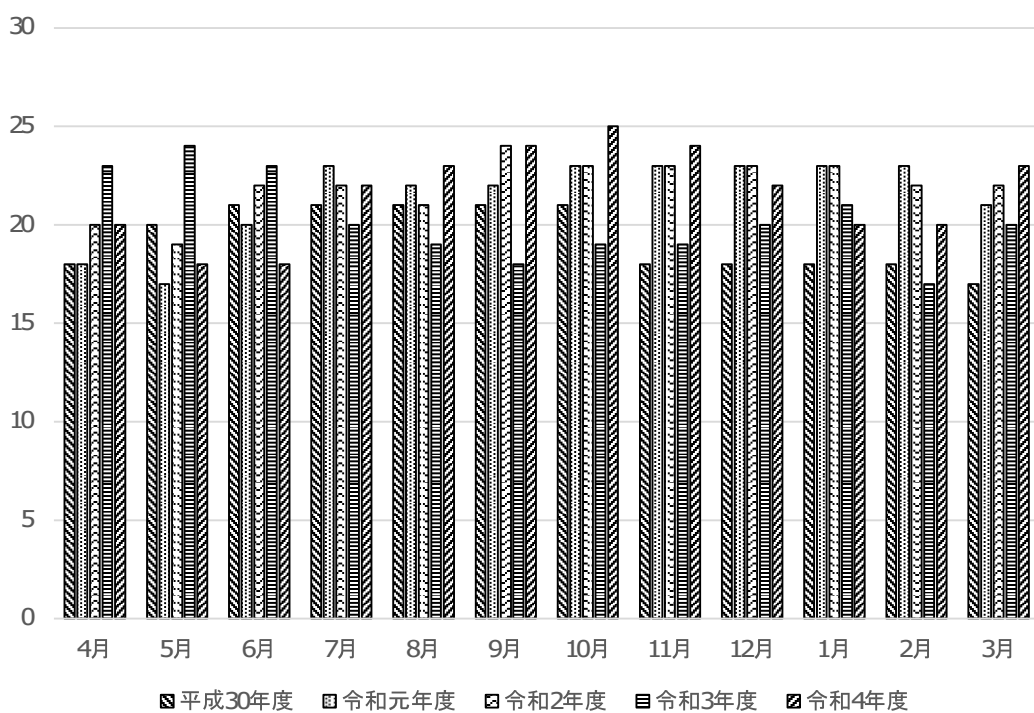
通所型サービスA

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		21	22	22	22	20	22	21	22	21	20	20	23	256
実利用者数		20	18	18	22	23	24	25	24	22	20	20	23	259
延利用者数		73	72	69	82	74	106	104	98	82	76	80	97	1,013
1日平均利用者数		3.4	3.2	3.1	3.7	3.7	4.8	4.9	4.4	3.9	3.8	4.0	4.2	3.9
定員達成率		23.2%	21.8%	20.9%	24.8%	24.7%	32.1%	33.0%	29.7%	26.0%	25.3%	26.7%	28.1%	26.4%
実利用者	事業対象者	10	9	9	10	10	10	9	10	5	5	6	7	100
	要支援1	8	7	7	9	11	12	13	11	14	13	12	12	129
	要支援2	2	2	2	3	2	2	3	3	3	2	2	4	30

【通所】 延べ利用者数



【サービスA】 実利用者数



## 浅羽ケアマネジメントセンター 令和4年度 事業実績報告

令和4年度も引き続きコロナ禍であったため、保険者である袋井市の指針を厳守し、感染症の予防に留意して事業展開をしてきました。

### 体制

令和4年度事業計画書で示した定員は、5名の介護支援専門員でしたが、4月に介護支援専門員1名入職し、令和4年5月末まで7名体制でした。

6月に介護支援専門員1名ひなたへの移動があり、6月から定員6名での稼働でした。

尚、特定事業所加算Ⅱの算定要件を厳守しており、引き続き算定しております。

### 業務

事業計画目標数 200件（6名体制での目標）

#### (1) 居宅介護支援実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実績件数	182	181	185	183	181	180	175	185	193	193	202	201	2240
R3年度	171	165	165	168	170	175	176	174	177	180	182	177	2084
R4年初回	7	7	11	8	5	8	6	14	11	10	14	9	110

上記の表の数は実際サービスを利用し国保連に請求した数です

昨年度比 156件増です。(介護支援専門員1名増)

実績件数以外に介護予防の委託がある。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実績件数	21	21	23	24	26	27	31	31	33	27	24	25	313
R3年度	21	21	23	24	26	27	31	31	33	27	24	25	313

昨年度比 増減なし

### 利用者受け入れ状況・傾向

利用者の受け入れ状況ですが、依頼はすべてお断りせずに引き受けています。

依頼はあっても支援に繋がらないケースとしましては、家族は利用したいが、本人の拒否があり利用に繋がらないケース、家族がサービスに踏み切れないケース、癌末期の方で契約だけで終了となるケース、住宅改修のみで終了となるケースです。依頼先は、浅羽地域包括支援センターを主としていますが、聖隷袋井市民病院、その他、直接、ご家族より電話での依頼もあります。電話での依頼は近いからの理

由もありますが、過去に近所の方、お身内の方の支援をしていたとの事で、お電話をいただくケースもあります。

急性期病院からの紹介は医療依存度が高く、在宅医・訪問看護等の医療関係機関と連携を図って支援しています。

回復期リハビリ病院からの紹介においては、住宅改修、福祉用具貸与の利用が必要な方が、多く、リハビリ専門職との連携を図り退院に向けての調整を行い在宅復帰に向けての支援を行っております。

この様に多職種との連携が必要なケースが多くなっている現状ではあります。

要介護3～5の方については、在宅生活の維持が難しいのが現状です。

施設入所にむけての相談も多くあります。

施設検討されている方は、特別養護老人ホーム、介護医療院、老人保健施設等です。

要介護1～2の方で認知症の進行で在宅生活が困難な場合はグループホームを検討されますが、グループホームの空きがなく、順番待ちというのが多くあります。

令和4年度は、特別養護老人ホームへ6名、老人保健施設が1名、介護医療院に9名その他入院等で終了になったケースが21名でした。

小規模多機能ひなたへの移行は1名でした。

死去され終了となった方は21名でした。

### **地域との連携・職員資質向上に向けての取り組み**

地域内にある事業所と連携を図り、利用者の支援につなげています。

地域にある社会資源を活かした居宅計画書を作成して生活を支援しています。

特に高齢者世帯の場合は支援ネットワーク・シニア支援センター等の利用をされている方が多いです。

尚、処遇困難なケースでは地域包括支援センターの主任ケアマネに相談し地域ケア会議の開催を行っております。

(認知高齢者の方、虐待ケース等、生活困窮等の相談)

職員資質向上にむけては、随時、必要な研修に参加する予定でしたが、コロナ禍であるため、ほとんどの研修が集合では実施されませんでした。オンラインでの研修に参加ができました。

研修に参加していない職員には、資料等回覧し全員周知できるようにしております。研修内容として、静岡県介護支援専門員会の研修、袋井市スーパービジョン、介護保険研究会研修等に参加しました。

年度当初、各自研修目標をたて、質の向上に努めてきましたが、研修の未実施もあったので、目標に対しては継続追及としました。

又、毎週金曜日にケース会議を開催し、処遇困難事例等を全員で協議して、適切な支援につなぐとともに、職員にもう一度自分の実践を振り返る場となるようにしています。

## その他

### (1) 令和4年度事業計画の重点目標の達成状況

視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）	
利用者様	<u>適切なマネジメントの実施</u> ・ 住み慣れた地域でその人らしい生活の継続を支援する ・ 医療機関や介護サービス事業者等の多職種連携を強化する ・ 職員間での情報共有により、事業所全体でその人の生活を支える	○ ○ ○	・ 適切なマネジメントが行われているか最低でも月1回ご自宅を訪問し、モニタリングを実施する ・ 24時間365日の連絡体制の継続 入退院時の情報提供をきちんと行う事で連携を図っていく ・ 週1回の定期カンファレンス実施
財務	<u>選ばれる事業所となる</u> ・ 法令遵守する ・ 公正中立なマネジメントを行い地域住民や関係機関からの信頼を得る ・ 特定事業所加算Ⅱの取得の継続	△ ○ ○	・ 給付管理件数目標：200 ・ 運営基準の厳守 ・ 新規の依頼については職員の状況を把握して事情がない限り受ける
業務	<u>利用者の生活をよく理解し個別の計画を共に考えて作り支援を必要とする人の存在を認め適切な対応ができる</u> ・ 利用者自身の理解を深める ・ 生活課題の問題解決のために地域への視点を持つ ・ 利用者だけでなくその周りに暮らす人々とのつながりを大事にする支援	○ △ ○ ○	・ 自立支援に資するケアプラン作成 ・ アセスメントを地域との接点で把握する ・ 地域に在る資源や機関と連携を図る ・ 健全なる給付の実施
人材	<u>専門的な倫理・知識・技術の獲得を目指す</u> ・ 職員各自、目標を設定した研修計画の作成及び実施 ・ ケアプラン点検を受けケアマネジメントの質の向上に努める ・ 自分の準拠枠を拡げ、俯瞰的な視点を養うように努める	○ △	・ 主任ケアマネは法定研修以外の研修に年4回以上参加する ・ 各自の目標にそった研修への参加 ・ 相談援助者として日常的にストレスを浴びるのでソーシャルサポートしていき離職者を減らす ・ 他法人との事例検討会に参加する ・ 地域包括支援センターが主催する事例検討会に参加する

### (2) 加算について

特定事業所加算Ⅱの要件を満たし毎月一人400単位加算があります。

入退院時の加算も必要な書類を作成し、加算を取得しています。



### (3) 研修計画目標達成について

各自目標をたて、目標に沿った研修に参加する予定でしたが、コロナ禍であるため、集合して行う研修が実施されなかったが、オンラインでの研修に参加ができています。目標達成とまではいかなかった事もあり今後も目標を継続しながら質の向上に努めて参ります。

### コロナ感染症

職員1名7月末罹患。他の職員への感染はありません。

また、発症した職員の利用者にも感染はありませんでした。

その他の感染はありませんでした。

## (1) 居宅介護支援実績

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護度1・2	135	137	138	134	129	128	126	129	135	134	136	136	1,597
要介護度3・4・5	47	44	47	49	52	52	49	56	58	59	65	65	643
実績件数	182	181	185	183	181	180	175	185	193	193	201	201	2,240
初回加算	7	7	11	8	5	8	6	14	11	10	14	9	110
医療連携加算(Ⅰ・Ⅱ)	3	4	7	4	6	3	5	5	8	3	6	4	58
退院加算	2	1	1	1		1	2		1	1	1	2	13
運営基準減算													0

## (2) 月別新規申し込みと契約終了者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規 新規相談者	4	8	14	10	4	8	15	5	13	11	12	7	111
新規 新規契約者	7	8	11	6	5	6	6	8	11	10	8	10	96
新規 新規委託(予防)			4	1	1				1	1		2	10
契約終了(入院入所※含小規模)		2	1	2	1	1	2	1	4	2	3	2	21
契約終了(死亡)	5	3	3		7	6	1	2	3	4	1	1	36
契約終了(委託)	1												1
契約終了(居宅事業所変更)	1						1						2
契約終了(要支援)					1							1	2
契約終了(自立)								1					1
契約終了 合計	7	5	4	2	9	7	4	4	7	6	4	4	63

## (3) 要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	90	89	89	88	83	83	82	82	87	89	90	90	1,042
要介護2	45	48	49	46	46	45	44	47	48	45	46	46	555
要介護3	28	25	26	28	30	33	28	30	30	30	33	33	354
要介護4	17	15	17	18	19	16	18	21	23	24	24	24	236
要介護5	2	4	4	3	3	3	3	5	5	5	8	8	53
合計	182	181	185	183	181	180	175	185	193	193	201	201	2,240
要介護3. 4. 5(再掲)	47	44	47	49	52	52	49	56	58	59	65	65	643
割合	25%	24%	25%	26%	28%	28%	28%	30%	30%	30%	32%	32%	28%

## (4) 要支援別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	8	8	9	10	11	11	14	14	15	11	10	10	131
要支援2	13	13	14	14	15	16	17	17	18	16	14	15	182
合計	21	21	23	24	26	27	31	31	33	27	24	25	313

## (5) サービス事業者別計画作成件数

## 1. 通所介護(複数事業所利用も含む)

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
浅羽デイサービスセンター	70	71	72	69	69	69	65	69	71	72	70	71	838	57.6%
温泉デイ和の湯	14	14	14	15	15	12	12	11	12	11	11	10	151	10.4%
い～な浅羽	13	13	14	14	12	12	11	12	10	12	12	12	147	10.1%
ユアサポートころふくろい	6	6	6	7	7	6	7	8	8	8	12	5	86	5.9%
ツクイ袋井	5	5	5	4	3	3	3	3	3	3	3	4	44	3.0%
デイサービスみどり	1	1	1	1	1		1	8	8	8	7	7	44	3.0%
デイサービスセンター陽だまりの里				1	2	2	1	3	3	3	3	4	22	1.5%
ラクラス福田	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	31	2.1%
ラクラス可睡の杜	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21	1.4%
レッツリハビリティ袋井	4	2	1	1	1	2	3	3	3	3	3	5	31	2.1%
ディアコニア	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1			14	1.0%
ケアステーション磐田・福田	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	19	1.3%
デイサービスセンターきらり	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	0.8%
すこやかデイサービス歩み	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	5	21	1.4%
いこいの里大原									1	1	1	1	4	0.3%
明和からすの森デイサービスセンター											2	2	4	0.3%
デイサービスまなまな												1	1	0.0%
事業所合計	122	121	122	122	119	116	114	127	129	131	133	134	1,455	

## 2. 地域密着型通所介護

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
はまかぜデイサービス	6	6	5	6	6	7	8	7	7	6	6	5	75	48.7%
サポートハウスころ	3	3	3	3	2	2	2	2	3	5	4	3	35	22.7%
あかり	4	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	1	14	9.1%
デイサービスグリーン	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	7.8%
事業所合計	14	14	13	13	12	13	13	12	13	14	13	10	154	

### 3. 訪問介護

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
セントケア袋井	6	3	5	4	4	4	3	3	4	5	6	6	53	20.2%
セントケア富士見	5	4	4	4	3	3	3	3	3	3	4	5	44	16.8%
袋井市社会福祉協議会	7	8	9	7	7	7	9	9	8	8	7	8	94	35.9%
アイケア袋井	3	3	3	3	2	2	1	1	3	2	1	2	26	9.9%
ヘルパーステーションゆあらいふ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	4.6%
訪問介護みどり	1	1						4	5	7	5	5	28	10.7%
紅紫萩ホームヘルプサービス						1	1	1	1				4	1.5%
アクア磐田訪問介護										1			1	0.4%
事業者合計	23	20	22	19	17	18	18	22	25	27	24	27	262	

### 4. 福祉用具貸与

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
ベルメディカル掛川		30	31	29	27	32	34	31	32	31	33	35	345	24.9%
ベルメディカルケア浜松	30												30	0.2%
エコワークス遠州	30	30	30	30	30	31	29	31	33	30	27	31	362	26.1%
介護ショップちゅ〜ぶ	22	21	21	20	23	21	20	22	23	25	27	26	271	19.6%
トーカイ浜松	14	15	16	16	14	16	16	19	20	20	19	19	204	14.7%
らいふくケア	7	7	8	7	8	7	7	7	8	8	8	8	90	6.5%
フランスベッド	6	6	6	5	4	4	4	4	4	5	5	4	57	4.1%
T-STYLE	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	14	1.0%
協和医科器械浜松	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	0.9%
オレンジ福祉サービス			1	2	2	3	2	10	10	10	10	10	60	4.3%
ダスキンヘルスレント静岡袋井			1	1	1	1	1						5	0.4%
株式会社オーバ			1	1									2	0.1%
事業者合計	111	111	117	114	112	117	115	126	132	131	131	135	1385	

# 令和4年度 浅羽地域包括支援センター 事業実績報告

## 1. 介護予防ケアマネジメント業務

区分	センター作成数					居宅事業所に委託					合計
	事業対象	支援1		支援2		事業対象	支援1		支援2		
		予防給付	総合事業	予防給付	総合事業		予防給付	総合事業	予防給付	総合事業	
4月	12	44	18	34	14	1	17	1	26	8	175
5月	11	42	17	39	13	1	17	1	24	8	173
6月	12	42	15	33	12	1	17	1	28	9	170
7月	13	47	16	31	13	1	19	1	25	9	175
8月	12	46	17	32	14	2	18	2	29	8	180
9月	12	47	19	32	17	2	18	2	30	8	187
10月	10	54	17	33	16	2	18	4	31	8	193
11月	11	51	15	36	16	2	17	5	32	6	191
12月	8	49	16	41	15	1	16	5	33	5	189
1月	9	47	16	41	14	1	17	4	31	5	185
2月	10	46	16	42	16	1	16	3	31	4	185
3月	12	45	15	41	16	1	15	3	32	3	183
		合計 1500					合計 686				2186

昨年度と比べるとやや増加傾向となりました。委託連携加算が取れるようになりましたが、受け入れは消極的です

### 委託事業先

浅羽ケアマネジメントセンター・ディアコニア支援センター・合同会社ケアハウスくるみ・ケアプラン優  
 紅紫菽居宅介護支援センター・トータルケアひかり居宅介護支援事業所・ケアプランセンター和の湯  
 みつはし居宅介護支援センター・むらまつ居宅介護支援事業所・ウエルビ居宅介護支援事業所  
 社会福祉協議会居宅介護支援事業所・おおふじ五幸ホーム・西之島の郷居宅事業所  
 ケアプランセンターマリン

14か所

## 2. 総合相談

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
制度説明	35	47	42	44	54	51	65	57	48	41	64	56	604
介護方法	7	22	17	17	13	13	25	25	11	18	9	8	185
権利擁護	39	124	13	23	46	47	45	54	33	17	5	15	461
高齢者虐待	4	0	0	4	14	10	7	23	4	7	0	3	76
サービス利用	234	349	215	329	400	349	352	409	243	243	276	265	3664
健康	233	287	211	302	386	346	340	301	212	221	258	229	3326
認知症	47	37	76	65	31	68	108	105	49	75	52	36	749
ケアマネ	6	8	25	25	18	8	29	30	49	35	21	31	285
生活	157	257	152	211	274	330	268	225	178	179	186	163	2580
経済的	27	123	20	77	64	47	28	91	58	29	13	21	598
家族間	22	43	38	81	79	87	105	83	35	47	66	37	723
在宅医療・介護連携	29	78	5	21	38	39	21	28	5	13	6	9	292
ひきこもり	1	0	0	0	24	38	27	9	3	3	3	0	108
8050	0	0	0	0	25	26	16	9	2	0	5	0	83
ダブルケア	0	0	0	0	0	2	0	6	1	8	3	4	24
ヤングケアラー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	21	12	4	9	1	2	5	4	0	4	3	1	66

相談内容としては、サービスの利用、健康、生活、制度説明、経済、認知症についての相談が多いです

## 3. 相談対応

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
情報提供	157	202	182	220	246	228	268	202	137	182	205	188	2417
他機関との調整	139	241	187	179	208	177	151	178	125	99	100	100	1884
申請代行	4	4	4	5	10	8	3	5	6	5	0	3	57
状況把握	306	375	326	364	415	403	376	363	250	270	275	275	3998
その他	7	0	1	3	0	0	2	2	2	0	0	0	17

相談対応としては、状況を把握して情報を提供し、他機関との調整を図っていきます

#### 4. 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	180	153	257	313	331	320	344	245	175	209	293	226	3026
来所	31	16	21	16	48	37	16	38	20	16	19	14	292
訪問	234	299	169	212	226	225	193	176	150	117	131	133	2265
その他	21	24	2	7	3	4	3	4	4	0	2	3	77

電話での相談が多いですが、必要に応じて状況確認のため訪問して相談対応をする場合もあります

#### 5. ケアマネ支援

ケアマネ支援 実人数	76
延べ件数	145
ケアマネ支援 実人数(困難ケース)	35
延べ件数	90

障害、健康、認知症、経済的な複数の問題を抱えた相談が多くなっています

#### 6. 困難ケース

新規	実人数	17	継続	実人数	137
	延べ件数	65		延べ件数	360

《把握経路》 民生委員、地域住民、行政、医療機関など  
 《内容》 経済問題、家庭問題、地域とのトラブル、ごみ問題、健康について等

## 7. 研修会・連絡会などの参加状況

月	日	内容	参加者	月	日	内容	参加者
4月	12	民生協議会	全員	10月	1	コーチング入門講座	岡本
	14	包括全体会	全員		2	地域の担い手づくり シンポジウム	内藤
	15	移動支援部会	内藤		7	居宅介護支援事業者集団指導	大庭・岡本
	19	南部2層協議体連絡会	内藤		11	しずおか地域共生フォーラム	内藤
	23	浅羽東福祉推進委員会	岡本		13	スキルアップ研修(虐待の基本的対応を学ぶ)	全員
5月	10	民生協議会	岡本		14	介護予防ケアマネジメント研修	竹原・大庭・前嶋・岡
	19	移動支援説明会	内藤・竹原・岡本		16	外出支援反省会	内藤
	20	介護保険研究会・講演会	大庭・岡本		18	自立支援型地域ケア会議	内藤・石原
	21	生活支援運営委員会	竹原		20	成年後見制度に関する研修	竹原・大庭
6月	3	笠原福祉推進会議	内藤		22	生活支援運営委員会	内藤
		徘徊の説明	内藤	25	令和4年度地域包括支援センター初任者研修	大庭・前嶋	
	7	成年後見制度市町町申立に係る実務研修	竹原		地域ケア座談会	大庭・前嶋・岡本	
	18	徘徊の説明(西地区)	前嶋	30	浅羽南福祉研修会	岡本	
		浅羽西徘徊の説明	前嶋	11月	8	民生協議会 こころのノート	大庭・岡本
		生活支援運営委員会	内藤		18	笠原地区福祉推進員会	岡本
	19	リーダー研修	大庭		19	精神保健福祉研修会	大庭・前嶋
	19	北地区福祉推進会議	岡本		21	グループスーパービジョン研修会	前嶋・石原・岡本
	22	総合相談研修会	岡本		22	適切なケアマネジメント手法	前嶋
	23	成年後見制度市町町申立に係る実務研修	竹原		25	2層協議体 定例会 浅羽北地区避難ロードマップの紹介	内藤・竹原
7月	4	ハラスメント研修	竹原	12月	9	災害リスクマネジメント研修 地震編	内藤
	8	2協議体定例会	内藤・竹原			地域リハビリテーション推進研修会	大庭・岡本
	15	グループスーパービジョン	大庭・岡本 前嶋・石原		12	ケアプラン地域ケア会議	岡本
	21	地域ケア座談会	大庭・前嶋・岡本		13	地域ケア座談会	大庭・岡本
	23	生活支援運営委員会	内藤		14	介護支援専門員における人材育成について	大庭
8月	24	リーダー研修	大庭		災害リスクマネジメント研修 津波・高潮編	内藤	
	25	第1回成年後見制度研修会	竹原	1月	12	相談支援事業所等連絡会	竹原・大庭・内藤
	21	リーダー研修	大庭		19	災害リスクマネジメント研修 感染症編	岡本
	23	在宅医療介護多職種連携研修会	大庭・前嶋・岡本			多職種連携会 さてつ	前嶋
	26	自立支援型地域ケア会議	大庭		20	成年後見制度に関する研修	竹原
						認知症地域支援体制推進全国合同セミナー	前嶋
						静岡県キャラバン・メイト養成研修	前嶋
					こころのノート	前嶋	
				SC情報交換会	内藤		
				感染症に係るBCPの考え方と現場からの実践報告	大庭		



9月	11	浅羽東福祉推進会議	大庭	2月	6	スキルアップ研修	全員	
	15	ケアプラン検討地域ケア会議	大庭		14	認知症バリアフリーサミット	前嶋	
	17	生活支援運営委員会	岡本		15	市民後見人候補者フォローアップ研修	竹原	
	20	介護予防・日常生活支援総合事業サービス提供事業者説明会	全員			地域包括支援センター等職員研修	大庭	
	21	グループスーパービジョン	大庭・岡本 前嶋・石原			16	多職種連携会 さてつ	前嶋
						20	介護予防ケアマネジメント現任研修	大庭
	22	認知症地域支援体制推進全国合同セミナー	前嶋	22	在宅医療勉強会	大庭		
	25	リーダー研修	大庭	3月	2	地域ケア座談会	大庭・前嶋	
					主治医意見書研修会	大庭・前嶋		
					3	地域ケア会議研修	大庭	
			16		転倒予防の心得	内藤		

R4年度コロナ職員感染者数 2名

# 令和4年度上半期認知症地域支援推進事業報告

## 1 上半期(4～9月)の成果・課題等を記入してください。

### ○認知症カフェの運営

・コロナウイルス感染の第7波では袋井市でも連日多くの感染者数が報告されていましたが、オレンジカフェ歩は感染防止に努めながら予定通り開催しました。オレンジカフェ歩の中止に対しては協カスタッフや参加者の意見をもとに決定していますが、「一步を中止にしたら参加者の居場所が無くなってしまふ。」という皆さんの思いからも通常開催を決定しました。

・オレンジカフェ歩は4/5～9/27までで計25回開催し、参加者は延べ175名、協カスタッフは延べ31名でした。

・参加者は若年性アルツハイマー型認知症や認知症の方が2名、家族の介護経験者、地域住民等様々な方が参加しています。

・若年性認知症の方は「カフェに来るのが楽しみ。カフェに通い続けるためにも普段から歩くようにしている。」と話して下さいました。最初は家族の勧めで参加していましたが、現在はオレンジカフェ歩が生活の一部となり、活動内でも笑顔や発言が多くなっており協カスタッフや参加者も大変喜んでます。

・令和4年3月に正式にチームオレンジとして活動する様になり、カフェのあり方についても参加者や協カスタッフで議論が活発になってきました。今までは会話を楽しむことが1番の目的でしたが、7月より月に1回活動日を決めて物作り等を行っています(7月:ロバ隊長の人形作り、8月:絵葉書、9月:帽子づくり)。活動費予算は月1,000円以内に設定し、各自が自宅にあるものを持ち寄っています。認知症により細かい作業が難しい時は協カスタッフが手伝うなどの工夫をしています。また、活動を参加したくない方には強制はしない様に注意しています。

・訪問時やでん伝体操等でオレンジカフェ歩を紹介すると、「参加したいが車が無いからいけない。送り迎えをしてほしい。」という意見が多く聞かれます。その他にも「参加しようと思いましたが駐車場が満車で参加せずに帰宅した。」という意見も聞かれました。駐車場に対しては包括職員や協カスタッフはルンビニ第二保育園の駐車場をお借りすることが出来ましたが、浅羽団地集会場の駐車場が最大でも3台しか停められず課題は残っています。オレンジカフェ歩は民家を会場にしているため参加人数にも限りがあり、今後は会場を増やすなど検討をしていく必要があります。

### ○認知症サポーター養成講座の研修

・開催回数は1回、参加者は16名でした。コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的な開催には至りませんでした。

・他市では認知症サポーターが積極的に活動していますが、受講後のフォローが出来ておらず認知症サポーターの力を活かしていないことが今後の課題となります。

### ○認知症の相談

・4月～12月にかけて245件の認知症の方やご家族、地域の方からの相談が入りました。民生委員からの情報提供があり一緒に訪問することで、介護保険申請やオレンジカフェ歩の参加に繋がるがありました。

2 課題に対する、活動計画を簡潔に記入してください。

○認知症カフェの運営

- ・コロナウイルス感染防止に努めながら週1回の開催を継続していきます。
- ・オレンジカフェ一歩以外にも認知症カフェを開催していくか、検討をしていきます。

○認知症サポーター養成講座の開催

- ・現在2件の依頼があるため、感染防止に努めながら講座を開催していきます。
- ・認知症サポーターのフォローや交流会などを行い、認知症サポーターが活動できるように促していきたいです。

○認知症の相談

- ・今後も認知症や物忘れ、はいかいSOSに関する相談や、認知症だけではなく複合的な課題を抱えている方からの相談も増加していくことが考えられます。介護保険の申請や関係機関に繋げるなど柔軟に対応できるように努めます。

○その他

- ・認知症サポーターキャラバンメイト交流会や多職種協働による研修会については、コロナウイルスの感染状況を確認しながら開催を検討します。

# 令和4年度下半期認知症地域支援推進事業報告

1 下半期(10～3月)の成果・課題等を記入してください。

## ○認知症カフェの運営

- ・コロナウイルス感染第8波では袋井市でも連日多くの感染者数が報告されていましたが、オレンジカフェ一歩は感染防止に努めながら予定通り開催しました。参加者や協力スタッフでコロナに感染した方はいませんでした。R3年度はカフェの休止や隔週開催などの対応を行いましたが、R4年度は毎週開催することが出来ました。
- ・オレンジカフェ一歩は10/4～3/28までで計25回開催し、参加者は延べ218名、協力スタッフは延べ68名でした。R4年度上半期よりも参加者は増加傾向となっています。
- ・参加者は認知症(若年性アルツハイマー型認知症、アルツハイマー型認知症等)の方が3名、現在介護中の方や介護経験者、地域住民等様々な方が参加しています。
- ・3/4(土)にSC主催で開催された認知症フォーラムにオレンジカフェ一歩代表者がパネリストとして参加しました。オレンジカフェ一歩の活動を地域住民に知って頂く事が出来、フォーラムに参加していた認知症当事者の方がオレンジカフェ一歩に参加して下さる様になりました。
- ・月1回の制作活動では10月ボランティア講師による折り紙工作、11月クリスマスツリー、12月羽子板、1月節分(鬼の仮面)、2月雛飾り、3月折り紙工作を行いました。1回の予算は1,000円以内に設定し、協力スタッフや市内のボランティア講師が活動を企画することもあります。制作活動は強制ではなく、ギターを弾いたり会話を楽しむ等自分の好きな事をして過ごす方もいます。認知症により細かな作業が難し方は協力スタッフが隣で一緒に作業を行うよう配慮しています。
- ・コロナの感染状況が落ち着いている時は市内のボランティア(演奏、マジックショー等)が参加して下さり、参加者からも喜ぶ声が聞かれています。3月には活動終了後にお花見をする等、参加者や協力スタッフが主体となって活動を行うことが出来ています。
- ・市からの依頼で年に2回程、東海アクシス看護専門学校の学生がオレンジカフェ一歩に参加しています。学生自ら参加者に色々質問をしており、認知症の方が暮らしやすい地域づくりについて参加者を通して学ぶことが出来ていました。
- ・圏域内で認知症カフェは1カ所のみであり、交通手段がない方は参加することが難しいという声が良く聞かれています。住民の方が参加しやすいカフェを目指して活動を行っていきます。

## ○認知症サポーター養成講座の研修

- ・開催回数は1回、参加者は30名でした。コロナウイルス感染拡大防止の為、積極的な開催には至りませんでした。
- ・包括職員1名がR5.1に静岡県キャラバンメイト養成研修に参加しました。研修で学んだ知識をもとに、認知症サポーター養成講座を積極的に開催していきたいと思います。
- ・他市では認知症サポーターが積極的に活動していますが、受講後のフォローが出来ておらず認知症サポーターの力を活かしていないことが今後の課題となります。今後は認知症サポーター養成講座終了後にアンケートを配布するなどして住民のニーズの把握や、活動に繋げていきたいと思います。

## ○認知症の相談

- ・10月～3月にかけて409件の認知症の方やご家族、地域住民からの相談が入りました。認知症が疑われても独居で周囲の介入を拒否しているケースや、本人は介護保険を申請したいと希望していても家族の拒否が強いなどすぐに解決できない複雑なケースが多くなってきています。市や民生委員等との情報共有を密にして、慎重に介入していく必要があります。

2 課題に対する、活動計画を簡潔に記入してください。

○認知症カフェの運営

- ・コロナウイルス感染防止に努めながら週1回の開催を継続していきます。
- ・オレンジカフェ一歩以外にも認知症カフェを開催していくか、検討をしていきます。

○認知症サポーター養成講座の開催

- ・企業などに認知症サポーター養成講座のチラシを配布して、企業との関係性構築を目指していきます。
- ・認知症サポーターのフォローや交流会などを行い、認知症サポーターが活動できるように促していきたいです。

○認知症の相談

- ・今後も認知症や物忘れ、はいかいSOSに関する相談や、認知症だけではなく複合的な課題を抱えている方からの相談も増加していくことが考えられます。介護保険の申請や関係機関に繋げるなど柔軟に対応できるように努めます。

○その他

- ・認知症サポーターキャラバンメイト交流会や多職種協働による研修会については、コロナウイルスの感染状況を確認しながら開催を検討します。

4.認知症地域支援推進事業（項目は運営指針に基づく）

	ア 支援ネットワークの構築					イ 相談支援・支援体制構築			ウ 企画及び調整			オ その他
	ア 普及	イ 認知症施策推進会議	ウ 連携シート	エ はいかい・みまもりNW	オ 認サポ	ア 相談支援	イ チームとの調整	ウ チームオレンジ	ア 処遇困難事例検討等	イ 認知症カフェ	ウ 多職種協働研修会	
4月	0	0	0	0	0	35	1	4	0	4	0	0
5月	0	1	0	0	0	24	0	4	0	4	0	0
6月	0	2	0	11	0	63	2	4	0	6	0	0
7月	1	3	0	3	0	40	0	4	0	8	0	0
8月	4	2	0	2	1	25	0	6	0	9	0	2
9月	2	1	0	5	2	58	0	4	0	6	0	1
10月	0	1	0	10	1	93	0	9	0	8	0	2
11月	0	2	0	2	1	104	0	6	0	6	0	0
12月	1	2	0	1	1	49	0	5	0	6	0	0
1月	0	1	0	0	1	78	0	4	0	6	0	4
2月	0	1	0	0	0	50	0	6	0	5	0	2
3月	1	2	0	2	0	35	0	4	0	6	0	1
合計	9	18	0	36	7	654	3	60	0	74	0	12

令和4年度 オレンジカフェー歩 開催実績

単位：人

開催日	参加者	協力 スタッフ	包括 職員	合計	
R4.4.5 火	9	3	1	13	
R4.4.12 火	8	3	1	12	
R4.4.19 火	9	3	1	13	
R4.4.26 火	7	3	2	12	
<b>4月</b>	<b>33</b>	<b>12</b>	<b>5</b>	<b>50</b>	
R4.5.3 火	スタッフさん都合でお休み				
R4.5.10 火	8	3	2	13	
R4.5.17 火	7	3	1	11	
R4.5.24 火	5	3	1	9	雨が続き参加者のびず
R4.5.31 火	4	2	2	8	
<b>5月</b>	<b>24</b>	<b>11</b>	<b>6</b>	<b>41</b>	
R4.6.7 火	8	3	1	12	
R4.6.14 火	6	2	1	9	
R4.6.21 火	9	3	1	13	
R4.6.24 火	5	3	2	10	
<b>6月</b>	<b>28</b>	<b>11</b>	<b>5</b>	<b>44</b>	
R4.7.5 火	7	3	2	12	
R4.7.12 火	4	3	1	8	
R4.7.19 火	13	3	1	17	包括ケア1名、アクシス学生3名
R4.7.26 火	5	3	1	9	
<b>7月</b>	<b>29</b>	<b>12</b>	<b>5</b>	<b>46</b>	
R4.8.2 火	5	2	1	8	
R4.8.9 火	6	3	1	10	
R4.8.16 火	3	2	1	6	
R4.8.23 火	8	3	2	13	
R4.8.30 火	4	3	1	8	
<b>8月</b>	<b>26</b>	<b>13</b>	<b>6</b>	<b>45</b>	
R4.9.6 火	9	3	1	13	
R4.9.13 火	5	3	1	9	
R4.9.20 火	8	3	1	12	
R4.9.27 火	13	3	1	17	
<b>9月</b>	<b>35</b>	<b>12</b>	<b>4</b>	<b>51</b>	ナツメロバンド 6名
<b>下半期</b>	<b>175</b>	<b>71</b>	<b>31</b>	<b>277</b>	

単位：人

開催日	参加者	協力 スタッフ	包括 職員	合計	
10/4(火)	7	3	1	11	
10/11(火)	6	3	1	10	
10/18(火)	9	3	1	13	
10/25(火)	15	3	1	19	
<b>10月</b>	<b>37</b>	<b>12</b>	<b>4</b>	<b>53</b>	
11/1(火)	6	2	1	9	
11/8(火)	10	3	1	14	
11/15(火)	7	3	1	11	
11/22(火)	9	3	1	13	
11/29(火)	8	3	1	12	
<b>11月</b>	<b>40</b>	<b>14</b>	<b>5</b>	<b>59</b>	
12/6(火)	12	3	1	16	マジックショー、ルンビニ交流
12/13(火)	9	3	1	13	
12/20(火)	10	2	1	13	
12/27(火)	8	3	1	12	
<b>12月</b>	<b>39</b>	<b>11</b>	<b>4</b>	<b>54</b>	
1/3(火)	正月休み				
1/10(火)	6	3	1	10	
1/17(火)	8	3	1	12	
1/24(火)	6	3	1	10	
1/31(火)	6	2	1	9	
<b>1月</b>	<b>26</b>	<b>11</b>	<b>4</b>	<b>41</b>	
2/7(火)	7	2	1	10	
2/14(火)	12	3	1	16	アクシス学生2名参加、ウクレレ演奏
2/21(火)	10	3	1	14	
2/28(火)	10	3	1	14	
<b>2月</b>	<b>39</b>	<b>11</b>	<b>4</b>	<b>54</b>	
3/7(火)	8	2	1	11	
3/14(火)	9	3	1	13	
3/21(火)	12	2	1	15	
3/28(火)	8	2	1	11	
<b>3月</b>	<b>37</b>	<b>9</b>	<b>4</b>	<b>50</b>	
<b>下半期</b>	<b>218</b>	<b>68</b>	<b>25</b>	<b>311</b>	
<b>年間合計</b>	<b>393</b>	<b>139</b>	<b>56</b>	<b>588</b>	

# 生活支援体制整備事業報告

## 1 地域における体制整備に向けての、上半期（4～9月）の成果・課題

(成果)

- ・でん伝体操の継続支援。現在、32会場で実施。8月はコロナウイルス感染拡大の影響により中止した会場もあるが、ほとんどの会場が再開されている。また、今年度の4月から、三沢公会堂で新たにでん伝体操が立ち上がり、体力測定やリハ職派遣事業の紹介、DVDやリモコンの操作方法等支援をした。各会場から「参加者の高齢化により来れなくなる人が増え、新しい人が入って来ない」と相談があり、包括便り「波音」に浅羽・笠原地区のでん伝開催状況を掲載し広報した。
- ・5月19日より浅羽西地区で新たな居場所「coffee館ちようえい舎」が立ち上がった。立ち上げ支援として、長溝地区の住民へ、波音を回覧板で回し広報した。また、公会堂に貼るポスター作りを行った。毎月第3木曜日13:30～16:00までの活動となる。男性だけで立ち上げた居場所となり、サポーターも全員男性である。8月、9月はコロナウイルス感染拡大の影響により活動を中止していたが、10月より再開した。
- ・各圏域の第2層生活支援コーディネーターで行う広報、「街かどいきいき通信」の取材・作成を行った。8月は浅羽・笠原地区担当となり山の手のでん伝体操を掲載した。
- ・浅羽自治会(隔月奇数月)、浅羽南自治会(隔月偶数月)、諸井自治会(半年に1回)の見守りネットワークの会議に参加し、見守りが必要な人の情報交換を行った。
- ・生活支援ネットワークの会議(毎月)に参加し、状況把握に努めている。
- ・生活支援ネットワーク移動支援の実証実験が7月～9月まで、浅羽西・浅羽北・笠原地区の3地区で実施した。実証実験前に掲げた目標人数の半数の利用となったが、利用者からは喜びの声が聴かれている。地域住民からは移送に対するニーズは以前からあり、今後も利用者は増えていくと思われる。今後は実証実験から課題を洗い出し、本運行に向けて取り組んでいく予定となる。
- ・浅羽・笠原地区2層協議体定例会にて、「災害弱者の防災の在り方」について取り組むこととなった。防災と福祉を一体で考え、2層協議体としてなにができるか考えていく。

## 2 課題に対する下半期（10～3月）の活動計画

- ・第2回2層協議体定例会を開催予定。2回目は11/25、3回目は令和5年2月頃。
- ・子供と高齢者が交流できるような居場所づくりを目指す。
- ・男性の担い手育成に努める。
- ・生活支援ネットワーク外出支援において、本運行に向け、継続的に会議に参加する。
- ・各地区の困りごとや問題点等、早期発見できるよう状況把握に努める。



# 生活支援体制整備事業報告

## 1 地域における体制整備に向けての、下半期（10～3月）の成果・課題

### (成果)

- ・でん伝体操各会場の継続支援を行った。包括便り「波音」の配布等、2月に1回各会場を訪問し、状況把握に努めている。また、会場からは、「でん伝体操がマンネリしている」との声も聞かれたため、リハビリテーション専門職による出張指導、健康運動指導士による出張指導の事業の紹介を行い、リハビリテーション専門職：12会場、健康運動指導士：27会場が実施した。
- ・笠原地区で活動している居場所「茶ちゃ処」をふじのくに地域共生大賞に応募し、優秀賞を受賞した。
- ・各圏域の第2層生活支援コーディネーターで行う広報、「街かどいきいき通信」の取材・作成を行った。12月は湊西のでん伝体操を掲載した。
- ・浅羽自治会(隔月奇数月)、浅羽南自治会(隔月偶数月)、諸井自治会(半年に1回)の見守りネットワークの会議に参加し、見守りが必要な人の情報交換を行った。
- ・生活支援ネットワークの会議(毎月)に参加し、状況把握に努めている。本運行は来年度になる予定となる。本運行に向け、課題を整理していく。
- ・浅羽・笠原地区2層協議体定例会にて、「要援護者の防災の在り方」について取り組んだ。防災と福祉を一体で考え、2層協議体としてなができるか考え、全自治会へ防災の重要性の理解を深められるよう取り組んでいく。
- ・2層協議体・市・社協・さわやかアリーナ・地域で活動している代表者・地域住民と協力し、「認知症」をテーマに生活支援推進フォーラムを実施した。40名程の方が見に来られ、地域で行われている活動を知っていただく機会となり、認知症カフェ「オレンジカフェ一歩」に新たな参加者が来られるようになった。また、地域で活動を考えている方が参考に来られた。

### (課題)

- ・担い手育成について不十分。
- ・でん伝参加者の減少が進んでいる。また、でん伝体操へのマンネリ化がすすんでいる。
- ・男性が参加しやすい居場所づくり。

## 2 課題に対する令和5年度上半期（4～9月）の活動計画

- ・2層協議体定例会を開催予定。「要援護者の防災の在り方」について引き続き取り組んでいく。住民へ防災への必要性を周知していく。
- ・男性の担い手育成や地域交流の場への参加促進に努める。
- ・生活支援ネットワーク外出支援において、本運行に向け、継続的に会議に参加する。
- ・各地区の困りごとや問題点等、早期発見できるよう状況把握に努める。

## 令和4年度でん伝体操実績(延べ)

開催場所	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
浅羽北 コミュニティセンター	回数	4	6	6	5	9	7	6	9	7	7	7	8	81
	人員	30	36	45	35	63	50	43	67	52	59	51	71	602
浅羽西 コミュニティセンター	回数	4	3	5	4	4	4	4	4	4	3	4	5	48
	人員	24	20	33	24	33	26	24	22	27	21	26	28	308
浅羽東 コミュニティセンター	回数	4	3	5	3	0	5	4	2	4	4	3	5	42
	人員	101	74	112	69	0	95	82	43	73	48	46	94	837
幸浦 コミュニティセンター	回数	4	3	5	4	2	5	4	3	4	4	2	5	45
	人員	46	34	50	37	15	48	47	42	38	42	27	64	490
笠原 コミュニティセンター	回数	4	3	3	4	2	4	4	2	4	4	3	5	42
	人員	19	12	12	17	9	22	18	9	21	19	18	28	204
諸井公会堂	回数	3	3	5	4	2	5	3	4	4	3	4	5	45
	人員	33	40	66	47	16	32	27	55	44	28	42	47	477
山の手公会堂	回数	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	49
	人員	31	35	32	33	31	42	33	33	29	29	34	29	391
浅羽防災センター	回数	4	5	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	48
	人員	96	135	83	85	100	100	101	99	73	87	78	85	1122
馬場集会場	回数	8	9	9	8	7	9	7	7	4	4	4	4	80
	人員	62	72	76	60	37	58	50	38	27	26	28	26	560
浅羽南集会場	回数	4	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4	5	52
	人員	50	47	59	46	50	40	40	45	38	32	41	41	529
弥太井集会場	回数	4	4	5	4	0	3	3	4	4	3	4	5	43
	人員	23	22	30	22	0	12	13	25	33	15	16	29	240
浅名研修センター	回数	9	7	8	9	8	9	8	8	8	8	8	9	99
	人員	166	103	119	166	104	140	107	106	124	153	152	162	1602
豊住公会堂	回数	4	4	4	5	3	3	2	4	4	3	4	4	44
	人員	60	58	62	68	39	44	28	57	62	41	64	59	642
長溝公会堂	回数	4	5	4	4	2	0	5	4	4	4	4	4	44
	人員	95	119	98	92	43	0	121	70	105	108	105	96	1052
中公民館	回数	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	5	52
	人員	49	37	39	46	30	45	41	39	30	27	35	42	460
富里中公民館	回数	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	5	50
	人員	35	35	37	54	34	42	36	38	35	35	39	58	478
下富公会堂	回数	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	5	51
	人員	46	45	56	47	50	51	49	50	50	50	46	56	596
新堀公会堂	回数	4	3	5	4	3	5	4	3	4	4	3	5	47
	人員	50	41	70	50	37	58	47	35	49	44	36	65	582
梅山公会堂	回数	0	0	4	2	0	0	2	0	0	3	4	4	19
	人員	0	0	48	25	0	0	28	0	0	39	67	61	268
松原研修センター	回数	5	4	4	5	3	4	4	4	4	4	0	4	45
	人員	41	34	36	42	19	29	26	33	29	24	0	23	336

初越公会堂	回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	人員	22	24	22	18	20	21	22	22	21	19	17	23	251
東同笠公会堂	回数	0	3	5	2	0	0	0	4	4	4	4	5	31
	人員	0	37	47	17	0	0	0	44	42	37	45	58	327
湊西公会堂	回数	2	4	5	3	0	2	3	3	3	3	3	3	34
	人員	10	16	25	11	0	8	10	30	29	31	31	28	229
大野研修センター	回数	4	5	3	4	4	4	4	5	4	4	4	3	48
	人員	39	49	29	39	35	37	35	47	36	36	43	30	455
五十岡公会堂	回数	2	2	2	2	1	2	1	2	2	1	2	2	21
	人員	19	12	18	13	6	17	4	17	14	10	14	16	160
西区公会堂	回数	4	4	5	4	3	5	4	4	4	3	4	5	49
	人員	56	62	73	57	29	63	53	43	46	37	48	43	610
上区公会堂	回数	0	0	5	3	0	0	0	0	0	3	4	5	20
	人員	0	0	54	33	0	0	0	0	0	36	65	78	266
三沢公会堂	回数	4	5	4	3	0	4	5	4	4	4	4	4	45
	人員	37	51	37	26	0	32	38	37	32	34	36	43	403
下区公会堂	回数	3	2	4	2	1	2	3	2	2	2	2	4	29
	人員	21	13	28	15	5	13	22	13	15	13	14	28	200
笠原老人福祉 センター	回数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	人員	34	35	25	28	30	32	36	30	29	31	31	28	369
三輪公会堂	回数	4	4	5	4	5	4	4	5	3	3	4	5	50
	人員	48	52	47	52	59	43	43	65	40	41	49	60	599
合計	回数	114	116	141	123	89	118	113	117	113	114	114	141	1413
	人員	1,343	1,350	1,568	1,374	894	1,200	1,224	1,254	1,243	1,252	1,344	1,599	15,645

# ひなた

## 令和4年度 事業報告

ひなた 令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 報告

### 1 事業所

事業所名 ひなた  
 サービス種類 小規模多機能型居宅介護  
 ( 袋井市指定 第2297300036号 )  
 事業所住所 袋井市浅羽84-7  
 利用登録定員 29名 ( 通い18名/日 宿泊 9名/日 )  
 介護理念 「ともに笑って ともに歩んで」

### 2 利用者の状況

#### (1) 登録利用者

年・月	利用登録人員		支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	平均介護度	延登録実員
令和4年4月末	+2	24	男 6	0	0	2	2	1	0	2.19	219
	-2		女 18	2	1	8	2	1	3		
5月末	+2	25	男 6			2	2	1		1.98	221
	0		女 19	2	1	9	2	1	3		
6月末	+1	25	男 7	0	0	3	2	1	1	1.79	222
	-1		女 18	2	2	8	2	1	2		
7月末	+1	25	男 6	0	0	3	2	1	0	1.91	223
	-1		女 19	2	2	7	2	1	4		
8月末	+3	28	男 9	0	0	5	3	1	0	1.88	226
	0		女 19	2	2	6	3	1	4		
9月末	-4	24	男 5	0	0	2	2	0	0	1.91	226
	0		女 19	2	2	7	3	1	4		
10月末	0	24	男 5	0	0	1	4	0	0	2.03	226
	0		女 19	2	2	5	4	1	4		
11月末	+2	26	男 7	0	0	2	5	0	0	2.03	228
	0		女 19	2	2	4	5	1	4		
12月末	0	26	男 7	0	0	2	5	0	0	2.03	228
	0		女 19	2	2	4	5	1	4		
令和5年1月末	-1	25	男 6	0	0	1	5	0	0	2.19	228
	0		女 19	2	1	4	5	1	5		
2月末	-1	23	男 5	0	0	1	4	0	0	2.21	228
	-1		女 18	2	1	4	4	1	5		
3月末	0	23	男	0	0	1	4	0	0	2.21	228
	0		女	2	1	4	4	1	5		

#### (2) 利用者平均年齢

R5.3.31

男	75歳～89歳	83.8	85.2
女	78歳～103歳	85.6	

## (3)利用者の住所地

R5.3.31

諸井	浅羽	浅名	豊住	浅羽一色	富里	浅岡	中	西ヶ崎
2/19	3/19	1/10	3/6	1/2	0/6	1/8	0/3	0/2
長溝	梅山	松原	太郎助	東同笠	大野	湊	岡崎	山崎
0/2	1/18	0/12	0/2	2/7	0/7	3/15	0/8	1/13
新屋	川井	高尾	横井	田町	下山梨	神長	広岡	栄町
0/1	0/1	1/3	0/1	0/1	0/1	0/2	0/1	0/1
清水町	久能	小川町	睦町	松袋井	青木町	新池	国本	袋井
0/1	0/1	0/1	0/2	0/1	1/1	0/2	0/2	0/1
豊沢	木原	砂本町	泉町	鷺巣	方丈	中新田	西同笠	初越
0/2	0/2	0/2	0/1	0/1	2/3	0/1	0/3	1/1

## (4)利用者の利用開始時世帯状況

R5.3.31

	一人暮らし	老老世帯	同居				
			子	子の子	兄弟姉妹	他親戚	他人等
全利用者	59	32	129	1	3	2	0
現利用者	4	5	13	0	1	0	0

## (5)利用解除の直接理由

R5.3.31

	病院入院	療養型入院	特養入所	老健入所	GH入所	その他の施設入所	他在宅サービス	サービス利用なし
本年度	3	0	3	0	3	0	0	0
全 計	97	3	47	9	39	4	11	8

	死亡	転居
本年度	0	0
全 計	14	1

### 3 サービスの提供状況

年・月	対象 日数	サービス回数		1日平均数		利用者1人あたりのサービス提供数		
		通泊	訪問	日中人数	夜間人数	月	日	週
令和4年 4月 30	689	通泊	266	331	11.03	25.84	0.94	6.58
		泊	65					
		訪問	234	7.8				
5月 31	768	通泊	396	497	16.03	36.52	1.19	8.33
		泊	101					
		訪問	304	9.80				
6月 30	713	通泊	424	585	19.5	39.36	1.38	9.66
		泊	161					
		訪問	238	7.93				
7月 31	748	通泊	363	489	15.8	36.6	1.22	8.56
		泊	126					
		訪問	300	4.06				
8月 31	842	通泊	450	621	20.0	40.5	1.35	9.43
		泊	171					
		訪問	342	5.52				
9月 30	725	通泊	425	554	18.5	40.25	1.33	9.33
		泊	129					
		訪問	283	4.30				
10月 31	744	通泊	449	612	19.7	41.58	1.34	9.39
		泊	163					
		訪問	223	5.26				
11月 30	754	通泊	436	617	20.6	41.81	1.44	10.09
		泊	181					
		訪問	289	6.03				
12月 31	806	通泊	466	641	20.7	43.81	1.41	9.89
		泊	175					
		訪問	323	5.65				
令和5年 1月 31	775	通泊	465	621	20.0	44.68	1.44	10.09
		泊	156					
		訪問	340	5.03				
2月 28	689	通泊	436	589	21.0	41.40	1.50	10.52
		泊	153					
		訪問	293	5.46				
3月 31	713	通泊	473	634	20.5	49.48	1.60	11.17
		泊	161					
		訪問	343	5.19				

#### 4 職員の配置状況

職種	基準等	専従	兼務
管理者	・常勤専従、支障なければ兼務可 ・経験、研修修了		(常勤) 1
計画担当	・専従、支障なければ兼務可 ・研修修了	(常勤) 1	(常勤)
介護従事者	・常勤換算法で通いの利用者3人に対し 1人以上、訪問要員常勤換算法で2人 以上 ・夜間2人以上、うち1人は宿直勤務可 ・1人以上は常勤 ・1人以上が看護、准看護師	(常勤) 5 (非常勤) 8	(常勤) (非常勤)

\*介護福祉士の数 9名 (別紙:介護福祉士の割合50%以上)

本年度の異動					
採用・法人内異動			退職・法人内異動		
森本	4/12～	派遣雇用	森本	5月20日	派遣終了
柞木	6/1～	法人内移動	靱山	8月12日	退職
靱山	7/8～	常勤新規採用	松本	9月10日	退職
田代	10/17～	法人内移動			

#### 5 サービスの内容(利用者の介護)

通い	利用者の身体介護(入浴、食事、おやつ、排泄、口腔清拭、静養、整容など) 余暇指導(散歩、ドライブ、ゲーム、体操、歌唱、手芸、ドリルなど) 受診介助 バイタル測定 希望時間での送迎 季節行事 個別リハビリ 行動見守り
訪問	利用者宅での室内・トイレ清掃、服薬等の確認、食事づくり、買い物、バイタル測定 受診の介助 通い準備 排泄等の介助 洗濯物整理等 着替え・整容介助 薬のセット 自宅周辺の散歩
泊まり	夜間の身体介護 行動の見守り

## 6 行事および地域との関係

### (1) 行事および地域交流

月	日	ひなた行事	日	地域との交流・ふれあい
4	初旬	桜お花見(送迎時車内より)		宝寿 運営推進会議 中止
	21	ここみ理容		
	22	〃		
	中旬	園外散歩		
5	4	里山ドライブ(こいのぼり)		第66回運営推進会議 開催
	5	里山ドライブ(こいのぼり)		
6	14	ここみ理容		宝寿 運営推進会議 中止 3 民生委員見学会・事業説明
	22	〃		
	6	誕生会		
7	7	七夕飾り		第67回運営推進会議 開催 宝寿 運営推進会議 中止
	18	ここみ理容		
8	8	誕生会		
9	14	ここみ理容		第68回運営推進会議 中止  秋祭りについて地域の方との 連絡調整
	15	ここみ理容		
	8	誕生会		
	中旬	園外散歩		
10	18	ここみ理容		宝寿 運営推進会議 中止  8 秋祭りにて屋台見学
	中旬	コスモス畑外出(村松)		
11	8	防災訓練 実施		19 第69回運営推進会議 開催  13 ふれあい夢市場参加
	9	芋ほり 実施		
	10	〃		
		油山寺紅葉ドライブ 予定		
		〃 お楽しみおやつ(蒸し芋) 予定		
12		ここみ理容		
		〃		
	24	クリスマス会 実施  幸先詣でドライブ 実施		
1	初旬	初詣ドライブ 実施 元旦料理提供 ここみ理容 鏡開き・・ぜんざい提供		第70回運営推進会議 開催中止
2	3	節分 豆まきレク ここみ理容	中旬	
3	3	ひな祭り ちらし寿司 ひな人形展示 お花見(菜の花・河津桜) 浅羽西コミセン:ひな人形見学 お花見(桜):原野谷川堤防予定		第71回運営推進会議 開催



- (2) ボランティア、面会等の受け入れ交流 コロナ禍において慰問、ボランティア受け入れ自肅利用者ご家族の面会、利用者知人の面会、慰問活動の受け入れ(ご家族、慰問団体、個人) 袋井市介護支援ボランティア、芝刈りボランティア、花苗植え替えボランティア

(3) 運営推進会議の開催

回	通算	開催日	参加人数	内容
1	66	令和4年5月21日	10	ひなたの状況報告・意見交換
2	67	令和4年7月16日	10	ひなたの状況報告・意見交換
3	68	令和4年9月24日	中止	報告書の配布
4	69	令和4年11月19日		ひなたの状況報告・意見交換
5	70	令和5年1月21日	中止	
6	71	令和5年3月18日		ひなたの状況報告・意見交換

## 7 防災

月1度の防災点検、防災意識を高めるための防災訓練は年2回実施。

訓練のほかに設備・備品を整える必要が大きい。

\* 防災設備点検: 業者による防災設備の点検

\* 防災点検: 事業所での自主点検(月1回)

\* 防災訓練: 事業所での防災訓練・避難訓練(年2回)                      9/19台風対応                      11/8総合訓練

## 8 事例・事故報告・苦情対応

事例報告書 77件:

転倒 9 転落 3 不履行 4 内服不十分 9 私物・持ち物 3 ずり落ち 3 業務不注意 5  
業務確認・点検不足 6 運転事故 2 介護中外傷発生 6 外傷発見 1 個人情報 2  
利用者の認知症行動 2 エスケープ 0 利用者間トラブル 1 破損・故障 5 備品紛失  
打撲 1 食形態間違い 1 送迎忘れ・間違い 1 個人備品紛失・破損 2

苦情対応                      0件:                      事故報告                      1件:

ヒヤリ・ハット              79件:                      ニコリ・ホット              11件:

## 9 身体拘束廃止

静岡県に「身体拘束ゼロ宣言」を届け出ている(平成24年6月)、その後「再宣言」の指導があり、平成28年8月に再宣言している。本年再宣言をした。

現状 ミトン手袋使用者1名有り 記録を取りながら改善に向けた方法を検討している

## 10 事業所内の清潔保持

毎日の清掃、消毒を心掛けて事業所内、対象物の取り扱いに清潔保持に努めている。

利用者において感染症の発生はなかった。

職員の検便(4回/年)、浴槽水の水質検査を(1回/年)を行なっている。

## 11 自己評価・外部評価

事業所の自己評価に全職員で取り組み、運営推進会議で報告・意見をいただき公表に結びつける。

利用者のご家族から「利用後のアンケート」に答えてもらっている。

## 12 事業所整備

エアコン点検修理              浄化槽清掃                      ノートパソコン入れ替え

エアーマット購入              避難用スロープ購入              歩行器購入・・・2台

発電機定期点検              床洗浄ワックス(ダスキン)

## 13 内部研修・研修の機会

内部研修:

6/25 身体拘束について              10/1 虐待防止について              12/21薬の知識・救急講座

1/28 認知症の方に寄り添うケア

6/1～11/30サクラボeラーニング

外部研修:

8/25 ACPの現場での対応 10/15 養護者による高齢者虐待防止・高齢者虐待対応研修

10/21 薬の基礎知識 10/29 利用者に心地よく介護者に心地良い介護技術講座

12/6 認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー 2/16利用者家族とのより良い関係作り講座

2/20 社会福祉施設・事業所のBCP

#### 14 介護保険・報酬 (保険給付外のサービスについての単価は変動なし)

令和3年4月の改定に伴った算定を行なっている。

令和4年10月より 介護職員ベースアップ加算が追加となった

- ・サービス提供体制加算 I イ
- ・総合ケアマネジメント加算
- ・訪問体制強化加算
- ・認知症加算、初期加算
- ・処遇改善加算 I (所定単位に10.12%を乗じた単位数)
- ・特別処遇改善加算(所定単位に1.5%を乗じた単位数)
- ・地区別単価(1単位10.17円) を算定している。
- ・介護職員ベースアップ加算(所定単位に1.7%を乗じた単位数)

#### 15 新型コロナウイルス感染者状況

期間: 令和4年4月1日～令和5年3月31日

職員 2名 感染(感染経路:ご利用者様)

ご利用者様 6名 感染(感染経路:家族)

ひなた 令和4年度介護保険利用料等集計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
介護 保険 給付 (単位)	要支①	6,876	6,876	6,876	6,876	6,876	6,876	6,876	6,876	6,876	6,878	6,878	6,878		
	②	6,948	6,948	13,896	13,818	13,896	13,896	13,896	13,896	13,896	6,948	6,948	6,948		
	要介1	104,230	114,653	95,256	95,179	15,911	83,384	62,538	59,318	62,538	74,333	67,550	52,115		
	2	61,272	58,554	58,554	61,272	86,670	91,848	122,544	144,414	153,180	122,544	122,544	122,544		
	3	44,566	44,566	44,566	44,566	44,566	22,283	22,283	22,283	22,283	22,283	22,283	22,283		
	4	59,703	73,779	73,779	98,372	98,372	106,462	98,372	98,372	98,372	122,965	122,965	122,965		
	5	40,974	54,234	51,201	27,117	27,117	27,117	27,117	27,117	27,117	27,117	27,117	27,117		
	加算	初期	1,380	2,970	750	570	2,400	0	0	1,020	780	0	0	0	
		認知Ⅰ	8,800	6,400	6,400	5,600	5,600	5,600	4,800	5,600	5,600	6,400	5,600	5,600	
		認知Ⅱ	1,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,500	3,500	4,000	4,000	3,000	3,000	3,000	
		訪問	22,000	22,000	22,000	21,000	24,000	21,000	20,000	22,000	22,000	23,000	22,000	20,000	
		総合ケア	25,000	25,000	26,000	25,000	28,000	25,000	24,000	26,000	26,000	26,000	25,000	23,000	
		サ提Ⅰイ	16,000	16,000	16,640	16,000	17,920	16,000	15,360	16,640	16,640	16,640	16,000	14,720	
		改善Ⅰ	40,588	44,263	43,689	42,577	47,646	43,045	42,971	45,649	46,847	46,725	45,683	43,570	
特定改善		5,968	6,509	6,425	6,260	7,006	6,329	6,318	6,711	6,888	6,869	6,716	6,405		
9/30迄	0	0	0	0	0	0									
ベースUP							7,163	7,609	7,809	7,790	7,616	7,264			
短期入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(円)	地域区分	(×10.17)													
(円)	小計(1)	4,520,606	4,929,917	4,865,877	4,742,109	5,306,564	4,794,130	4,858,584	5,161,313	5,296,788	5,283,202	5,165,312	4,926,409	59,850,811	
保険 給付 外 (円)	日用	13,200	15,800	15,450	15,250	18,500	16,800	17,050	16,100	16,000	14,850	14,000	14,650		
	食事	朝	24,180	33,170	44,640	37,820	51,150	38,130	48,980	54,560	53,320	46,810	45,880	48,670	
		昼	200,080	243,390	243,390	217,160	266,570	254,370	268,400	281,210	278,770	279,990	263,520	285,480	
		おやつ	15,250	18,350	19,500	17,250	21,600	20,000	20,750	22,600	21,600	22,550	21,300	22,950	
		夕	79,560	94,860	106,080	94,350	119,850	102,510	118,320	126,480	124,440	120,360	115,770	131,580	
	宿泊	177,100	248,400	328,900	250,600	384,100	282,900	365,700	409,400	386,400	351,900	340,400	356,500		
	交通														
	他実費														
(円)	小計(2)	509,370	653,970	757,960	662,430	861,770	714,710	839,200	910,350	880,530	836,460	800,870	859,830	9,287,450	
合計(1)(2)		5,029,976	5,583,887	5,623,837	5,404,539	6,168,334	5,508,840	5,697,784	6,071,663	6,177,318	6,119,662	5,966,182	5,786,239	69,138,261	
お試し利用等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
法人減免額(計)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
含む(公費負担分)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

事業所名称	ひなた	登録定員	29名
-------	-----	------	-----

今年度の挑戦（令和4年度）			
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）	年度評価
利用者	<input type="checkbox"/> 柔軟性を活かした臨機応変なサービス提供  <input type="checkbox"/> その方を取り巻く環境にも配慮した包括的サービス提供  <input type="checkbox"/> おもてなし +1 のサービス提供	<input type="checkbox"/> ニーズを把握し、その方に今必要なサービスを提供する。  <input type="checkbox"/> 家族、行政、包括、地域等、他の機関との連携強化  <input type="checkbox"/> 基本のニーズに+1 をしてお帰りいただく意識 身なり、口腔ケア、ADL・病状改善など	<input type="checkbox"/> コロナ禍に於いて外出やボランティアの受け入れ制限などがある中で季節毎の行事を考え実施できた。  <input type="checkbox"/> 利用者の介護度が重度化傾向にある中でサービス量を状況に合わせて行ってきた。行方不明者の捜索に包括との連携で見つける事もできた。  <input type="checkbox"/> 体調の変化を見落とさず適宜、家族との連携を図り病院受診等に繋げる事が出来た。着ている衣類の確認もこまめに行い衣類の補修やズボンのゴム交換など家族の気付かない面でも対応させて頂いた。

財務	<p><input type="checkbox"/> 毎月の目標売上のクリア 安定した事業運営</p> <p><input type="checkbox"/> 安定した登録者数の確保</p> <p><input type="checkbox"/> 職員が辞めない職場環境作り</p>	<p><input type="checkbox"/> 月間売上 620 万円を目指す。</p> <p><input type="checkbox"/> 営業活動の強化 登録者数が 25 名を下回らない</p> <p><input type="checkbox"/> 承認マネジメント 風通しの良い職場環境作り</p>	<p><input type="checkbox"/> 売上目標の達成は 8 月・12 月のみであった。職員の補充が出来ていない事により受け入れ制限せざるおえない状況と利用者様の介護度重度化によりサービス過多となっている状況の改善が急務と考えている。</p> <p><input type="checkbox"/> ご利用者様の重度化により通いや泊りの利用が増えて個々のサービス量が多くなっている。25 名の受け入れ目標には施設入所への流れを作る必要がある。</p> <p><input type="checkbox"/> お互いを理解し、それぞれの個性や皆違う人間である事を指導するが、自分と違う考え方を理解、承認する事が進んでいない。継続してチームワーキングに取り組めるよう社会人・職業人としての基本を指導する必要がある。</p>
----	--	---	---

<p style="text-align: center;">業務</p>	<p>□感染症対策          コロナ対応 クラスタ防止          安心して施設を利用出来る</p> <p>□ケアカルテの積極的活用          業務の効率化</p> <p>□SNS の積極的活用 情報発信</p>	<p>□日々の感染対策の徹底          職員からの持ち込み防止          クラスタを防ぐ為の BCP 作成</p> <p>□勉強会の開催 多くの機能を有効活用出来る          記録時間短縮 作業効率 UP          使いやすいカスタマイズ          情報分析によるケアの見える化</p> <p>□フェイスブックの投稿回数 UP          視聴回数の UP          投稿、編集作業の出来る職員増</p>	<p>□体調不良時の検査や欠勤をさせるなど、コロナウィルスを持ち込まないように人員不足の中でも取り組んでいる。職員からの持ち込みは0件であったが、利用者家族、利用者からの感染があった。利用者が感染しているのが判っていても在宅訪問は必要となり訪問した職員が感染するケースがみられた。</p> <p>□ケアカルテの導入は順調に進んでいたと考えられる。さらに便利な機能として使える物がないか今後の検討としたい。</p> <p>□行事や外出などなるべく、写真を撮って投稿するようにしてきた。ご利用者家族の要望で SNS の顔出し NG の方も多いため、編集が必要になったり、動画撮影が難しかったりしている。</p>
---------------------------------------	---	---	---

人材	<input type="checkbox"/> 安定した職員数の確保  <input type="checkbox"/> 研修会への積極的参加  <input type="checkbox"/> 自責で行動出来る人材育成  <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 辞めない職場環境作り  <input type="checkbox"/> 承認マネジメント 相手の良い所を褒め、マイナスを共に改善出来る ニヤリほっとシートの件数 UP <input type="checkbox"/> 職員間での接遇・マナー <input type="checkbox"/> ウェブ研修を中心に参加率の UP 勉強会、職員間での情報共有 業務の中に学びを活かす	<input type="checkbox"/> 人員不足が続く中で、コミュニケーション不足も高くなり、悪循環から脱する事が出来ていない。  <input type="checkbox"/> コロナ禍に於いて集合研修への参加が出来ない中でサクラボを利用した WEB 研修は 12 名/15 名中が参加し学ぶ事ができていた。一方で 2 名の若手職員は学習意欲が低いのか参加できていない事が今後の課題となる。 <b>WEB</b> 研修の良さは学習意欲のある職員には参加のしやすさがある一方で、意欲の無い職員には強制力が低い為、参加しないでも済んでしまう事が今後の課題。
----	---	--	--

## グループホームひなた 令和 4 年 4 月 ～ 令和 5 年 3 月 報告

### 1 事業所

事業所名	グループホームひなた
サービス種類	認知症対応型共同生活介護 ( 袋井市指定 第2297300101号 )
事業所住所	袋井市浅羽84-9
入居定員	18名
介護理念	「ともに笑って ともに歩んで」

### 2 利用者の状況

#### (1) 登録利用者

年・月	利用登録人員		支2	介1	介2	介3	介4	介5	平均介護度	延登録実員
令和4年4月末	0 0	18	男 5	0	1	2	0	2	2.22	24
			女 13	0	4	5	3	1		
5月末	0 0	18	男 5	0	2	1	1	1	2.17	24
			女 13	0	4	4	4	1		
6月末	1 1	18	男 5	0	2	1	1	1	2.11	25
			女 13	0	4	5	3	1		
7月末	-1 +1	18	男 5	0	2	1	1	1	2.22	26
			女 13	0	3	5	4	1		
8月末	-2 +2	18	男 5	0	2	1	1	1	2.22	26
			女 13	0	3	5	4	1		
9月末	0 0	18	男 5	0	2	1	1	1	2.39	26
			女 13	0	2	5	4	2		
10月末	-1 0	17	男 4	0	2	1	1	0	2.41	26
			女 13	0	1	5	5	2		
11月末	-1 +2	18	男 4	0	2	1	1	0	2.39	28
			女 14	0	3	5	5	2		
12月末	0 0	18	男 4	0	2	1	1	0	2.17	28
			女 14	0	3	5	5	1		
1月末	0 0	18	男 4	0	2	1	1	0	2.17	28
			女 14	0	3	5	5	1		
2月末	0 -1	17	男 4	0	2	1	1	0	2.18	28
			女 13	0	3	4	5	1		
3月末	0 0	18	男 4	0	2	1	1	0	2.33	29
			女 14	0	2	5	5	2		

#### (2) 利用者平均年齢

R5.3.31

男	61歳～95歳	83.5	84.1
女	75歳～95歳	84.3	



## (3) 利用者の住所地

R5.3.31

諸井	浅羽	豊住	富里	浅岡	湊	山崎	豊沢	川井
2/2	2/3	0/1	0/1	0/1	2/2	0/2	0/3	1/1
旭町	神長	上山梨	睦町	泉町	鷺巣	愛野東	高尾	堀越
1/1	1/1	0/1	0/1	0/1	1/1	1/1	2/1	1/1
東同笠	浅名	春岡	栄町	三門町				
0/1	1/1	1/1	1/1	1/1				

## (4) 利用者の利用開始時世帯状況

R5.3.31

	一人暮らし	老老世帯	同居					
			子	子の子	兄弟姉妹	親	他親戚	他人等
全利用者	9	4	13	0	1	1	0	0
現利用者	7	3	5	0	1	1	0	0

## (5) 利用解除の直接理由

R5.3.31

	病院入院	療養型入院	特養入所	老健入所	その他の施設入所	死亡		
本年度	1	0	2	0	0	1		
全 計	1	1	3	2	0	3		

## 3 職員の配置状況

職種	基準等	専従	兼務
管理者	・常勤専従、支障なければ兼務可 ・経験、研修修了		(常勤) 1
計画担当	・専従、支障なければ兼務可 ・1名は研修修了	(常勤)	(常勤) 1 (非常勤)
介護従事者	・常勤換算法で日中の利用者3人に対し 1人以上 ・夜間ユニット毎に1名	(常勤) 11 (非常勤) 1	(常勤) (非常勤)

\* 介護福祉士の数 7名

## 4 新型コロナウイルス感染者状況報告

令和4年8月クラスター発生

職員: 9名感染

入居者様: 11名感染 (職員を発端とする施設内感染)

入院中の入居者様: 2名感染 (入院先で院内感染。病院にて療養)

令和5年1月

職員: 1名感染 (休暇中に感染し出勤はなかった)

令和4年度 グループホームホーム ひなた利用実績報告

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間		
	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	日数	点数	
要介護1 (573)	5	150	6	161	6	128	5	165	5	124	4	120	3	93	5	146	5	152	5	152	5	140	4	122	1653	1243056	
要介護2 (641)	7	210	5	155	6	180	6	180	6	155	6	180	6	186	6	180	6	186	6	186	5	121	6	182	2101	1653487	
要介護3 (712)	3	90	5	124	4	120	5	139	5	155	5	150	6	186	6	180	6	186	6	186	6	168	6	186	1870	1516570	
要介護4 (780)	3	90	2	62	2	60	2	62	2	62	3	90	2	36	1	33	1	31	1	31	1	28	2	62	647	535069	
要介護5 (847)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	18	540	18	502	18	488	18	546	18	496	18	540	17	501	18	539	18	555	18	555	17	457	18	552	6271	4948182	
加 算	医療連携体制I	540		502		488		546		496		540		501		539		555		555		457		552		6271	244569
	サービス提供体制	540		502		488		546		496		540		501		539		555		555		457		552		6271	37626
	初期(30)	233		196		90		66		23		0		0		23		7		0		2		57		697	20910
家賃	510		471		458		515		465		510		470		509		524		524		429		521		5906		
家賃(生保)	30		31		30		31		31		30		31		30		31		31		28		31		365		
食費・水道光熱費	540		502		488		546		496		540		501		539		555		555		457		552		6271		
稼働率	100.00%		89.96%		90.37%		97.85%		88.89%		100.00%		89.78%		99.81%		99.46%		99.46%		90.67%		98.92%		95.45%		
平均介護度	2.22		2.17		2.23		2.18		2.31		2.39		2.33		2.19		2.17		2.17		2.18		2.34		2.24		
新入所数	0		0		1		1		2		0		0		2		0		0		0		1		7		
退所者数	0		0		1		1		2		0		1		1		0		0		1		0		7		
入院人数/日数	1	7	2	56	1	30	2	11	2	62	0	0	0	0	0	0	1	3	1	3	0	0	1	2	174		
空床	0		56		52		12		62		0		57		1		3		3		47		6		299		

事業所名称	グループホームひなた	登録定員	18名
-------	------------	------	-----

今年度の挑戦（令和3年度）			
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）	年度評価
利用者	<p>■利用者様個々が活躍出来る場を作る</p>	<p>○その方の能力、好きな事や得意な事を見つけ、仕事や役割、活躍出来る場を作る</p>	<p>□個別対応の重要性は感じつつも認知症状の状態や人員配置面でも成果を上げる事が出来ていない</p>
	<p>■利用者様個々の状態に合ったサービスの提供（認知症状）</p>	<p>○アセスメントとプラン作り 生活歴や好み、認知症状等、その方の情報・分析</p> <p>○定期的にカンファを行い、必要なケアの内容を話し合い実践する</p>	<p>□施設内カンファレンスや家族の意向確認などを行ってアセスメントやプランに反映できるように努めている</p>
	<p>■日々の体調変化、急変を見逃さず、安心安全な生活の提供</p>	<p>○日々の状態を把握</p> <p>○変化を察する観察力、洞察力、対応力のUP 記録、情報共有、対応の伝達</p>	<p>□8月のコロナ感染クラスターまでは看護師の配置もあったが退職後は困難な状況が続いた。嘱託医と連携し可能な限り介護職が体調管理を行ってきた。</p>

<p>財務</p>	<p>■ <u>常時18室 満室での稼働を目指す</u></p> <p>■ <u>SNS を活用しての情報発信</u> 営業活動へ繋げる</p>	<p>○空室が出た後、2週間以内の入居を目指す</p> <p>○待機者の方を作るよう営業活動</p> <p>○待機者からスムーズに入居へ繋がられるようコンタクトを続ける</p> <p>○フェイスブック等の投稿回数 UP 閲覧回数の UP</p>	<p>□R4/8月までは待機者2名で推移していたが、以降徐々に申込者が増えR5/3月末時点で待機者14名となり増え続けている。</p> <p>R4/4月から精神科入院が出たときに入院期間が長く空室が続いた、この事を教訓に入院時の対応を再検討した。</p> <p>□レク活動や外出時の写真撮影を積極的に行ってきた。</p>
<p>業務</p>	<p>■ <u>生活リハビリや家事、作業等、利用者様の日常生活の中に、メリハリや楽しみのある日課作り</u></p> <p>■ <u>リスクマネジメント</u> 同じ内容の事例やヒヤリを繰り返さない</p> <p>■ <u>感染症、防災等不足しているマニュアル作り</u></p> <p>■ <u>業務の効率化</u></p>	<p>○利用者様の生活を中心に置き、穏やかに、楽しみのある日課作り</p> <p>○生活リハビリや家事等、利用者様の「出来る」を支援し、ADLや認知症の進行を防ぐ</p> <p>○身なりを整え、メリハリのある生活を送っていただく</p> <p>○毎月の会議や委員会を通じて考察の検討、実施</p> <p>○感染症・防災のBCP作成</p> <p>○ユニット間を超え協力、分担しながら業務を進める</p> <p>○効率良く作業出来る業務マニュアル、環境作り</p>	<p>□日常生活におけるリハビリを実施するように職員に指導してきたが、人手不足を理由にできない事が多いとの意見も多く、今後も職員に対し必要性を指導していく。</p> <p>□定期的なカンファレンスに加え、事例報告の指導、ヒヤリハットの記入を推進しているが、成果はいまだ少ないと感じている。継続して指導する。</p> <p>□マニュアル作りが進んでいない。</p> <p>□ユニット間での職員移動などを積極的に行ってどちらの職員もどちらの利用者にも対応できるよう体制を整えていっている。</p>

<p>人材</p>	<p>■ <u>サービス業である事を自覚し、接遇を重んじた行動のとれる職員作り</u></p> <p>■ <u>認知症のケアが出来る職員作り</u></p> <p>■ <u>チーム力の向上</u> 職員間のコミュニケーション向上</p>	<p>○利用者様、ご家族、来客、電話対応 地域の方、職員間でもマナーとおもてなしを重んじた行動がとれる</p> <p>○認知症の勉強会 各種研修への参加 一人一人の症状に合わせた対応が出来るようスキル UP</p> <p>○問題、課題に対し、受け身で無く個々が解決方法を考え、チームで実践</p> <p>○引き算のケアを含め、症状に合わせ技術として対応が出来る</p> <p>○承認マネジメント 相手のプラスを認め、マイナスは共に改善出来る</p> <p>○自責で行動出来る</p> <p>○職員間での接遇・マナー 困っている事に積極的に声を掛け合える職場作り</p>	<p>□職員で差異があり、研修での学習も進めてきたが、ごく一部の職員においては、繁忙時に地の性格が出てふさわしくない対応が感じられた。冷静な時は振り返る事が出来ていた。</p> <p>□コロナ禍に於いて集合研修が困難な中でサクラボを利用した WEB 研修は有効的であった。学習意欲も高かったようで、各自レポートの提出率も高かった。</p> <p>□コロナ施設内クラスター時には互いに協力し合い困難を乗り越える事ができた。反面、馴染めずに退職した職員2名がいたことも、今後の課題として検証していきたい。</p>
-----------	--	--	--

## 令和4年度 ルンビニこども園 実績報告書

### 1. 各月初日現在年齢別措置児童数 (定員 100名)

年齢/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
0歳児	2	4	7	7	9	8	8	8	8	8	8	8	85
1歳児	16	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16	15	198
2歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
1号認定	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
3歳児	17	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	206
1号認定	2	2	2	3	3	3	4	4	4	4	4	3	38
4歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
1号認定	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
5歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
1号認定	0	0	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	18
合計	92	96	100	101	104	103	104	104	104	103	102	101	1,214

各月初日平均年齢別措置児童数      100人    対定員充足率      100%

#### 保育時間

教育時間	9時00分～14時00分
通常保育	8時30分～16時30分
延長保育	7時00分～19時00分
土曜保育	7時30分～17時30分

19時までの延長保育利用は見られず、ほぼ毎日18時30分頃には降園完了していた。

#### 保育担当者

年齢毎にクラスを編成し、各々に担任保育教諭を配置し保育・教育を展開

#### 3月末保育園児数と保育教諭

歳児別	クラス	園児数	保育教諭数
0歳児	ひよこ組	8名	2名
1歳児	りす組	15名	3名
2歳児	うさぎ組	18名	3名
3歳児	きりん組	20名	2名
4歳児	ぼんだ組	22名	1名
5歳児	ぞう組	18名	1名
フリー			2名
給食室	栄養士		3名
	調理師		1名
以上児、未満児クラス	副主幹		2名
事務室	園長・主幹		3名
計		101名	23名

## 2. 保育内容

保育目標でもある「健やかな心を育てる」ため、年間を4期に分けて年齢別に全体的な計画を園長と主幹保育教諭が協議して定め、中期計画(月案)、短期計画(週案)は全体的な計画に基づいて各担任保育教諭が定め、計画に従って日々の保育・教育を実践した。

- \* 自然観察・・・朝顔・夏野菜・チューリップの植栽。プランターでの夏野菜の栽培  
園外散歩では道端の草花や虫を見つけ、季節を感じられるように活動した。
- \* お年寄りとの交流・・・手作りのカードを「紫雲の園」誕生会にプレゼントした。
- \* 鼓隊活動・・・リズム感を養い、互いに協力・連帯する心を養うようにした。
- \* 体育指導・・・バランスのとれた体力向上と敏捷性を養うため外部講師を招き実施。  
マット、跳び箱、鉄棒、水泳、なわとび、サッカー、ドッチボール等に挑戦。
- \* 英語で遊ぼう・・・月1回英単語で遊ぶ時間を作り、英語という言語の存在を知らせた
- \* 園外散歩・・・歩く力を付け、交通ルールを知るため園外に出かけた
- \* 食育・・・食事に対する「感謝のこころ」を育てていった  
朝礼の際「心育て」と共に「食育」関連の紙芝居を取り入れた  
年長児はとうもろこしやゆで卵の皮むき、野菜を使いクッキングを楽しんだ

### 3. 行 事

養護と教育を両立し、こどもにとって最善の学び、成長となるよう以下の行事を実施した。

4 月	*入園式、進級式（釈尊花まつり） ・春期健康診断 ・朝顔、夏野菜の植栽
5 月	・検尿検査 ・こどもの日の祝い *引き渡し訓練 ・にこにこ水泳（4・5歳児） ・不審者対応避難訓練
6 月	・水遊び ・歯科検診 ・にこにこ水泳（4・5歳児） ・交通安全教室 ・花火教室 *1歳児親子ふれあい遊び
7 月	*納涼祭 ・七夕まつり、スイカ割り
8 月	・お泊り保育
9 月	・避難訓練（洪水） ・おつきみ会
10月	*運動会 ・秋期健康診断 ・チューリップの球根植え *2歳児親 ・歯科指導 ・2～5歳児クラス遠足 ・不審者対応避難訓練 *保育参加
11月	・ハロウィングリッシュ ・七・五・三の祝い ・あさば東こども園との交流
12月	*はっぴょう会 ・釈尊成道会 *0歳児親子ふれあい遊び ・おもちつき ・クリスマス会
1 月	*始業式 ・三法会3園交流会
2 月	・節分 ・涅槃会 ・入園説明会 ・卒園遠足 *1歳児親子ふれあい遊び
3 月	・ひなまつり ・お別れ会 ・修了式 *保育証書授与式

◎ \*印 = 親子参加行事

◎ 毎月・・・避難訓練、身体測定

月2回・・・体育指導（5、4、3、歳児）

月1回・・・英語指導（5、4歳児）



#### 4. 給 食

育ち盛りの幼児にとって必要な栄養量を摂取させることは大切な事であるから、献立の作成にあたってはその点に十分留意しながら栄養のバランスを考慮し、朝・夕との関連もあるので献立表の家庭への配布や必要に応じて栄養指導を実施した。又、食物アレルギーの体質の園児に対しては、医師の診断書を提出してもらい、除去食、代替食に努めた。

楽しく食事ができるように味付け、彩り等を工夫し、正しく食事する事は生活習慣の重要な部分を占め、園の目標である「感謝の心」を育てるよい機会であるから、食事をいただけることに感謝しながら正しく食事する態度を身につけさせるよう努めた。

給食で人気のあった献立レシピを玄関に常備、自由に持ち帰るようにし、活用されている。又、食事年間指導計画作って、夏野菜（トマト、ピーマン、きゅうり、なす 等）の栽培、収穫をして給食室やクラスで調理して食べた。

調理員は給食管理研修会、県保育士会主催研修会に参加し研修した。

\* 年4回、各1週間づつ、歳児別嗜好調査を実施。こども達の嗜好を園全体の職員で把握するよう努めた。

#### 《 一日あたり平均栄養価摂取量 》 令和4年度

	3 歳 未 満 児		3 歳 以 上 児	
	熱 量	蛋 白	熱 量	蛋 白
基 準	5 0 7 kcal	1 9 . 0 g	5 7 9 kcal	2 1 . 7 g
摂 取 量	4 5 4 kcal	1 8 . 6 g	5 3 2 kcal	2 0 . 6 g

#### 《 一日あたり平均給食費 》 令和4年度

3 歳未満児	2 1 3 円	3 歳以上児	2 4 6 円
--------	---------	--------	---------

## 5. 健康管理

嘱託医(岩本医師)による入所時健康診断、前期・後期健康診断を実施

まきの歯科クリニックによる歯科検診を1回実施

尿検査を実施

身長、体重の測定を毎月実施

乳歯から永久歯に変わる3歳児から6歳児のフッ素洗口を毎日実施。

* 前期健康診断	4月19日	* 後期健康診断	10月 5日
* 歯科検診	6月2日		
* 尿検査	5月25日		

## 6. 非常災害対策

\* 交通安全指導(指導員) 6月1日 \* 普通救命講習会

\* 防火指導(消防署署員) 6月13日

毎月一回火災・地震等想定した防災訓練を実施

洪水を想定した避難訓練を実施

毎朝の遊具点検を実施

電気及びガス等の危険物設備は月一回安全点検表により点検を実施

消防設備については業者に委託して点検を実施

大規模震災への対応として園内すべての家具等に転倒防止処置

非常時用備蓄食品の在庫ノートと3日間分の食事の献立の作成。

## 7. 感染症の動向

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
水痘			2										2
手足口病					19	5							24
突発性発疹	1	1		2					1				5
帯状疱疹													
感染性胃腸炎					2	1							
アデノウイルス 感染症				1				1					2
RSウイルス						5	2						7
ヘルパンギーナ					2								2
咽頭結膜熱 (プール熱)			1										1
コロナウイルス感染症	1	1		3	8	1	1		2	8			25
ライノウイルス		1											1
ヒトメタニューモウイルス感染症						1	1						2
合計	2	3	3	6	31	13	4	1	3	8	0	0	71

- 8月に手足口病に感染する子がとても多かった。

## 8. 【ヒヤリ・ハット】報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子どもの 危険行為					1								1
環境不備		1											1
保育者の対応				1									1
不審者													
その他													
合計		1		1	1								3

### 《環境不備》

- ・ 作業後、フードプロセッサーを洗っていた際ふたが破損していた。

### 《保育者の対応》

- ・ 扉の内側に子どもがいることに気づかず開けたので子どもの指が壁と扉の間に挟まった。

## 《子どもの危険行為》

- ・ 門扉の鍵を開けて外に出ていこうとした。

## 9. 【事故】報告 136 (件) 内5件は通院 (\*)

### ○ 主な内容

- ・ ブランコからずり落ち後頭部を打った。さらに乗っていたブランコに頭をぶつけた。
- ・ 神社の木の根につまずき転倒し、てのひらと膝を切った。
- ・ レゴブロックで手を挟み、小指が赤くなった。
- ・ 乳児園庭の足洗い場で転び下唇を切った。
- ・ 「おもちゃを噛んで歯が欠けた」と子どもが訴えた。
- ・ 玩具のカゴの編み目に指を入れ、外そうとひっぱり擦り傷ができた。
- ・ 砂場近くの植木に倒れ込み右膝を切った。
- ・ コットから降りる際、バランスを崩し床に顔をぶつけた。
- ・ 玩具の取り合いになり顔を引っ掻いた。
- ・ 机と机の隙間に腕を置いていた際、他児が机を動かした為腕を挟まれ内出血した。
- ・ 木の枝に顔をひっかけ、額に擦り傷ができた。
- ・ 柵に足をかけていて体勢を崩して後ろに転倒し後頭部に傷ができた。
- ・ 手をつないで散歩をしていて相手が急に走り出したので転倒し膝を擦りむいた。
- ・ 散歩中、側溝に落ちた。
- ・ 鬼ごっこをしていて他児とぶつかった。(唇が切れた・額が腫れた)
- ・ 巧技台を登っている際、手を滑らせ目の横を擦りむいた。
- ・ トイレでズボンをはこうとした際、バランスを崩し柵に右目付近をぶつけた。
- ・ おたより帳を入れ間違えた。
- ・ 目薬を返却し忘れた。
- ・ 1歳児と2歳児の兄弟のお弁当を逆に食べさせてしまった。1歳児がまだ食べていない食材が入っていた。
- ※ 室内でボーリングをやっていてボールを追いかけ机に顔をぶつけた。右目頭あたりが腫れた。(小早川整形リウマチクリニック)
- ※ 玩具の取り合いでけんかになり他児に顔を叩かれた。その際前歯がぐらつくようになった。(スマイル歯科)
- ※ 園外保育で行った公園で滑り台を滑り着地した際、地面に右手中指を打ち付けた。中指が腫れ青あざになった。(岩本外科医院)
- ※ 椅子に座ろうとした際、バランスを崩して左目の横を机にぶつけた。目尻が赤くなった。(竹内眼科)
- ※ ドッジボールでボールから逃げている際、後頭部と他児の頭がぶつかった。その後、頭痛を訴え、嘔吐した。(青葉こどもクリニック)

## 10. その他

### (1) 職員研修

県社協、県保育士会、県保連、保安協、が主催した研修会に参加

令和4年度は新型コロナの影響もありweb研修にも多く参加

web研修を施設内職員研修として活用

いわた保育士会「食育部会」に参加

市主催「子どもの健康と食を考える会」に参加

### (2) 職員会議

保育計画、行事の検討と調整

ケース会議、事例検討会議として実施

### (3) 保護者との連携及び連絡

家庭との連携ツールとして0・1・2歳児はおたより帳を活用

3・4・5歳児はこどもとのコミュニケーションを踏ってもらうため、活動内容について掲示

大きな行事は土曜日に計画したが、新型コロナの影響で人数制限を余儀なくされた

6月と10月の保育参加では、お昼の時間を使ってじっくり面談することが出来た

保護者に配布するおたよりはカラー印刷とし写真を掲載

### (4) 実習生の受け入れ

保育士養成校の学生を5名、実習生として受け入れた

卒業後に保育士として活躍できる人材となるよう指導

高校生インターンシップ3名、中学生職場体験2名を受け入れた

### (5) あさば東こども園との交流

就学に向けて意識を高く持てるよう、あさば東こども園の年長児と交流

## 11. 今後の課題

認定こども園に移行して2年間、保育内容についてはこれまでの実績を活かしながら展開することが出来た。

経営面では、1号認定児童が定員を充たす迄実績として上がらないが、次年度以降も情報発信に努め、確実に1号認定児童の入所獲得に資する

1, 所在地 静岡県袋井市浅羽1248番地

2, 各月初日現在年齢別措置児童数 (定員 90人)

年齢/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
0歳児	3	8	8	10	10	10	10	9	10	10	10	10	108
1歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
2歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
3歳児	20	20	20	20	20	20	19	19	20	20	20	20	238
4歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
5歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
合計	98	103	103	105	105	105	104	103	105	105	105	105	1246

各月初日平均措置児童数 104人

対定員充足率 115%

3, 保育内容

「健やかな心と身体」を育てるために、お釈迦様の教え「仏教」を基本理念として保育し、  
【生命尊重】【修繕】【協調】を三本柱とし、『感謝』の心を育てます。

○運動あそび…子どもたちの運動能力向上を目指し、月に2回、外部講師による指導を行った。

3月には5歳児で跳び箱8段を跳べる子が5人ほどいた。

○音楽あそび…月に2回、外部講師による指導。運動会での鼓隊披露や音楽会での合奏、  
鍵盤ハーモニカの発表を行った。

○英語指導…月に1回、3～5歳児を対象に外部講師による指導。ゲームや歌を交え  
楽しく英語に触れた。

○茶 道…月に1回、5歳児対象に職員が行っている。「静」の時間を経験することで、  
集中力を高めている。

○食 育…食育計画に基づき、夏野菜の栽培、収穫、クッキングを体験。今年も園の畑で  
さつま芋を育て、収穫体験も行った。

○自然観察…春には朝顔の種まき、秋はチューリップの球根を植え、生長の過程を知ったり、  
色水作りなど、遊びも発展した。

○保育時間

- ・短時間保育 8:30～16:30
- ・標準時間保育 7:00～18:00
- ・延長保育 7:00～19:00
- ・土曜保育 7:00～18:00

#### 4, 行 事

4月	・花まつり ・こどもの日の祝い ・春の遠足
5月	*保護者栄養講座 (3) ・アサガオ種まき (3~5) *保護者保育参加 ・作法講座 (5) ・前期健康診断 ・尿検査 (2~5) ・幼保交流 (5) ・さつま芋、夏野菜の苗付け (3~5) ・交通安全教室 (3~5)
6月	*保護者保育参加 ・不審者対応訓練 ・プールそうじ (5) ・歯科講座 (4~5) ・歯科検診
7月	・花火教室 (3~5) ・小学4年生交流 (5) ・小学校プール体験 (5) ・納涼祭
8月	・七夕まつり (スイカ割り、流しそうめん) ・視力聴力検査 (5)
9月	・総合防災訓練 (*引き渡し訓練) *運動会 (2~5)
10月	・不審者対応訓練 ・幼保交流 (5) ・後期健康診断 *秋の遠足 (5) ・チューリップの球根植え (2~5) ・お月見会 ・芋ほり (5)
11月	・社会福祉施設防災訓練 ・七五三のお祝い *大掃除 *お遊戯会 (2~5) ・小学1年生交流 (5) ・浅中生交流学習 (3~5)
12月	・サッカー教室 (5) ・成道会 ・もちつき会 ・クリスマス会 ・みかん狩り (3~5)
1月	・ルンビニ3園交流 (5) ・音楽会動画配信 (3~5)
2月	・豆まき会 *入園説明会 *ミニ作品展 (自由観覧) ・涅槃会 *大掃除 ・観劇 (3~5)
3月	・ひな祭り ・修了式 (2~4) *卒園式 ・お別れ遠足 (5) ・お別れ会

◎ \*印・・・保護者参加行事

◎ 毎月・・・誕生会、避難訓練、音楽指導 (月2回)、運動遊び (月2回)  
英語教室 (月1回)、茶道 (月1回)

#### 5, 給 食

栄養士が食育年間計画をたて、各クラスの保育士と連携をとりながら野菜の栽培をした。感染症に配慮しながらクッキングを体験し、収穫のうれしさや、野菜の大切さを感じ、何でも食べよとする意欲が持てるよう、食育指導をした。

保護者には食に関するアンケートを行い、保護者の要望や課題をとらえ、離乳食・幼児食の展示、給食だより・食育だよりの発行、保育参加時における給食参観、試食等を実施した。

毎月の給食会議では、メニューの検討や子どもの個別対応など、情報交換を密に行った。特に食物アレルギー体質の子どもは、全職員が把握するよう、配膳室に掲示し、職員同士での確認を充分に行った。

《一日当たりの平均栄養摂取量》

	3歳未満児		3歳以上児	
	エネルギー	タンパク質	エネルギー	タンパク質
目標量	465 kcal	18.6 g	575 kcal	23 g
摂取量	529 kcal	22.8 g	608 kcal	24.8 g

《一日当たりの平均給食費》

3歳未満児	208円	3歳以上児	246円
-------	------	-------	------

## 6, 健康管理

袋井市諸井所在の岩本医師を嘱託医とし、定められた前期健康診断、後期健康診断を実施、まきの歯科クリニックによる歯科検診を年1回行った。その他、例年通り、尿検査を実施した。身長体重測定は毎月実地し、成長の記録とするとともに、低身長 of 指導上の資料としている。

- ・ 前期健康診断                      5月18日                                      ・ 後期健康診断                      10月19日
- ・ 尿検査                                5月25日
- ・ 歯科検診                            6月23日                      (治療を要する子 12人)

### ○ 感染症

《一年間の感染症の動向》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
突発性発疹				1			1				1		3
咽頭結膜熱 (プール熱)				1									1
RSウイルス感染症					1								1
ヘルパンギーナ				1	1	1							3
手足口病		1		1	7	6							15
ウイルス性胃腸炎		2	6							1	1		10
インフルエンザ										1		2	3
新型コロナウイルス感染症 (園 児)	1	1		3	12	2	1	1	18	2	2		43
新型コロナウイルス感染症 (職 員)				1	4		1	1	4	1		1	13
合 計	1	4	6	8	25	9	3	2	22	5	4	3	92

新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖

8月12日～15日 (4歳児)

12月3日～7日 (5歳児)

## 7, ヒヤリ・ハッと報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
子どもの危険行為	1	6	2			4	3	8	2	1	3	2	32
環境不備		4	1			3	1	2	1	2			14
保育者の対応	2	3	4	2	3	8	4	6	6	5	3	4	50
保護者の対応		1				1	1					1	4
給食室の不注意	1	1	2			1	1	2		1			9
その他													0
合 計	4	15	9	2	3	17	10	18	9	9	6	7	109

### ○主な内容

- ・ 電気、エアコン、空気清浄機等の消し忘れ。
- ・ 園内に危険物が落ちていた。(錆びたねじや玩具の破片、画鋸等)
- ・ 出欠席未確認園児への保護者連絡を忘れた。
- ・ 使用したハサミを園庭に置き忘れた。(子どもの手の届く所)
- ・ 重要書類書庫のカギのかけ忘れ。
- ・ 子どもが口腔内に異物を入れていた。
- ・ お弁当を他児に与えそうになった。
- ・ 2歳児が一人で駐車場に出ていた。
- ・ エビアレルギー児の弁当に冷凍エビグラタンが入っていた。



## 8, 事故報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
園内処置	16	10	10	8	3	11	13	16	10	10	9	3	119
岩本外科			1			1						1	3
まきの歯科		1											1
その他の病院													0
保護者が受診												1	1
合 計	16	11	11	8	3	12	13	16	10	10	9	5	124

### ○ 事故の内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
噛まれ傷	2	6	3	2		5	4	3	5	4	2	3	39
擦り傷	6	1	2			3	4	4		2	2		24
ひっかき傷	1	1	1	1		1	1				1		7
切り傷		1	1	1		1	1	1	1		1		8
打撲	7	2	3	3	2	2	3	8	3	3	2		38
脱臼			1										1
その他				1	1				1	1	1	2	7
合 計	16	11	11	8	3	12	13	16	10	10	9	5	124

### ○ 事故による受診状況

- ・太鼓橋を両手をついて渡っていたところ、手を滑らせ歯茎を太鼓橋に打ち付けた。(2歳児)
- ・朝から元気がなく、腕に触れるだけで痛がるため受診。肘内障と診断。(1歳児)
- ・リレーをして遊んでいるとき転倒。その後も足を痛がるので受診。(5歳児)
- ・帰宅後鼻の中に異物を見つけた保護者が病院に連れて行き、小石が摘出された。(1歳児)
- ・園庭で遊んでいる時足首を捻挫した。(5歳児)

## 9, 苦情・要望解決

- ・噛みつき事故で被害児の保護者に謝罪したところ、加害児の名前を教えて欲しいと要望。
- ・遅番時の対応が職員によって違うので、統一してほしいと要望。

(保護者アンケートより)

- ・鼻水程度でなら預かってもらいたい。
- ・アレルギー除去の献立がどのようなものか知る機会があると嬉しいです。
- ・コロナが落ち着いたら、以前のような親が参加できる行事を行ってほしい。
- ・HPの写真や動画を、LINEやインスタなどで見やすくしてほしい。
- ・運動会の4歳児の内容が物足りなかった。
- ・鼓隊を一度で終わらせるのはもったいないので、どこかでもう一度披露してもらいたい。
- ・お遊戯会の5歳児の内容が物足りなかった。

## 10, 実習生受け入れ、中学生との交流など

- ・7/4～7/8 静岡英和学院短期大学食物栄養学科2年生 1名
- ・8/8～8/10 常葉大学保育学部1年生(体験実習) 1名
- ・10/5～10/6 浅羽中学校2年生 職業体験 3名
- ・11/10 浅羽中学校2年生 交流会 30名
- ・11/17 浅羽中学校2年生 交流会 31名
- ・11/28 浅羽中学校2年生 交流会 33名
- ・11/28～12/10 東海こども専門学校2年生 1名

## 11, 非常災害対策

- ・月一回 避難訓練（地震・火災・洪水・津波訓練）
- ・9/1 総合防災訓練（浅羽北小避難・引き渡し訓練）
- ・11/4 社会福祉施設防災訓練
- ・不審者対応訓練（6月、10月）

## 12, 保育担当者

各年齢別にクラスを編成し、それぞれに担任保育士を定めて保育を行う。

\*3月末保育園児数と保育士

歳児別	クラス名	園児数	職員数
0歳児	つくし	10 名	4 名
1歳児	ちゅーりっぷ	17 名	4 名
2歳児	れんげ	17 名	3 名
3歳児	すみれ	20 名	3 名
4歳児	ひまわり	20 名	2 名
5歳児	さくら	21 名	1 名
一時保育			1 名
支援センター	すくすく		2 名
給食室	栄養士		1 名
	調理師		2 名
用務			1 名
職員室	園長、主任		2 名
	副主任		2 名
産休・育休			1 名
合計		105 名	29 名

## 13, 研修会参加状況

- ・浅羽学園研修会…年4回
- ・いわた保育士会研究部会…定期開催
- ・キャリアアップ研修（オンライン）…2名 障害児保育・保健衛生
- ・キャリアアップ研修（参集型）…6名 幼児教育・乳児保育・保護者支援・食育・マネジメント
- ・オンライン園内研修…全6回
- ・普通救命講習会…2名
- ・法人内歳児部会…年3回（0・5歳・給食）
- ・幼保小架け橋期カリキュラム開発会議…年3回
- ・幼保小架け橋期カリキュラム開発ワーキンググループ研修…5回
- ・袋井市就学前教育推進会議…年2回
- ・袋井市外国人への理解推進研修会
- ・袋井市愛着と非認知能力研修…年2回
- ・いわた保育士会職員研修…年4回
- ・新規採用職員研修会
- ・袋井市虐待防止研修会
- ・子どもの健康と職を考える会…年2回
- ・中堅職員研修会
- ・袋井市子ども支援研修会…年2回
- ・袋井市多様な性に関する理解促進研修会
- ・袋井市要保護児童等対策地域協議会…年3回
- ・給食関係者研修会

# 令和4年度 一時預かり保育事業実績報告書 【年度末】

ルンビニ第二保育園

## 【現状】

- 8月と12月は園内でコロナウイルスも含めた様々な感染症が流行ったこともあり、利用を控えたり、利用者が感染症に罹ったりした為キャンセルが多かった。
- 昨年に比べて今年度の新規登録者数は多かったが、定期利用に繋がることは少なかった。登録したのみで1年間利用しない方もいた。
- 定期利用の子ども達は少しずつ保育者や環境にも慣れ、生活リズムも出来て園生活を楽しんでいた。園で好きな遊びを見つけて楽しみにしたり、苦手な食べ物が食べられるようになっていたりする様子を保護者はとても喜んでいました。

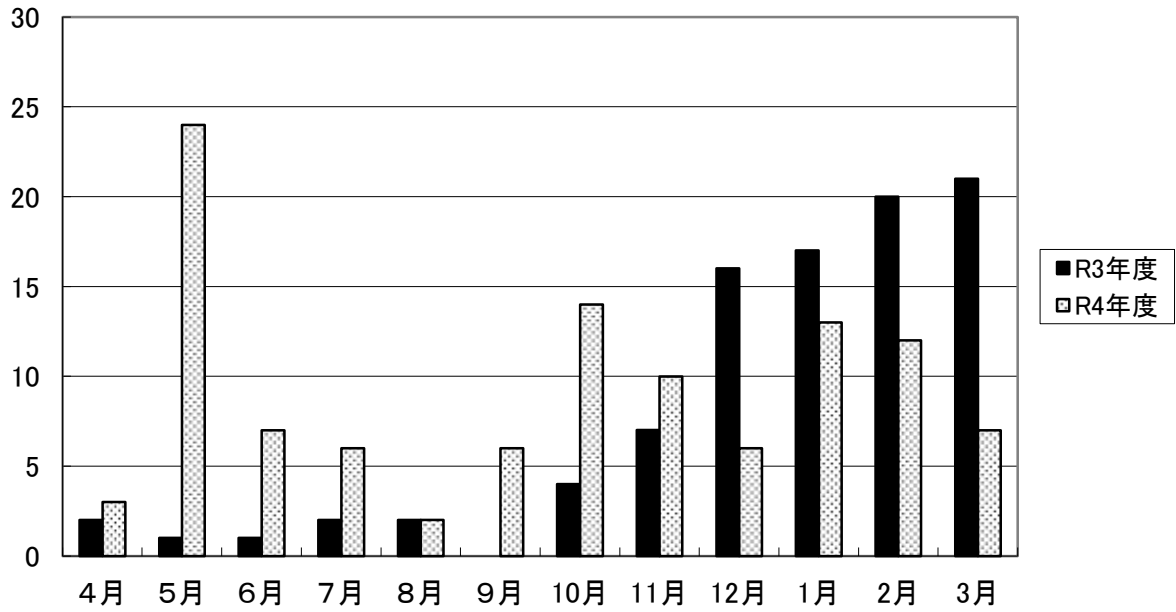
## 【今後の取り組み】

- 来年度は保育者の人数が少ない為、一時休止する。  
保育者の人数が増えれば状況に応じて対応していきたいと思う。
- 引き続きルンビニひかり新聞は配布していき、保育園での取り組みを地域へ伝えていく。

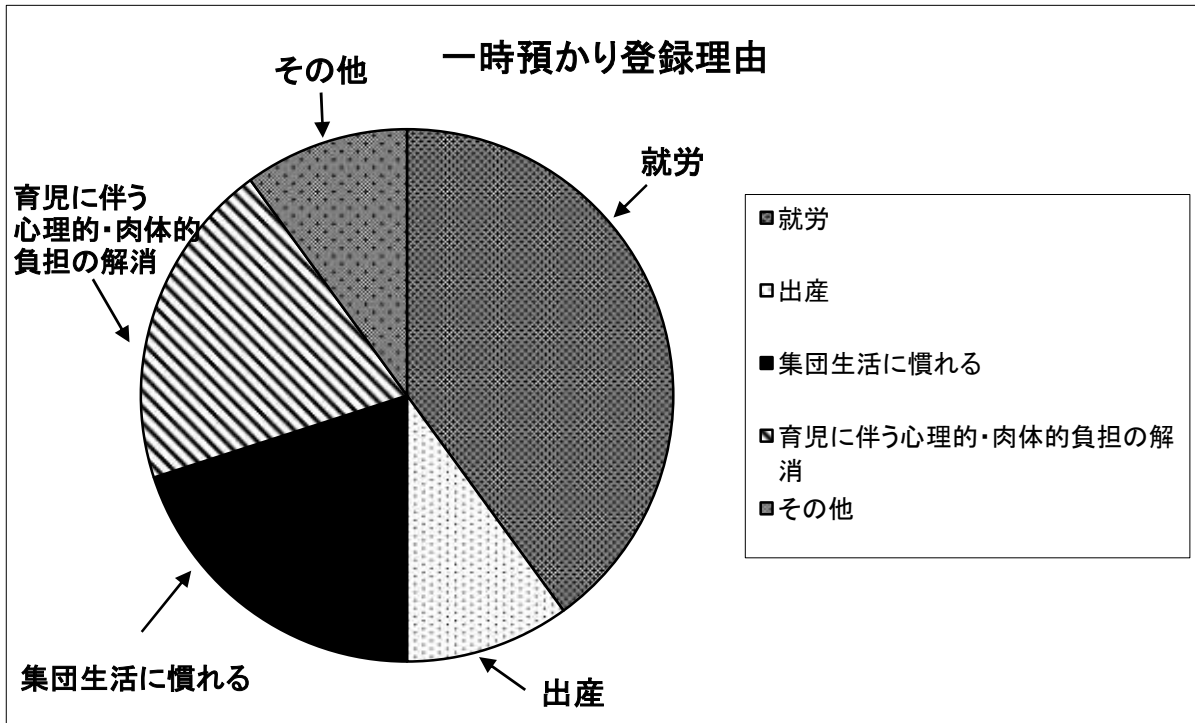
## 一、月別利用者数 (令和3年度との比較)

月	登録数		利用者数		利用者延べ数		利用金額	
	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度
4月	0	1	1	1	2	3	4,200	6,900
5月	0	0	2	3	1	24	2,400	62,400
6月	0	3	1	1	1	7	2,100	20,700
7月	1	1	1	2	2	6	4,200	12,600
8月	0	1	1	1	2	2	4,500	5,700
9月	0	0	0	3	0	6	0	16,800
10月	3	1	1	4	4	14	11,100	37,800
11月	2	2	3	4	7	10	19,200	29,700
12月	0	1	3	3	16	6	42,000	17,700
1月	0	0	3	3	17	13	50,100	39,000
2月	0	0	3	3	20	12	58,200	36,300
3月	1	0	4	3	21	7	57,600	21,300
合計	7	10	23	31	93	110	255,600	306,900

月別利用者延べ数（R3・R4年度の比較）

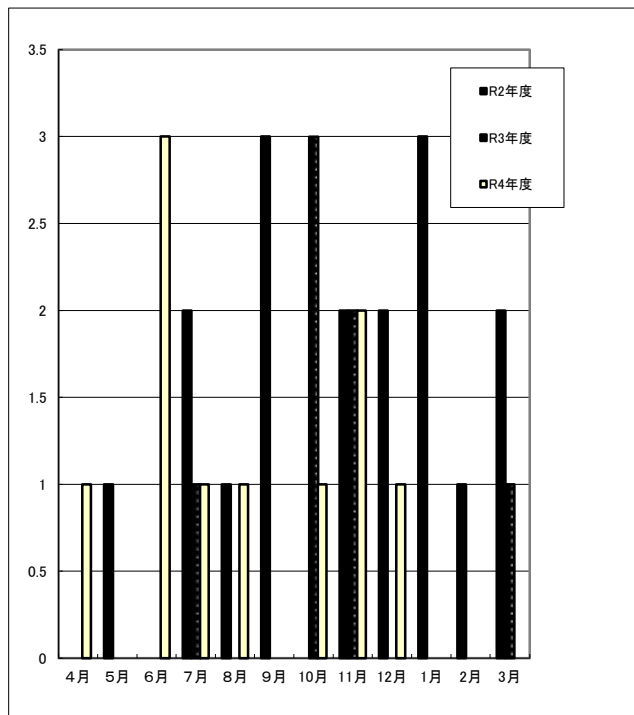


・令和3年度に比べて4月～11月の利用者延べ数は伸びた。



登録数：令和2年・3年度・4年度の比較

	R2年度	R3年度	R4年度
4月	0	0	1
5月	1	0	0
6月	0	0	3
7月	2	1	1
8月	1	0	1
9月	3	0	0
10月	0	3	1
11月	2	2	2
12月	2	0	1
1月	3	0	0
2月	1	0	0
3月	2	1	0
合計	17	7	10

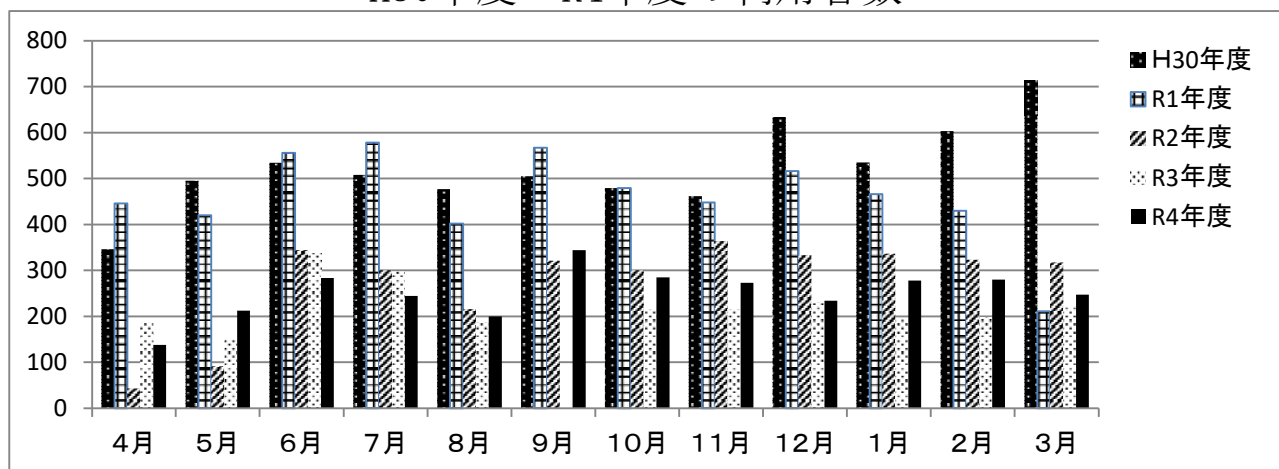


二、令和4年度における一人当たりの給食費の実績

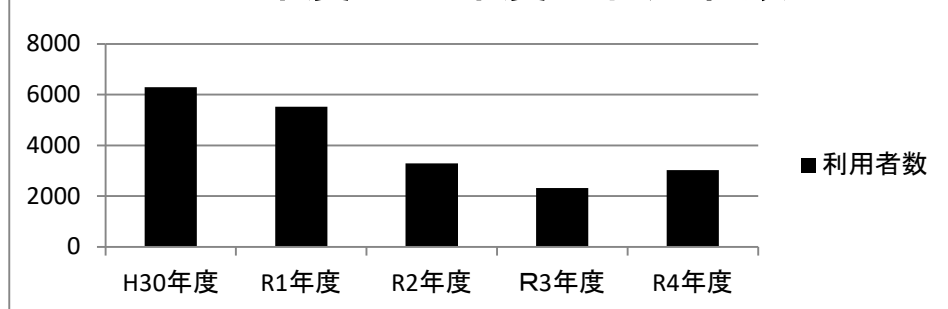
月	利用者延べ人数	予約延べ人数	1日1人当たりの金額	合計金額
4月	3	6	278	833
5月	23	25	285	6,548
6月	7	12	255	1,786
7月	6	8	213	1,280
8月	2	5	232	464
9月	6	8	240	1,439
10月	15	15	226	3,385
11月	10	17	244	2,444
12月	6	13	194	1,161
1月	13	13	198	2,573
2月	12	14	262	3,149
3月	7	8	243	1,701
合計	110	144	2,870	26,763

# 子育て支援センターすくすく 令和4年度事業報告書

## H30年度～R4年度の利用者数



## H30年度～R4年度の利用者数



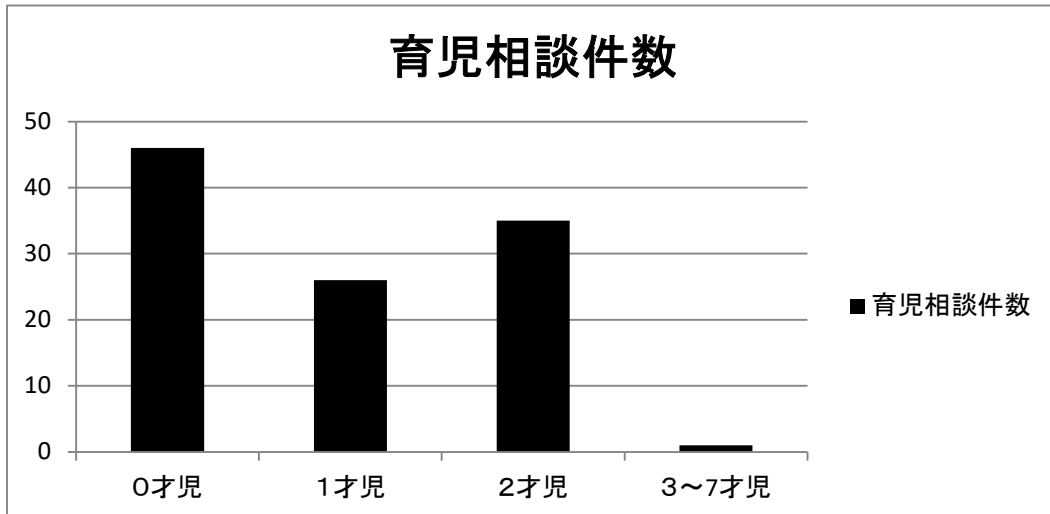
## 令和4年度 子育て支援センター「すくすく」 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	19	19	22	20	19	20	20	20	19	17	19	20	234
利用者数	138	212	283	244	200	344	285	273	234	278	280	247	3018
1日平均利用者数	7.3	11.2	12.9	12.2	10.5	17.2	14.3	13.7	12.3	16.4	14.7	12.4	15.5
赤ちゃんクラブ	6	8	10	15	8	11	13	10	8	10	10	7	116
1.2歳児クラブ	13	43	7	16	11	20	19	18	16	15	18	20	216
おはなし広場	25	23	51	41	20	39	30	33	21	54	60	22	419
お誕生祝い	1	3	1	0	3	2	2	2	1	0	2	0	17
赤ちゃんタイム	10	12	29	15	18	10	20	14	14	16	2	8	168
親子で英語デビュー	5	11	0	9	5	10	15	13	0	8	17	9	102
運動あそび	14	15	14	17	9	16	15	12	19	16	19	15	181
その他の行事	0	17	24	23	21	14	32	47	36	21	45	14	294
育児相談	8	9	9	11	13	9	7	8	9	6	12	7	108
電話相談	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
問い合わせ	8	9	16	8	5	12	9	18	8	10	16	5	124

## 年間を通しての考察、今後の取り組みについて

- 今年度も引き続き感染防止策をとりながらの開館となった。  
入館人数をおおよそ10組としたが、混雑したり来館者を断ることはほとんどなく開館できた。  
換気や来館者の体調管理に気を配りながら運営していった。来館者もコロナ禍の利用に慣れてきていて距離をおいて遊ぶことが多かった。
- 赤ちゃんタイムには決まった方の参加が増え、自宅でもベビーマッサージを覚え寝かしつけ時に役立ててくれている様子がみられた。赤ちゃんも歌い始めると落ち着いてくれるようになったと継続していくことの大切さを感じてくれている方もいた。
- 少しずつ母親同士の交流が戻りつつあるように感じられる。引き続き母親同士の情報交換や様々な共感の場となるように努めていきたい。
- 0～2歳児全体において保育園入園希望者が多いが、今年度は保育園見学者が少なかった。  
支援センターに遊びに来つつ、保育園の様子を見ている親子も多く、質疑応答には丁寧に答えるようにした。また、ルンビニこども園やあゆみ園、花びらの広報活動をおこなった。園児募集の掲示物を作成し、来館者に分かりやすく掲示していった。

## 育児相談



### 育児相談件数、内容について

- ・ 育児相談は乳児の相談が多くあった。  
0歳児の相談では、日々変化する子どもの生活や成長面に関する相談が多かった。不安な気持ちが少しでも軽減できるよう母親の子育てに対する不安な思いや困っていることに共感しながら、アドバイスの提案も必要に応じて行った。
- ・ 1、2歳児の相談でも生活や成長面に関する相談が多かった。  
乳児のころの成長とは異なり、長期にわたって見守っていく内容が主だった。子どもの成長を保護者と一緒に見守りながら、子どもにとって一番よい選択肢を模索していった。母親の話を聞くだけで、気持ちは落ち着くことが多いため傾聴することも多くあった。
- ・ どの年齢にも共通する相談は保育園、幼稚園入園に関するものが多かった。  
また自園の来年度のこども園化についての細かい情報提供も求められ、その都度園に確認しながら情報を提供していった。



## 育児相談内容と対応

対象児	内容	対応	その後
4ヶ月 (男児)	5ヶ月から離乳食をはじめようと思っているが、それで良いかどうか。	本児は出生時に小さく生まれていることや吐き戻しも多いため、胃腸に負担がかかりやすい可能性もある。はじめるタイミングは良く見極めた方が良くと話した。	助言通り、はじめるタイミングは遅くしようと思っている。7ヶ月頃からはじめ、順調に進みたくさん食べるようになったと話してくれた。
8ヶ月 (男児)	離乳食をあまり食べてくれず困っている。また果物はほとんど食べたことがなく、与え方がわからない。	来館する度に離乳食の悩みを打ち明けてくれた。作っても食べてくれない母親の気持ちをくみ取りながら話をすすめた。レンタル用品の離乳食の本を貸し出し、参考までに見てはどうか伝えた。	保育園の入園が決まり、今後は保育園を頼ることができそうである。
1歳7ヶ月 (男児)	左眼の動きに違和感を感じている。どのタイミングで病院を受診したら良いか、また近隣の眼科を教えてほしい。	母親から相談を受ける前から気になってはいたが、母親の不安を煽る原因になってはいけないと様子を見ていた。近隣の眼科を数件紹介した。一歳半健診がすぐにあるため、健診時に聞いてもいいと伝えた。	近隣の眼科医にかかり、斜視ぎみだと診断された。総合病院を紹介してもらい定期的に受診している。結果がはっきりしたため、安心できたことを共感しながら母親の話しを傾聴した。
2歳1ヶ月 (男児)	指しゃぶりをどのタイミングでやめさせていけば良いのか悩んでいる。	本児は聞くことばをよく理解しているため、優しい声かけをしていくことからはじめてみてはどうかと伝えた。また遊びに誘ったり、興味のあるものをすすめてみたりと無理のないようにおこなうように話した。	2週間後、少しずつ自分で制限できるようになってきている。一ヶ月半後、指しゃぶりの指に塗る薬を試してみたところ、1回でやめる事ができた。
3歳4ヵ月 (女児)	保育園か幼稚園のどちらに入園させようか迷っている。	母親は様々な方面から心配をしていることが多く話をよく聞くようにした。姑に関しては、頼られて嬉しい部分もあると思うと伝えた。	本児は幼稚園、妹は保育園に入園が決まった。祖父母に頼りながら、母親は仕事を予定である。
3歳 4ヶ月 (男児)	幼稚園を決めて、10月に近隣の市から引っ越しをしてきた。しかし、集合住宅の方とのトラブルが発生し、引っ越しを迫られている。幼稚園も決め直さなければいけなくなり、とても困っている。	集合住宅の方とのトラブルで母親は思い詰め、とても暗い表情だったため話をよく聞いた。話の内容は答えられる範囲で回答した。袋井市が発行しているマタニティ&赤ちゃんガイドを渡し、通わせたい幼稚園に問い合わせをしてみてもどうかと伝えた。	幼稚園に問い合わせをし、新しい引っ越し先も決まったと母親は言っていた。表情も少し明るくなったように感じた。
3歳 (男児)	トイレトレーニングがうまくいかず困っている。トレーニングパンツを履いて過ごしてもらいたいが本児が頑なに履こうとせず困っている。	トレーニングパンツを履く事の拒否が激しいため、おむつで過ごし排尿間隔を見計らってトイレに誘うことをしてみてもどうかと伝えた。	4か月经過し、急に綿のパンツを履けるようになった。本児も母親も嬉しそうに報告をしてくれた。

## 年齢別クラブ、行事の内容

	赤ちゃんクラブ	一歳児クラブ	二歳児クラブ	行事
4月	はじめまして よろしくね <small>支援センターであそんでみよう</small>	支援センターで使うオリジナルの名札を作ろう		・浅羽記念公園で遊ぼう
5月	支援センターで使うオリジナルの名札を作ろう	浅羽分署見学に行こう		
6月	七夕会	おやこ保健室(保健師さん相談)		
7月	ベビーマッサージ (助産師さん)	七夕夏祭り		・水遊び
8月	おやこ保健室 歯科衛生士さん	スポーツ推進委員さんと親子で運動あそび		・水遊び
9月	ベビービクス (山内さん)	キッズビクス (山内さん)		・おやこ保健室 栄養士さん
10月	ベビーマッサージ (助産師さん)	さつまいもの収穫体験		・コスモス畑へおさんぽ
11月	マフラー作り	消防署見学		・おさんぽ
12月	ベビーマッサージ (助産師さん)	カレンダーづくり		・クリスマス会
1月	カレンダー作り	カレンダー作り		・お正月あそび
2月	ちいさな豆まき会	親子で学ぼう交通安全教室		・豆まき会
3月	ちいさなひなまつり会	お楽しみ会		・おひな様を見に行こう

## 母親サークル「スマイルママ」の活動内容

	スマイルママ年間活動	内容	参加組数 (人数)
4月	・活動内容と担当決め	・グループラインで気軽に決めることができた。	5組 (5)
5月	・リサイクル市の事前話し合い		2組 (5)
6月	・夏物リサイクル市 ・夏物リサイクル市活動報告	・夏物の衣類のリサイクルをした。	12組 (15)
7月	・ゆび絵の具で遊ぼうの事前話し合い		2組 (5)
8月	・ゆび絵の具で遊ぼう	・ゆび絵の具を使って感触を楽しんだり、大きな紙に描いた。	4組 (12)
9月	・公園で遊ぼう話し合い		2組 (4)
10月	・公園で遊ぼう ・冬物リサイクル市話し合い	・豊沢の丘公園にてハロウィンのイベントをおこなった。	6組 (14) 2組 (5)
11月	・冬物リサイクル市	・各家庭の子育て用品の不用品をリサイクルした。	8組 (19)
12月	・給食センター見学の話し合い		2組 (5)
1月	・給食センター見学の話し合い		2組 (5)
2月	・中部学校給食センター見学 ・中部学校給食センター見学活動報告	・施設の見学、給食の試食をした。	9組 (21) 2組 (5)
3月	・いちご狩り ・いちご狩り活動報告	・地域のいちご農園に出かけ、親子でいちご狩りを楽しんだり親子同士の交流を深めた。	7組 (16) 1組 (2)

### <スマイルママの1年を振り返って>

- ・スマイルママは平成24年度から活動をはじめ、今年度は11年目となった。
- ・メンバーは5組でスタートし、母親らが誘い合って8組となった。母親らが誘いあって会員数が増えていくことは良いと思った。
- ・今年度は7つの企画となり、計画、実施、反省までスムーズにおこなっていた。
- ・ボディペインティングの企画では進め方などのアドバイスをおこない円滑に進められるように支援をした。
- ・一般の方の参加も募ったが参加者は少なく、会員数に伸び悩むが少人数でも楽しい活動となるように働きかけていきたい。
- ・リサイクル市にOBの方からの協力があつたが、子どもたちが成長しこれで最後になるかもしれないとリサイクル品を提供してくれた。

# 令和4年度 実績報告

ルンビニあゆみ園

1. 所在地 静岡県袋井市高尾1777-1

2. 令和4年度 入所児童数実績 (定員129名)

年齢 / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
0歳児	7	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	106
1歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
3歳児	1号	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	51
	2号	23	23	23	24	24	24	24	24	24	24	24	285
4歳児	1号	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	2号	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
5歳児	1号	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	2号	23	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	265
合計	123	123	124	124	124	124	124	124	124	124	124	125	1,487

各月初日平均年齢別措置児童数 123.9 対定員充足率 96.1%

3～5歳児 上段「1号」は1号認定児（幼稚園部）

下段「2号」は2号認定児（保育園部）

3. 保育内容

法人理念の「大慈愛心（だいじあいしん）」、保育理念の「仏教」を基本に「生命尊重」「修善」「協調」を三本柱とし、「感謝の気持ち」を子どもの心に育てていきます。

ルンビニあゆみ園では、

- ・「子どもの主体性を育む環境づくり」をしています。
- ・「子どもが安心して過ごせる環境づくり」をしています。
- ・「乳児保育担当制」を取り入れています。
- ・「あそび」の中にすべての要素が詰まっていると考えます。
- ・「行事」は子どもが成長するために必要と考えますが、年齢、発達にそぐわない過度な行事はおこないません。0～2歳児は、繰り返される日常こそが、子どもに安心感を与えるため大きな行事はおこないません。
- ・地産地消の食材を使い、温かい手作り「給食、おやつ」。
- ・離乳食、アレルギー対応食もおこなっています。

遊びを中心として、子どもの主体性、想像力を育てる保育をしています。文字や数字などの「認知能力」を育む前に、目標に向かって頑張る力、他の人とうまく関わる力、感情をコントロールする力などIQなどで測れない内面の力「非認知能力」を育むことに力を入れています。

4. 給食

一日当たりの平均栄養価摂取量

	3歳以上児		3歳未満児	
	熱量	蛋白質	熱量	蛋白質
給与目標	515.0 kcal	19.3 g	458.0 kcal	17.2 g
摂取量	596.0 kcal	22.2 g	523.0 kcal	20.2 g

一日当たりの平均給食費

3歳以上児	260.0 円	3歳未満児	204.1 円
-------	---------	-------	---------

### 野菜の栽培

グリーンピース、きゅうり、ズッキーニ、なす、ピーマン、さつまいも、  
たまねぎ、じゃがいもなど

### クッキング

柏餅、玉ねぎのみそ汁（だし）、お月見団子、  
カレー、おはぎ、トウモロコシの皮むき、非常食  
お米の炊飯など

## 5. 健康管理

前期健康診断	4月22日	後期健康診断	10月18日
歯科検診	6月30日	尿検査	5月25日
視力・聴力検査	7月7日	水質検査	7月28日
フッ素洗口 4, 5歳児のみ（4歳児は11月より開始）			
園児の身体測定			

## 6. 非常災害対策

毎月1回 避難・消火訓練		令和4年度よりAED導入	
引き渡し訓練	5月 2日	園内AED講習	5月2日
総合防災訓練	9月 6日	普通救命講習会	
不審者対応避難訓練	10月 24日		11月 9日
社会福祉施設防災訓練	11月 4日		1月25日
Jアラート避難訓練	11月16日		2月 8日

## 7. 主な行事

4月	*保護者会総会 花まつり 前期健康診断 こどもの日のお祝い
5月	*引き渡し訓練 卒園児同窓会 尿検査
6月	歯科検診 視力・聴力検査（4～5）
7月	花火教室（3～5） たなばた *参観・懇談会(5) *納涼祭（3～4）※5中
8月	お泊り保育（5）※中止
9月	*参観・歯科講座（4） おつきみ
10月	*運動会（4～5） 後期健康診断 交通安全教室（3～5） *保育参加
11月	社会福祉施設防災訓練 *参観・講演会（3） 七五三のお祝い
12月	*発表会（4～5） 成道会 クリスマス会 *もちつき会
1月	*保育参加
2月	豆まき 涅槃会 *奉仕作業 交通安全教室（5） *参観・懇談会(5)
3月	ひなまつり お別れ遠足（5） *卒園式（5） 修了式（3～5）

◎ \*印・・・保護者参加行事

◎ 毎月・・・避難訓練、身体測定

小規模多機能型居宅介護事業所ひなた訪問（5）※中止

8. 職員配置

令和5年3月1日時点

歳児別	クラス名	園児数	保育教諭数
0歳児	いちご	10	3
1歳児	さくらんぼ	18	4
2歳児	ぼなな	18	3
3歳児	ぶどう	28	3
4歳児	みかん	28	2
5歳児	めろん	23	2
給食室	管理栄養士 1	栄養士 1	調理員 2
職員室	園長 1	副園長 1	主幹保育教諭 2
	副主幹保育教諭 1	補助員 1	事務員 1
フリー	保育教諭 1		
	園児計 124		職員計 29

職員配置

年度当初

園長1名 副園長1名 主幹保育教諭2名  
副主幹保育教諭1名 保育教諭16名  
管理栄養士1名 栄養士1名 調理員2名 補助員1名

5月10日

事務員退職

5月11日

事務員採用

8月11日～

保育教諭1名育休より復職

9. 実習生受け入れ

5月23日～6月3日	常葉大学 4年1名
5月30日～6月10日	浜松未来総合専門学校 2年1名
8月2日～8月3日	東海こども専門学校 1年1名
8月22日～9月3日	中部大学 4年1名
8月22日～8月26日	常葉大学 3年1名
9月5日～9月9日	常葉大学 3年1名
11月28日～11月29日	子育て支援員研修 1名
11月29日～11月30日	子育て支援員研修 1名
12月6日～12月7日	子育て支援員研修 1名
1月16日～1月28日	東海こども専門学校 1年1名
1月16日～2月10日	豊岡短期大学通信教育部 3年1名
2月6日～2月21日	浜松学院大学 2年1名
2月6日～2月21日	浜松学院大学短期大学部 1年1名

【感染症の動向】 ()内は職員の罹患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
咽頭結膜熱 (プール熱)			1										1
RSウイルス						1							1
手足口病	2				3								5
新型コロナウイルス感染症	2			1	14 (1)	2	1	9 (1)	2	2 (1)	13		21
合計	4	0	1	1	17	3	1	9	2	2	13	0	53

新型コロナウイルス感染症による休園等の対応

令和4年8月23日～8月25日 2名以上の陽性者による学級閉鎖(年少児)

令和4年2月22日～2月24日 2名以上の陽性者による学級閉鎖(年長児)

【ヒヤリ・ハット】報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子どもの危険行為			1			2							3
環境不備													
保育者の対応	1	1	1		1		1			2			7
その他													
合計	1	1	2		1	2	1			2			10

《子どもの危険行為》

- ・遅番保育中、本児が園庭から駐車場に出たことを気づかなかった。
- ・手についたテープを飲み込んだ
- ・マヨネーズ除去の園児に提供してしまった。(食べる前に他の職員が気づき未然だった)

【事故】報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園内処置	1	2	2	1	1	1		2	3	3	1	2	19
岩本外科医院					1				1			1	3
まきの歯科クリニック												1	1
他医療機関	1			2					2	4	1	1	11
合計	2	2	2	3	2	1	0	2	6	7	2	5	34

喧嘩・噛みつき・ひっかき 8件

人や物にぶつかるなどの接触 8件

遊具や台からの落下 4件

その他 1件

つまずき、転倒 13件

◎うち医療機関にかかった事故 15件 (降園後に医療機関を受診したのものも含む)

- ・築山の段差で前方に転んでしまい口をぶつけえた。(前歯欠損)
- ・ジャンプをし、着地したとき足をひねり、足首を痛めた。(捻挫)
- ・椅子から転倒した際、右耳を机にぶつけた。(右耳打撲)

【研修】 報告

月日	項目	参加職員	実施内容
4/12	就学前教育推進会議	保育教諭	
5/6	外国人への理解推進研	保育教諭	外国人児童生徒への理解と支援について
4/26	県保連総会	園長	ICTを活用した危機管理と業務改善
4/28	資質向上研	副園長	乳幼児期におけるアタッチメントと非認知的な心の発達
5/18	県保連西部支部施設長研	主幹保育教諭	コロナ時代を生き抜くチカラ ～みなさんと一緒に考える～
5/20	いわた保育士会リーダー養成研修会	副園長	実習生の受け入れから就職につなげるには
5/24	県保育士会総会研	園長	公演
6/4	県栄養士会総会	管理栄養士	誰一人取り残されない災害時の食と栄養の支援を目指して
6/10	県保連青年部研	主幹保育教諭	ディズニー流 人が育つ風土作り
6/18	いわた保育士会職員研修会	主幹保育教諭・保育教諭	最近の子どもたちの心身の発達状態を踏まえ、幼児期にどのような遊びや動きが適切か
6/21~23	キャリアアップ研修	保育教諭、管理栄養士	乳児保育
6/23	保育士・保育教諭研修会	主幹保育教諭	対話を導くドキュメンテーション
6/27	中堅職員研修会	保育教諭	一流アスリート達が実践する心と身体が元気になる方法
6/27	子どもの食と健康を考える会	管理栄養士	子どもの食を広げる楽しい給食時間の作り方
6/28	子ども支援研修会	副園長	園や学校現場で生かせる認知行動療法
7/1	県保育士研	保育教諭、栄養士	自分の心を守り、子どもの命を守る
7/5~7	キャリアアップ研修	保育教諭、管理栄養士	保護者支援・子育て支援
7/12	幼児理解研	保育教諭	エピソード記録と保育
7/12	多様な性に関する理解促進研修会	副主幹保育教諭	子どもに関わる人に伝える性別に違和感をもつ子どものこと
8/5	就学前教育推進会議	保育教諭	
9/2,8	インクルーシブ研	副園長	幼児におけるインクルーシブ保育の在り方とは
9/3	いわた保育士会職員研修会	副主幹保育教諭・保育教諭	環境を通じた保育について
9/10	県栄養士会対人スキルアップ研	管理栄養士	栄養指導等に必要とされる対人スキルの向上について
9/26	安全管理講習会	園長	幼稚園等における安全管理体制の構築について
9/27~29	キャリアアップ研修	保育教諭	障害児保育
10/7	県保育士会リーダーセミナー	主幹保育教諭	一人ひとりを大切にする保育
10/12~14	キャリアアップ研修	保育教諭	食育・アレルギー対応
10/25~27	キャリアアップ研修	保育教諭、管理栄養士	保健衛生・安全対策
10/31~11/2	キャリアアップ研修	保育教諭	幼児保育
11/1,2	県保育士会主幹・主任研	主幹保育教諭	マネジメント
11/9	普通救命講習	栄養士	
11/14~16	キャリアアップ研修	保育教諭	マネジメント
11/18	子ども支援研修会	副園長	保護者対応
11/21,22	民間園長研修会	園長	保育の魅力を発信し、保育者の活躍を導くために
11/26	健康と睡眠の研修会	管理栄養士	健康に係る睡眠の話
10~12月	キャリアアップ研修e-ラーニング	保育教諭	乳児保育・幼児保育
12/3	いわた保育士会職員研修会	副主幹保育教諭・保育教諭	困り感を抱える子どもを支える保育
12/9	施設長研修会	園長	職員の安全対策を下支えするマネジメントの大切さについて
12/14	防災・減災講演会	副園長	子どもの安全を考える減災と防災
1/24	給食研修会	管理栄養士	アレルギー対応
1/25	普通救命講習	保育教諭	
2/4	オンライン園内研修	保育教諭	いま、乳児保育に求められるもの？育児担当制が育てるもの、育むもの
2/8	普通救命講習	保育教諭	
2/10	県保育士会食育研	管理栄養士	子どもがかがやく、食育実践の進め方

いわた保育士会研究部会

「家庭や地域との連携による食育の推進」食育部会 定期開催



#### 法人内研修

5歳児部会      0歳児部会      給食部会  
各部会ともに 6/11、10/15、1/28 年3回開催

#### オンライン園内研修

9/17 11/26 2/4

保育部門 管理職会議  
毎月開催

#### 職員会議

毎月、職員会議の中で保育を振り返る。職員会議、給食会議の他、0～2歳の会議、3～5歳の会議など細分化しておこなっている。

#### 保護者との連携及び連絡

担当・担任が、連絡ノートや口頭で伝達。毎週、金曜日にその週の様子を写真で掲示。園だよりの発行、保育参加への呼びかけ。施設の保育への理解を促している。ホームページを週2回くらいのペースで更新している。

歳児	保護者の意見・要望	園としての考え・対応
中	保育生活の中で子どもの得意分野や、苦手な事があつたら知りたい。家とは違った集団生活なので苦手な事に対しては克服する練習などしたら、より安心して集団生活を過ごせるのではないかと思う。	そうですね。子どもの良いところ、苦手なところが分かれば子育てでも、子ども自身も楽になりますものね。個別に相談時間を設けますので、お気軽にお問い合わせください。
長	送迎が早くて遅いので仕方ないですが、長い時間預けている分、園での様子をもっと聞きたかった。ケガや体調の時は丁寧に伝えていただけるし、毎日楽しく通っているので安心してはいるが、子どもからの話では曖昧で、聞いていても理解してあげられないこともある。もっと親子の会話が広がるきっかけになれば、と思う。	年齢の大きなクラスですと一クラス28人。帰りは、どうしても子どもたちを保育しながらの引き渡しとなります。保護者への対応に時間を取っておりますと、まだ残っている園児の保育に目が届きません。申し訳ございませんがご理解を頂きたいと思えます。以前に比べ、ホームページ、動画配信など、園の様子を見る機会は格段に増えております。それらのを上手に使い、子どもとの会話を楽しんでいただければ幸いです。
少	子どもの思いを尊重する遊びについては賛成ですが、はさみや糊を使ったり、粘土やクレヨンでお絵描きしたりするなど工作の時間をもっと作ってほしいです。	あゆみ園では、小学校の図工のように一斉に制作の指導をしていません。工作の機会を増やすと、それだけ時間がかかり、待つ時間も増えると思います。現在も、季節に合った制作を取り入れたり、自由時間にお絵かきなどしたり、指先の発達を促す玩具も、すべてのクラスに置いてあります。今後も、過度にならないよう取り組んでいきます。
少	登園時間を登録するタブレットまたは連絡アプリで体温の入力が出来たら便利。	現在、れんらくアプリではそのような機能は無いようです。小学校によっては紙媒体や、別のアプリなど使用しているようです。また、情報を集めたいと思います。
0	れんらくちょうはとても役に立ちますが、アプリにすれば、もっとやりやすい(修正など)かなと思います。	現在、れんらくアプリではそのような機能は無いようです。また、アプリを採用しても、職員が連絡帳を書く時間帯には変わりありません。しかも、アプリでは個人のスマホを使用する可能性が出てきますので、当面、連絡帳を変更する予定はありません。
少	厚労省より屋外でのマスクは原則不要となっており、あゆみ園でも夏は熱中症対策のために外されていた先生も多いかと思えます。屋内では全員の先生がされていると思えますが、こどもたちの『表情から感情を読み取る力』や『口の動きを見る力』などに影響が少なからずあると思えます。大事な3～5年過ごす場所、毎日顔を合わせる先生の表情を見て心の面も成長していくと嬉しいです。今のこどもたちはマスク姿の大人ばかり見て育っています。もはやパフォーマンスになっているのではないのでしょうか？法人での考えもあるかと思いますが、あゆみ園での指針を今一度考えていただきたいです。もちろん手洗いなどは必要と思えますし、感染症対策も必要とは思いますが、そもそもウイルスの大きさからしてマスクでは防げません。先生方が屋内でもマスクを外して保育される選択肢もあつたらいいなと願います。また国から『黙食』も撤回されました。無駄話や騒ぐのはもちろん良くはありませんが、3学年がランチルームで楽しい食事の時間が持たれたらと思います。	私自身もはっきり言ってマスクはパフォーマンスになっていると感じます。しかし、マスクに関しては、濃厚接触者の定義があるため、なかなか外すまでにはいたりません。濃厚接触者と判断されると、5日間の自宅待機。仕事をされている保護者の方はじめ、職員も濃厚接触者と判断されると、園の保育も立ちゆかなくなってしまうと思います。本来の保育に戻していきたいのですが、やはり様々なご意見が出るご時世です。慎重にならざるを得ません。子どもたちのマスク着用は、学級閉鎖等の感染状況にならなければお願ひしておりません。職員のマスクにつきましても、5月8日の第5類への移行、その前のマスク緩和などの情報を精査し対応していきたいと思えます。黙食につきましても、現在は指導していません。ただ、こちらもランチルームで3クラスでの食事までは至っていません。いずれコロナ禍前の食事風景に戻ると信じて、タイミングを見ていきたいと思えます。
少	ハンドタオルとコップ袋と一緒にフックに掛けていますが、ハンドタオルだけにできないでしょうか(一緒に掛ける意味があつたら、すみません。感染症対策としても、ハンドタオルが密にならない方が安心かなと思えます)。	ぶどう組もランチルームで食事をとっていたため、ランチルームでハンドタオルとコップ袋が必要となります。年中、年長児は自分自身で運びますが、年少児はそれらを持ったままの階段昇降は危険ですので、タオル掛けごと運ぶために、現状のタオル掛けを使用しています。いずれ、コロナ禍前の食事風景に戻ると信じて、そのまま使用しています。
中	子どもの作品はとても成長を感じられ持ち帰ってくると嬉しく思えます。ただ子ども自身の問題も多いと思えますが、制作途中のものも多く、集中して最後まで出来なかったのか、達成感を感じられてるのか、その時の周囲の環境はどうだったのかなど感じることも多いです。子どもにはしっかり最後まで仕上げたものを見せて欲しいなと伝えていきます。	その通りですね。物を大切にすることは、SDGsにもつながっていきます。園でも、紙を無駄にしないように枚数制限などして声をかけていますが、そこで本人がおしまいにしたものに、年少～年長クラスには作品入れがあり、作ったもの作りかけの物は作品入れに入れて週末に持ち帰るようにしています。続きをやるつもりで、作品入れに入れたとしても、次の日になれば、新しい物に興味がいってしまい、作りかけの物が増えているのかもしれない。また、声を掛けていきたいと思えます。

長	運動会や発表会をもう少し小さい年齢からやって欲しいです。	年少児は、年中、年長の発表会の練習を見て、イメージを高めています。そして、発表会終了後は、交流する中で発表会ごっこなど楽しみ、来年度へ憧れを持って進級していくようにしています。
1	行事に関して、幼い子の発表会などが無いのは賛成できます。しかし、幼い子も年上の子の発表などをもう少し見れたら良いな、と思います。先生方の負担もあるかとは思いますが、上の子への憧れが原動力を生み出すこともあるかな、と感じました。	行事につきましては、年少児以下ですと、まだ集団としての行事参加は難しい年齢と考えます。年少児の行事参加は一昔前より変化していると感じており、現状では子どもにかなりの負担を強いのではないかと考え、個から集団へ成長している過程の年中児と、その集団がまた1ランク上のステージでまとまってきた年長児を中心に行事をすすめています。発表会や、おたよりでもお知らせしましたが、保育者の不適切な関わりの裏には、過度な行事や発達を無視した過度な早期教育があります。年齢的にできないことや興味を持たないことをさせようとすると、その方法は限られてきます。そして残念なことに、その最悪の方法が効果あつたりします。だから、それを繰り返して、さらにエスカレートしてしまう…。子どもにも、保護者にも、保育者にも負担なくという園の方針にご理解いただければ幸いです。

**【子育て支援事業】「あゆみ広場」**  
週一回の園庭開放 月一回の講座を開催

月	園庭開放利用者	講 座	講座利用者	計
4	0	太鼓でリズム遊び	3	3
5	2	おはなしの会	0	2
6	0	食の広場（離乳食講座）	0	0
7	2	パッケクッキング	0	6
8	4	予定なし	0	4
9	2	入園説明会	15	17
10	2	運動遊び&サーキット	5	7
11	1	食の座談会	0	1
12	3	クリスマス音楽会	4	7
1	0	食の座談会	0	3
2	4	親子触れ合い遊び	0	4
3	6	食の座談会	1	7
			年間利用児童数	61

**【修繕等事業報告】**

- ・プロジェクター購入 182,930 円
- ・エアコン設置工事 176,000 円

# 令和4年度実績報告書

ルンビニ保育室 花びら

1. 所在地 静岡県袋井市浅羽2275番地の1

2. 各月初日現在年齢別措置児童数 (定員12名)

歳月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0	1	1	2	2	3	5	5	5	5	5	5	4	43
1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
2	4	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	68
計	8	9	11	11	12	14	14	14	14	14	14	12	147

各月初日平均年齢別措置児童数 12人

対定員充足率 102%

3. 保育内容

## ルンビニ保育室 花びらでは「乳児保育担当制」を取り入れています

よく知られている一斉保育。クラス単位で担任が子どもたちを一斉に保育する。赤ちゃんの時から、みんなでご飯を食べ、みんなで排泄をおこない、みんなでお昼寝。しかし、ルンビニ保育室 花びらではそのような保育はしません。自立へ向けてゆっくり歩みを進み始めたばかりで、生活リズムの個人差が大きい乳児に対して、特定の保育者が特定の子どもの育児（食事、排泄、睡眠など基本的な生活への援助）をします。もちろん一人ひとりの発達や生活のリズムに合わせるので、給食やお昼寝、おむつを交換する（排泄に誘う）タイミングが違います。

同じ大人が同じ子どもの日常へ密接に関わるというご家庭では当たり前のことを実践するために、できる限り丁寧に保育し、子どもたちが安心して過ごせ、大人との愛着関係を形成していけるようにしていきたいと考えています。

ルンビニ保育室 花びら 生活のしおりより抜粋

(1) 保育時間

保育短時間	8時30分～16時30分
保育標準時間	7時30分～18時30分
土曜保育	7時30分～17時30分

(2) 行事

4月	花まつり 前期健康診断
6月	歯科検診
7月	七夕
9月	*総合防災 ★引き渡し訓練は休園になったため12月に延期
10月	後期健康診断
11月	社会福祉施設防災訓練 七五三のお祝い
12月	クリスマス会 引き渡し訓練
2月	節分あそび *入園説明会
3月	お別れ会

◎ \*印・・・保護者参加行事

◎ 毎月・・・避難訓練、身体測定、誕生日のお祝い

(3) 給食

ルンビニ第二保育園（ルンビニひかり園）参照

(4) 健康管理

袋井市諸井所在の岩本医師を嘱託医とし、定められた入所時健康診断（前期）・後期健康診断を実施し、又、まきの歯科クリニックによる歯科検診を年1回行いました。

前期健康診断 4月19日 後期健康診断 10月 5日  
歯科検診 6月10日 異常者なし

(5) 災害非常対策

毎月1回 避難・消火訓練 年1回 総合防災・引き渡し訓練  
社会福祉施設防災訓練

(6) 保育担当者

年・月齢、発達段階、生活リズムを考慮し、担当保育士を定めて保育をおこなう。

年度末3月1日時点の保育園児数と保育士

	歳児別園児数	保育士数
0歳児グループ	0歳児4名	2名
1歳児グループ	1歳児3名	1名
2歳児グループ	2歳児5名	1名
保育支援者		1名(無資格)
室長・副主任・フリー		3名
計	12名	8名

年度当初

室長 1 名 副主任 1 名 保育士 4 名（うち非常勤 1 名）保育支援者（非常勤） 1 名

7 月 保育士 1 名（正規採用）

4. 自主実習受け入れ  
2 名

5. その他

(1) 職員研修 各種外部研修に参加（リモート研修）

(2) 職員会議

毎週会議の中で保育を振り返る。

(3) 保護者との連携及び連絡

担当が、連絡ノートや口頭で伝達。人数が少ない分、保護者との距離も近く感じる。

園だよりの発行やドキュメンテーションによるお便り配布（保育の見える化）。

Instagram開設（令和 4 年 4 月より）



6. 感染症の動向

病名 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
感染性胃腸炎								1				1	2
手足口病					1								1
突発性発疹	1	1		1								1	4
ヘルパンギーナ					1								1
RS ウイルス									1	1			2
インフルエンザ												1	1
コロナウイルス感染症					1	2							3
計	1	1		1	3	2	0	1	1	1	0	3	14

新型コロナウイルス感染症感染状況報告

7 月 職員 1 名

12 月 濃厚接触者…園児 1 名

8 月 園児 1 名

1 月 濃厚接触者…職員 1 名

9 月 園児 2 名・職員 2 名（※園医・市・園とで協議し 4 日間の休園措置）

7. ヒヤリ・ハット 6件

- ・給食異物混入（配膳前だったため提供していない） 1件
- ・友達に走り寄ってそのまま抱き着き転倒しそうになった 1件 1歳児
- ・離乳食で未摂取の食材（イチゴ・桃・パイン）を提供しそうになった 2件 0歳児
- ・力任せに靴箱を倒そうとした 1件 0歳児
- ・興奮状態だった園児が玩具を持ち上げ投げつけようとした 1件

8. 事故報告 51件

処置 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
園内処置	2	0	2	2	1	2	17	8	11	1	5	0	51
岩本外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	0	2	2	1	2	17	8	11	1	5	0	51

- ・転倒 … 16件
- ・(物/人) 接触 … 25件
- ・その他 … 10件
  - ◇誤食（未摂取のパインゼリーを3口食べてしまった） 1件
  - ◇本をめくる際、指を切ってしまった 1件
  - ◇段差のある場所で足を踏み外して顎を打ち付けてしまった 1件
  - ◇自分で自分の手を噛んだ 3件
  - ◇噛みつき 1件
  - ◇塗り薬渡し忘れ 1件
  - ◇連絡帳入れ間違い 1件
  - ◇おやつ(ヨーグルト)期限切れ 1件
    - ・提供されたまま1名は完食・蓋をよける際に気付いたが1人は3口食べてしまった

9. 苦情・要望等

- ・なし

10. 修善事業等

- ・雨漏り工事（R5年3月11日…2階東側窓・1階西側窓付近）